

いすみ市こども計画策定に係る
調査結果報告書

令和7年9月

い す み 市

目次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果.....	2
1	小学生調査.....	2
	(1) あなた自身のことについて.....	2
	(2) 家族について.....	4
	(3) 普段の生活について.....	6
	(4) いすみ市のことについて.....	13
2	若者調査.....	17
	(1) あなた自身のことについて.....	17
	(2) 将来などについて.....	19
	(3) 働くことについて.....	27
	(4) 家族や家庭について.....	30
	(5) 結婚・出産・子育てのしやすい環境づくりについて.....	38
	(6) あなた自身の普段の生活や悩みなどについて.....	47
	(7) いすみ市について.....	57

I 調査の概要

1 調査の目的

いすみ市では、子ども・若者施策を含めたこども計画の策定を進めており、今後の子ども・若者施策に役立てるため、ニーズや意識などについてご意見をお聞きすることを目的に調査を実施しました。

2 調査対象

小学生調査：いすみ市内の小学校に通う小学5年生全員

若者調査：いすみ市内の高校生世代から34歳までの方を対象に無作為抽出

3 調査期間

小学生調査：令和7年7月11日～令和7年7月18日

若者調査：令和7年7月26日～令和7年8月18日

4 調査方法

小学生調査：学校による配布・回収及びWEBによる回答

若者調査：郵送による配布・回収及びWEBによる回答

5 回収状況

調査票の種類	配布数	回収数	回収率
小学生調査	200件	197件	98.5%
若者調査	1,000件	324件	32.4%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

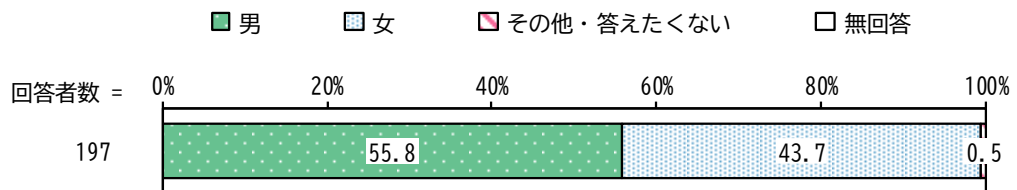
Ⅱ 調査結果

1 小学生調査

(1) あなた自身のことについて

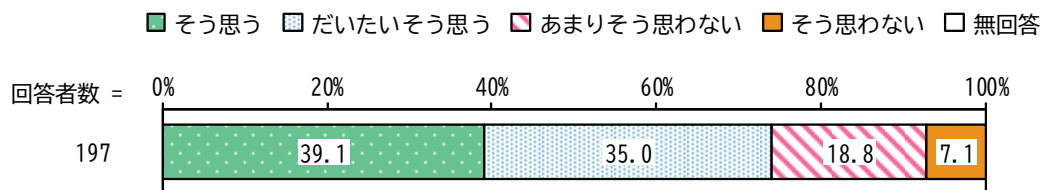
問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

「男」の割合が55.8%、「女」の割合が43.7%となっています。



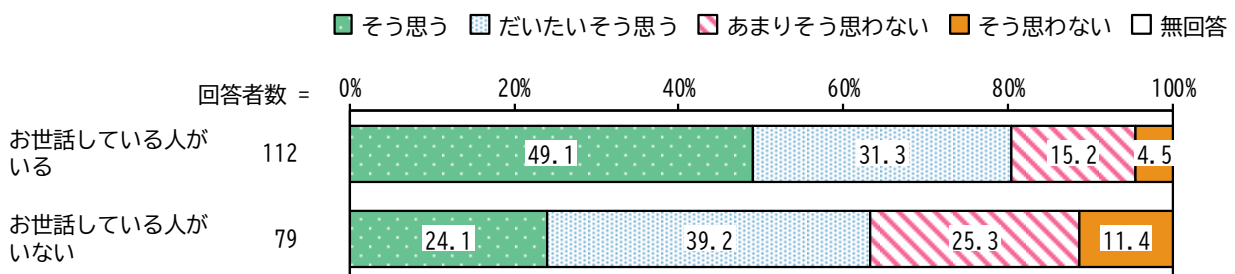
問2 あなたは、自分のことが好きですか。(あてはまるもの1つに○)

「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が74.1%、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が25.9%となっています。



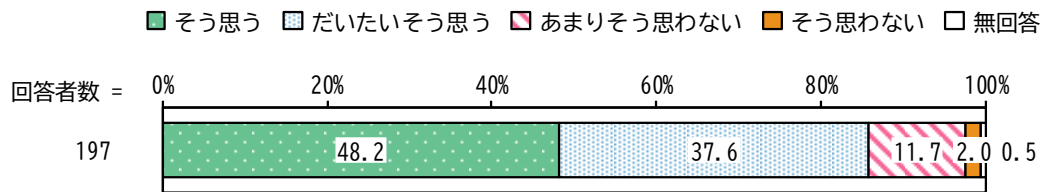
【家族のお世話の有無別】

家族のお世話の有無別にみると、『お世話している人がいる』で“そう思う”の割合が高くなっています。



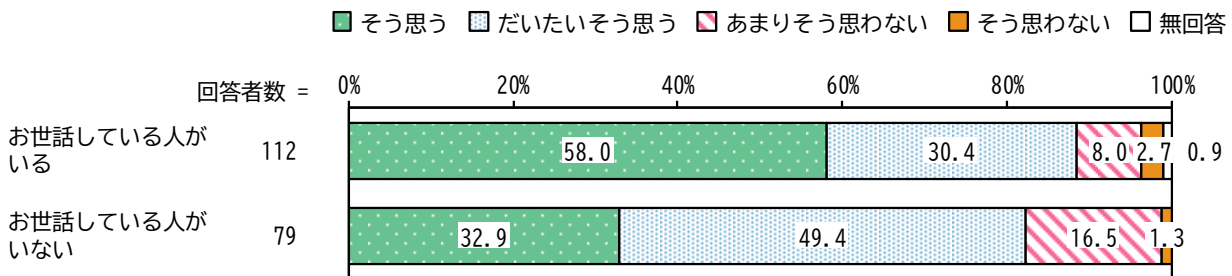
問3 あなたは、自分には良いところがあると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が85.8%、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が13.7%となっています。



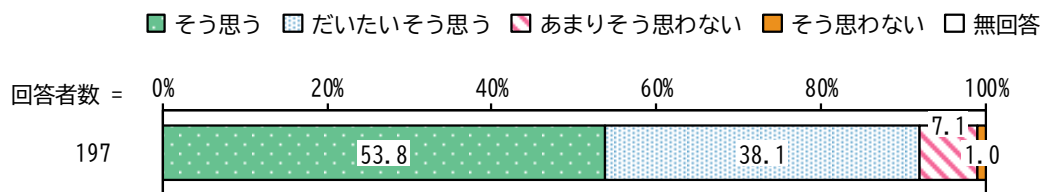
【家族のお世話の有無別】

家族のお世話の有無別にみると、『お世話している人がいない』で“そう思わない”の割合が高くなっています。



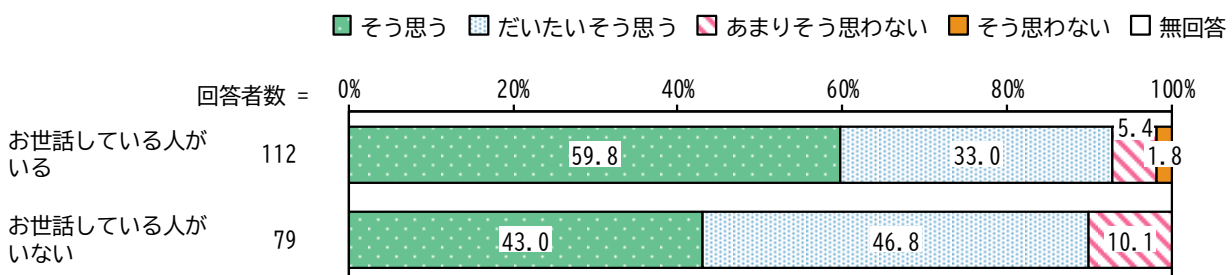
問4 あなたは、まわりの人から大切にされていると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が91.9%、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が8.1%となっています。



【家族のお世話の有無別】

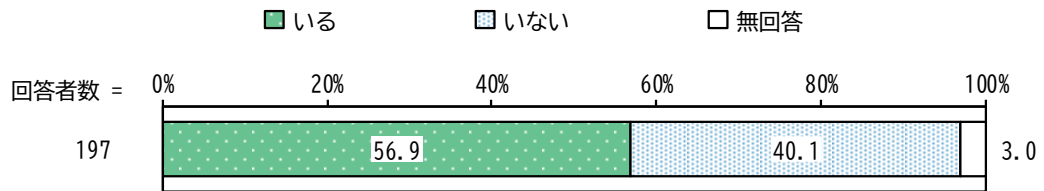
家族のお世話の有無別にみると、『お世話している人がいる』で「そう思う」の割合が高く、『お世話している人がいない』で「だいたいそう思う」の割合が高くなっています。



(2) 家族について

問5 家族の中にあなたが、いつも助けたり、お世話をしている人がいますか。
(あてはまるもの1つに○)

「いる」の割合が56.9%、「いない」の割合が40.1%となっています。

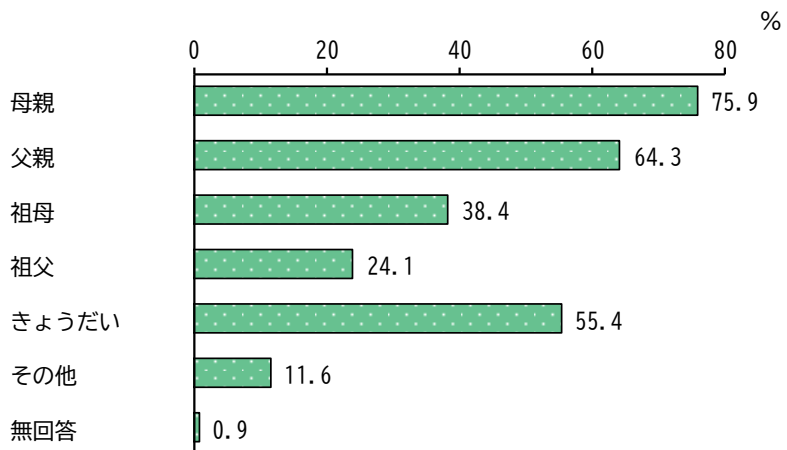


問5で「いる」と答えた方にお聞きします。

問5-1 あなたが、いつも助けたり、お世話をしている人を選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

「母親」の割合が75.9%と最も高く、次いで「父親」の割合が64.3%、「きょうだい」の割合が55.4%となっています。

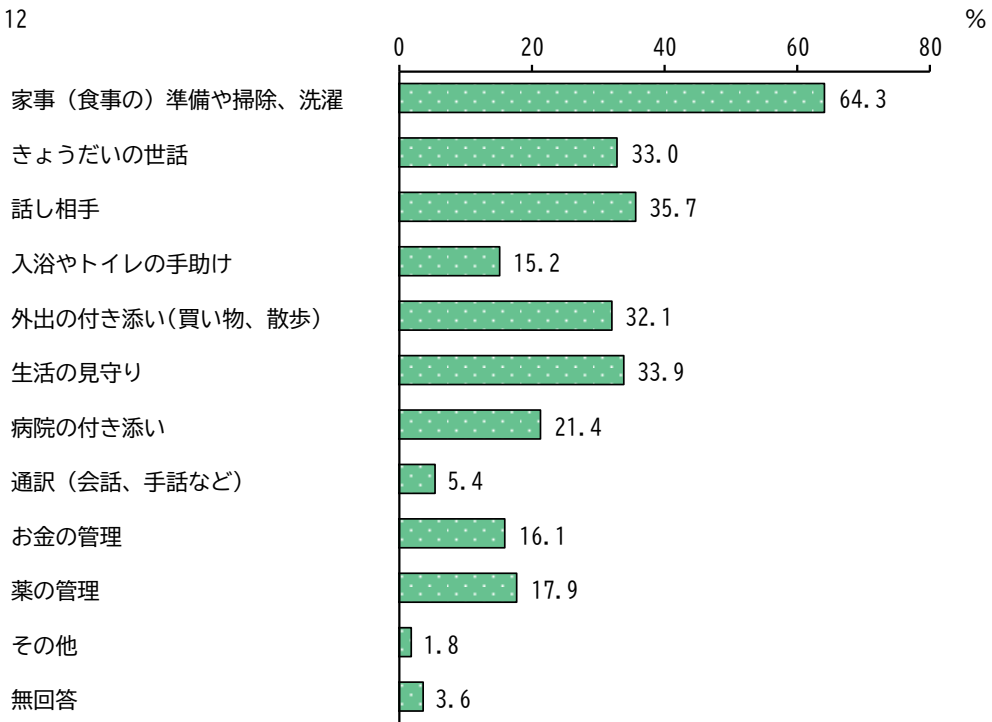
回答者数 = 112



問5-2 あなたが、行っているお世話の（助けている）内容を教えてください。
（あてはまるものすべてに○）

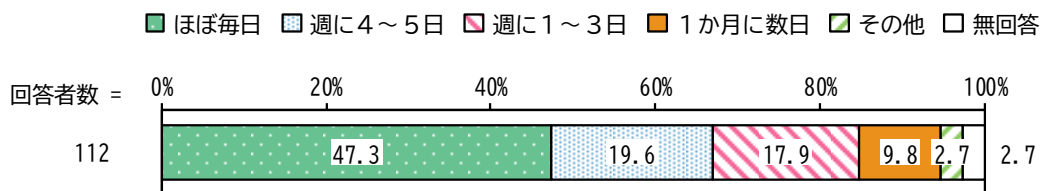
「家事（食事の）準備や掃除、洗濯」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「話し相手」の割合が 35.7%、「生活の見守り」の割合が 33.9%となっています。

回答者数 = 112



問5-3 あなたが助けたり、お世話をしている頻度を教えてください。
（あてはまるもの1つに○）

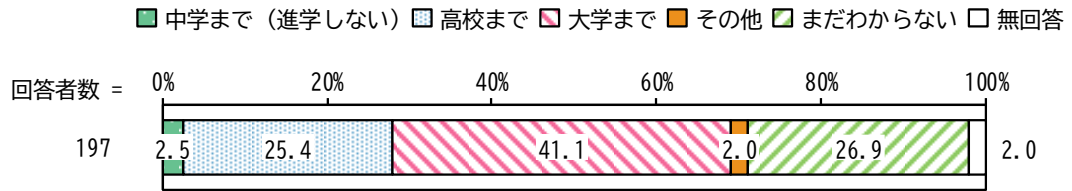
「ほぼ毎日」の割合が 47.3%と最も高く、次いで「週に4～5日」の割合が 19.6%、「週に1～3日」の割合が 17.9%となっています。



(3) 普段の生活について

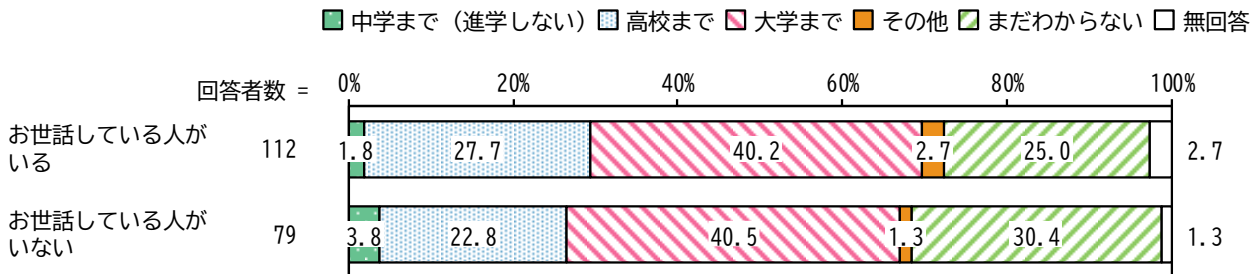
問6 あなたは将来、どの学校まで進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

「中学まで(進学しない)」の割合が2.5%、「高校まで」の割合が25.4%、「大学まで」の割合が41.1%となっています。



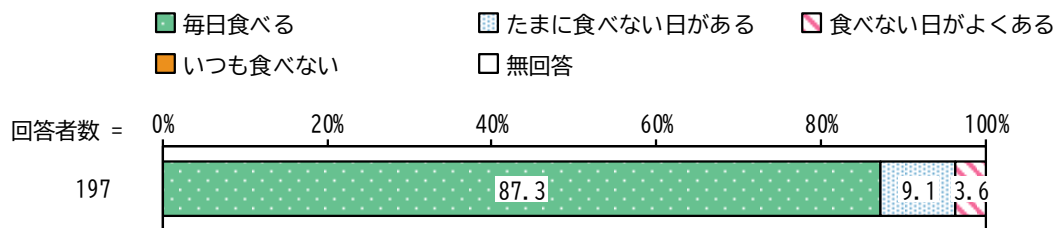
【家族のお世話の有無別】

家族のお世話の有無別にみると、大きな差はみられません。



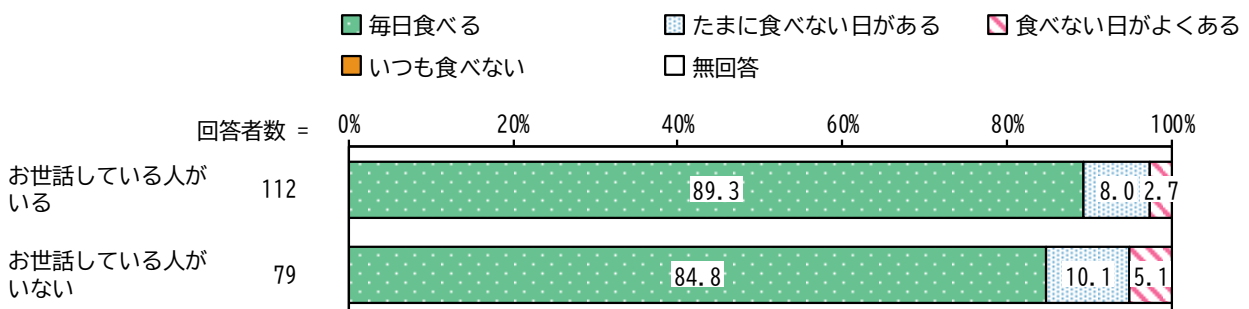
問7 あなたは、学校に行く日は、毎日、朝ごはんを食べますか。(あてはまるもの1つに○)

「毎日食べる」の割合が87.3%と最も高くなっています。



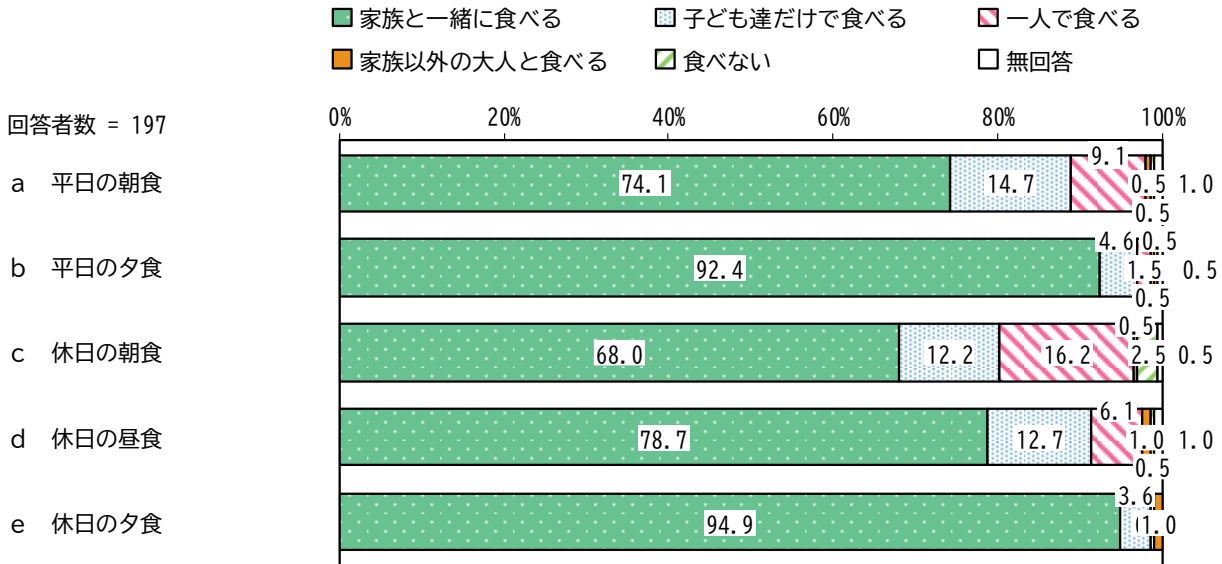
【家族のお世話の有無別】

家族のお世話の有無別にみると、大きな差はみられません。



問8 あなたは、ふだん食事をだれといっしょに食べていますか。(それぞれ1つに○)

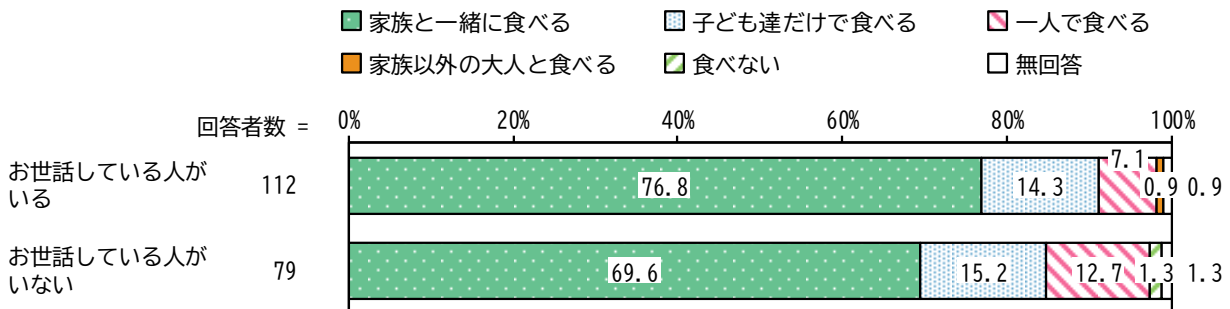
『e 休日の夕食』で「家族と一緒に食べる」が、『a 平日の朝食』で「子ども達だけで食べる」が、『c 休日の朝食』で「一人で食べる」、「食べない」が、『d 休日の昼食』、『e 休日の夕食』で「家族以外の大人と食べる」が高くなっています。



a 平日の朝食

【家族のお世話の有無別】

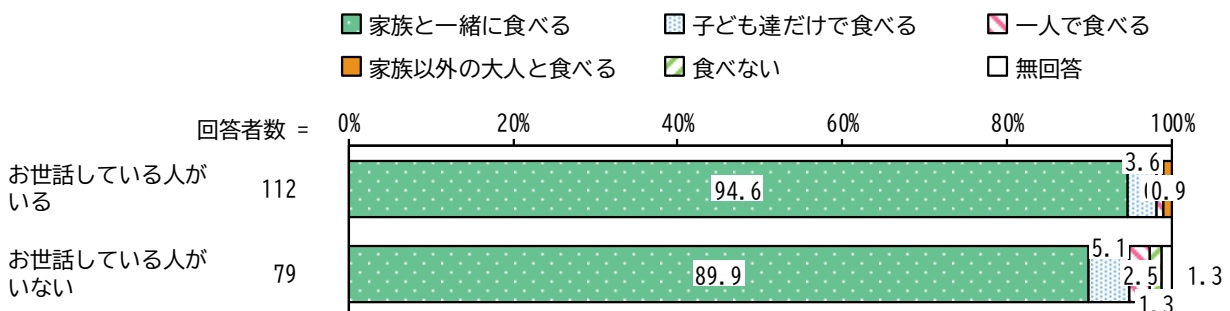
家族のお世話の有無別にみると、『お世話している人がいる』で「家族と一緒に食べる」の割合が高く、『お世話している人がいない』で「一人で食べる」の割合が高くなっています。



b 平日の夕食

【家族のお世話の有無別】

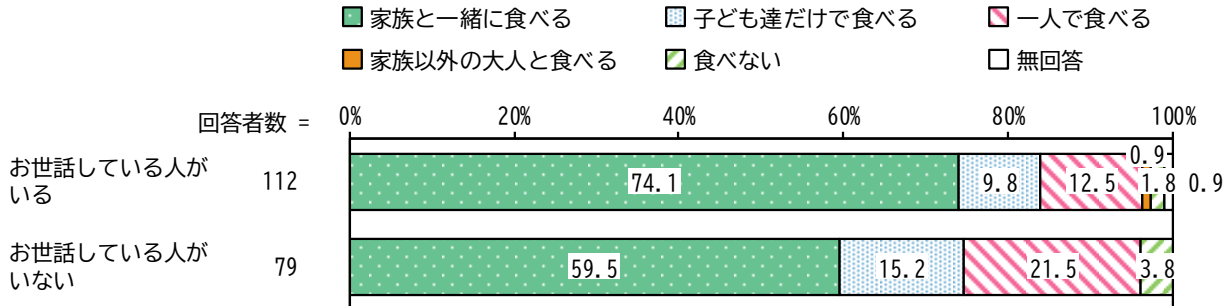
家族のお世話の有無別にみると、大きな差はみられません。



c 休日の朝食

【家族のお世話の有無別】

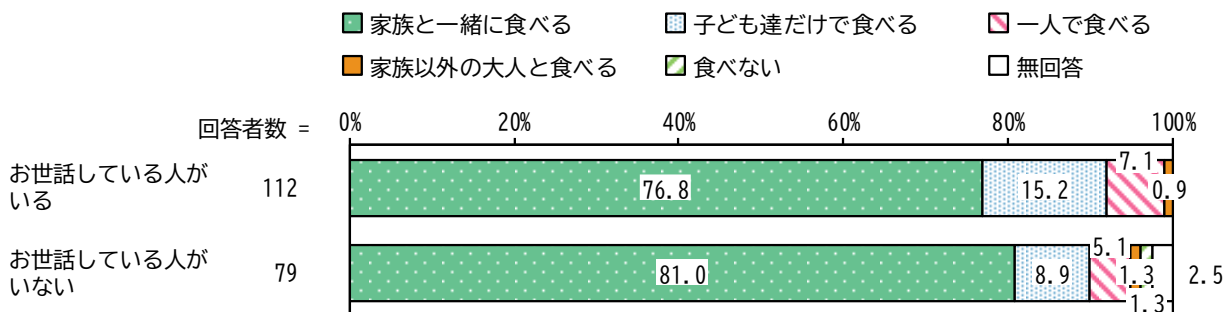
家族のお世話の有無別にみると、『お世話している人がいる』で「家族と一緒に食べる」の割合が高く、『お世話している人がいない』で「子ども達だけで食べる」「一人で食べる」の割合が高くなっています。



d 休日の昼食

【家族のお世話の有無別】

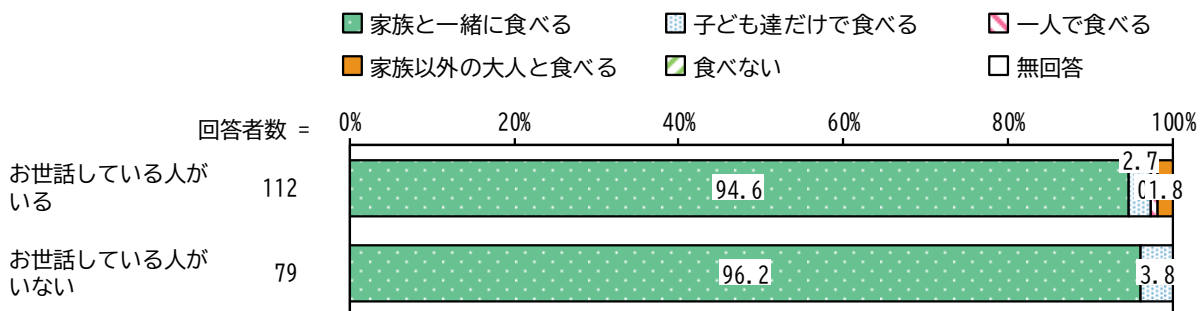
家族のお世話の有無別にみると、『お世話している人がいる』で「子ども達だけで食べる」の割合が高くなっています。



e 休日の夕食

【家族のお世話の有無別】

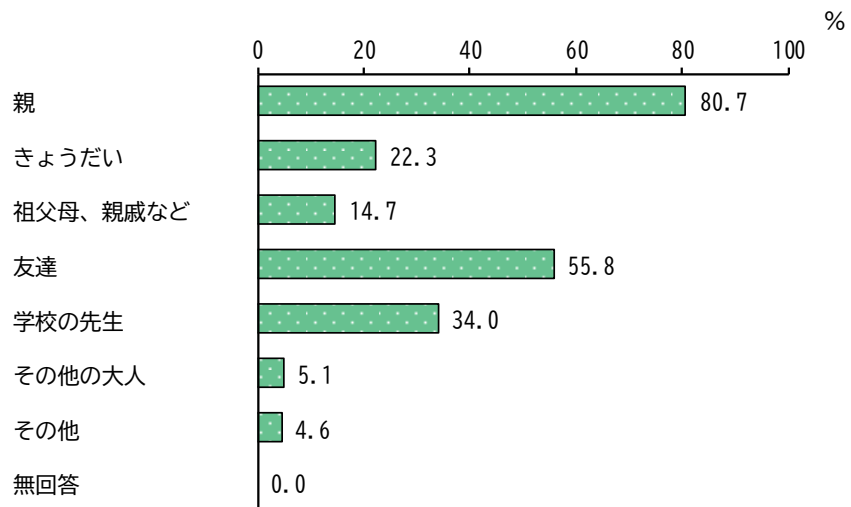
家族のお世話の有無別にみると、大きな差はみられません。



問9 あなたは、困ったことがあった場合、だれに相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

「親」の割合が80.7%と最も高く、次いで「友達」の割合が55.8%、「学校の先生」の割合が34.0%となっています。

回答者数 = 197



【家族のお世話の有無別】

家族のお世話の有無別にみると、『お世話している人がいる』で「親」「きょうだい」「祖父母、親戚など」の割合が高くなっています。

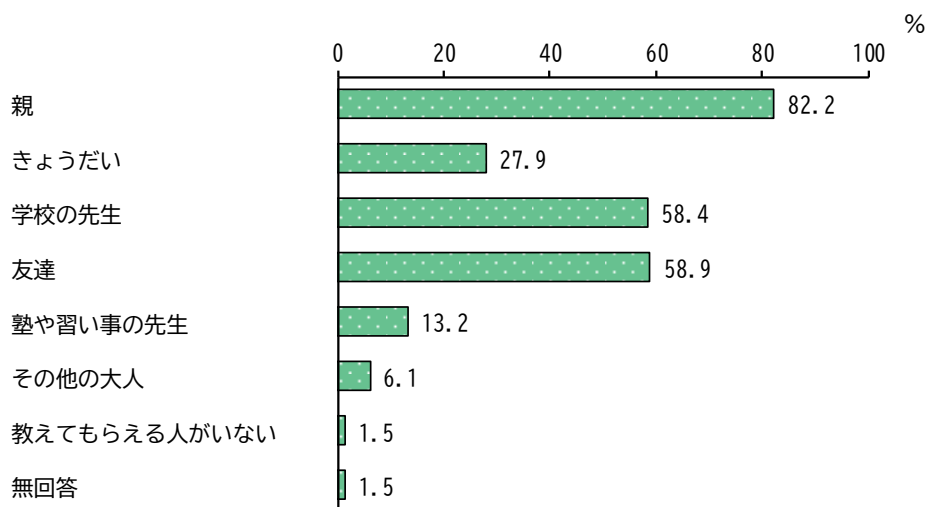
単位：%

区分	回答者数 (件)	親	きょうだい	祖父母、親戚など	友達	学校の先生	その他の大人	その他	無回答
全 体	197	80.7	22.3	14.7	55.8	34.0	5.1	4.6	0.0
お世話している人がいる	112	83.9	28.6	17.9	53.6	33.0	5.4	4.5	0.0
お世話している人がいない	79	75.9	13.9	10.1	58.2	34.2	5.1	5.1	0.0

問10 あなたは、勉強が分からないとき、だれに教えてもらいますか。
(あてはまるものすべてに○)

「親」の割合が82.2%と最も高く、次いで「友達」の割合が58.9%、「学校の先生」の割合が58.4%となっています。

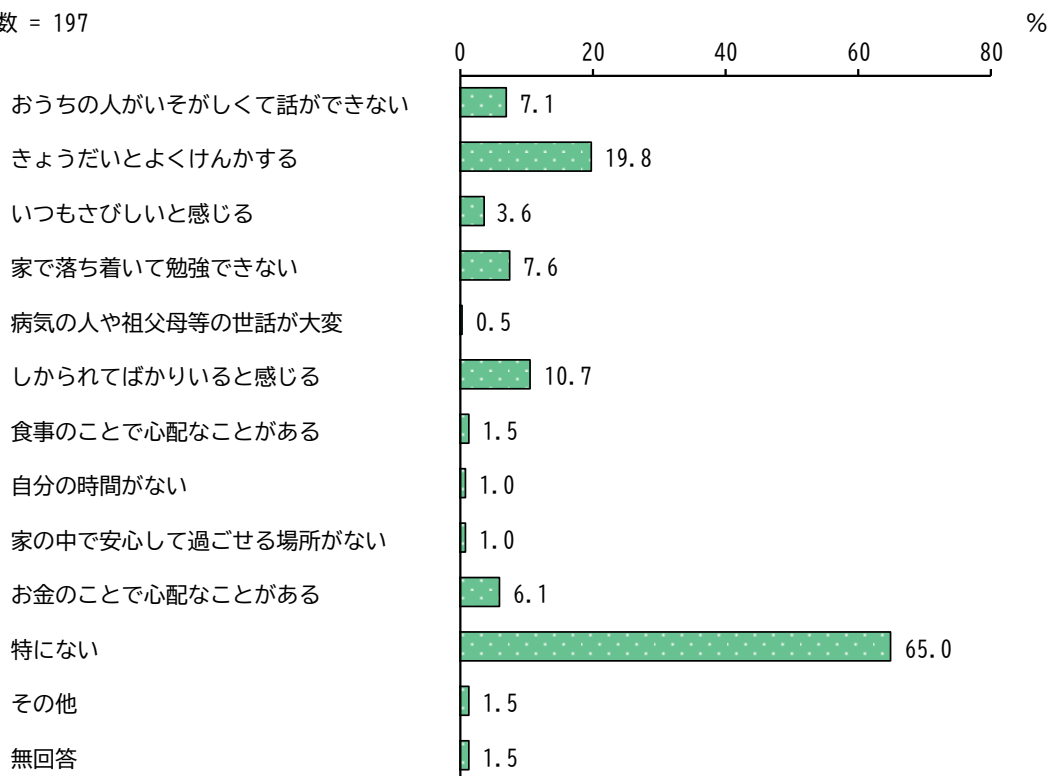
回答者数 = 197



問11 あなたは、家族のことなどで、何か困っていることや心配なことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「きょうだいとよくけんかする」の割合が19.8%と最も高く、次いで「しかられてばかりいると感じる」の割合が10.7%となっています。

回答者数 = 197



【家族のお世話の有無別】

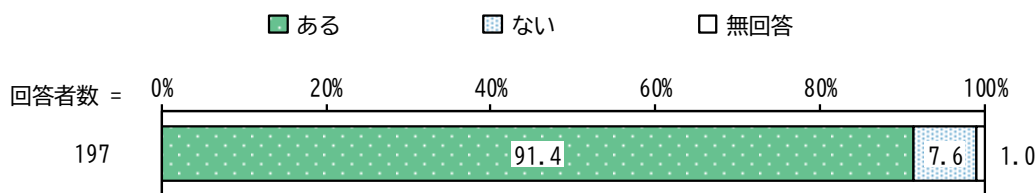
家族のお世話の有無別にみると、『お世話している人がいる』で「おうちの人がいそがしくて話がでない」の割合が高く、『お世話している人がいない』で「しかられてばかりいると感じる」「お金のことで心配なことがある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	おうちの人がいそがしくて話がでない	きょうだいとよくけんかする	いつもさびしいと感じる	家で落ち着いて勉強できない	病気の人や祖父母等の世話が大変	しかられてばかりいると感じる	食事のことで心配なことがある	自分の時間がない	家の中で安心して過ごせる場所がない	お金のことで心配なことがある	特にない	その他	無回答
全体	197	7.1	19.8	3.6	7.6	0.5	10.7	1.5	1.0	1.0	6.1	65.0	1.5	1.5
お世話している人がいる	112	8.9	20.5	2.7	5.4	0.9	6.3	1.8	0.9	0.0	3.6	66.1	1.8	1.8
お世話している人がいない	79	3.8	19.0	3.8	10.1	0.0	16.5	1.3	1.3	1.3	10.1	63.3	1.3	1.3

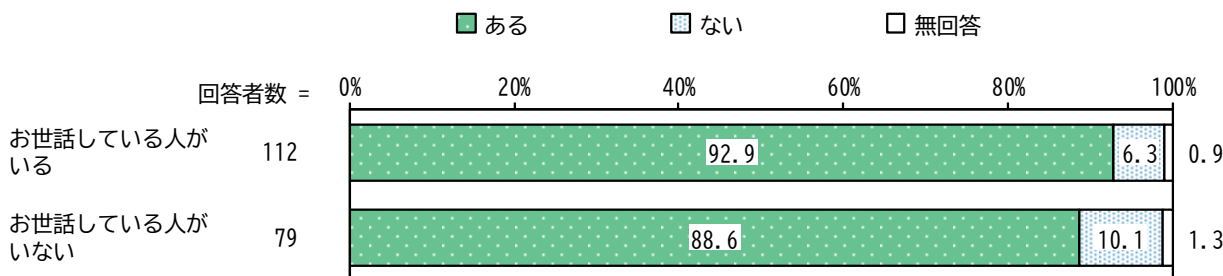
問12 あなたは、将来なりたい職業や夢がありますか。(あてはまるもの1つに○)

「ある」の割合が91.4%、「ない」の割合が7.6%となっています。



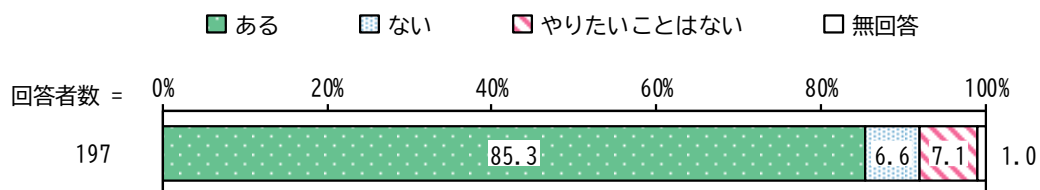
【家族のお世話の有無別】

家族のお世話の有無別にみると、大きな差はみられません。



問13 地域の中で、遊んだりスポーツをしたり、やりたいことができる場所がありますか。
(あてはまるもの1つに○)

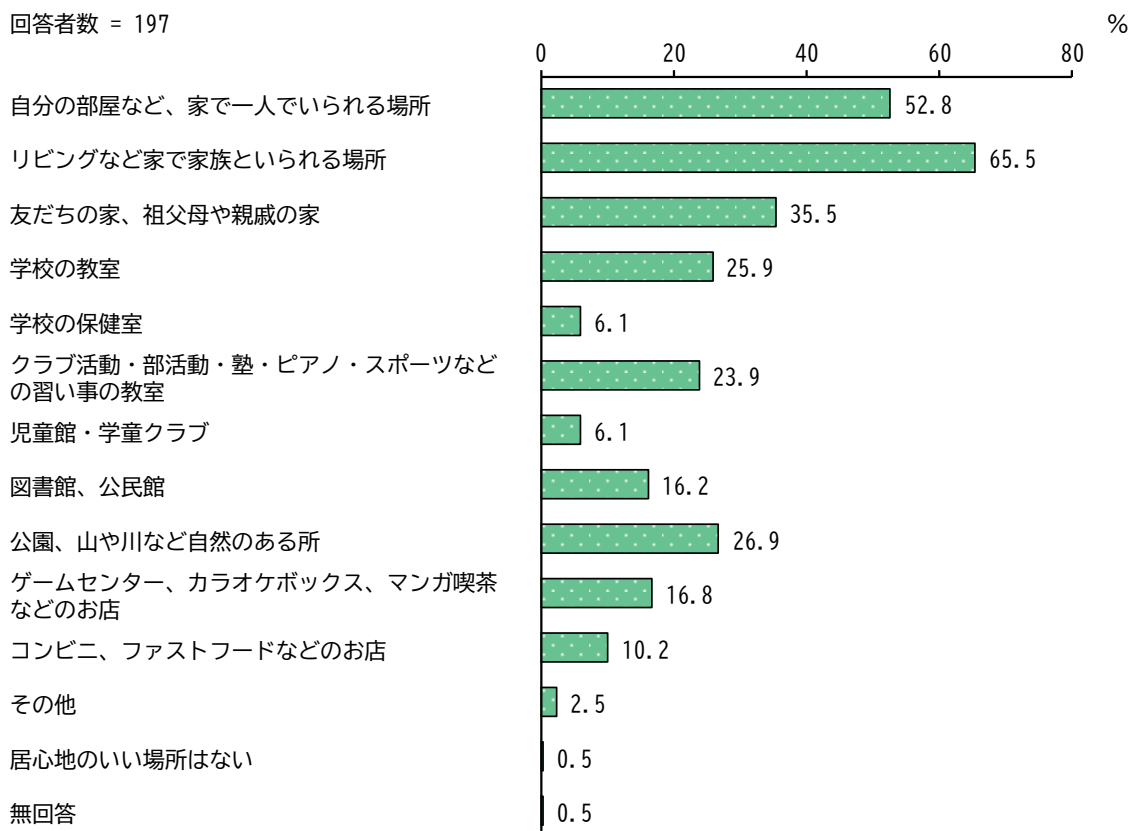
「ある」の割合が85.3%、「ない」の割合が6.6%となっています。



問14 あなたにとって、居心地のいい場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

「リビングなど家で家族といられる場所」の割合が65.5%と最も高く、次いで「自分の部屋など、家で一人でいられる場所」の割合が52.8%、「友だちの家、祖父母や親戚の家」の割合が35.5%となっています。

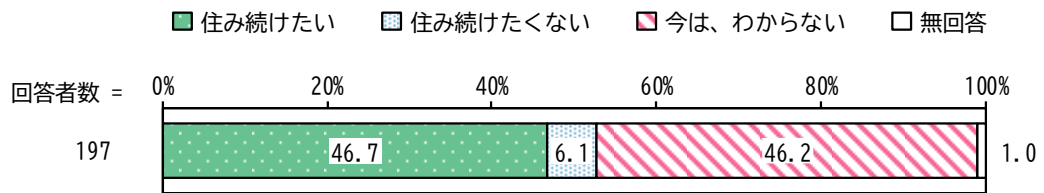
回答者数 = 197



(4) いすみ市のことについて

問 15 あなたは、いすみ市にずっと住み続けたいですか。(あてはまるもの1つに○)

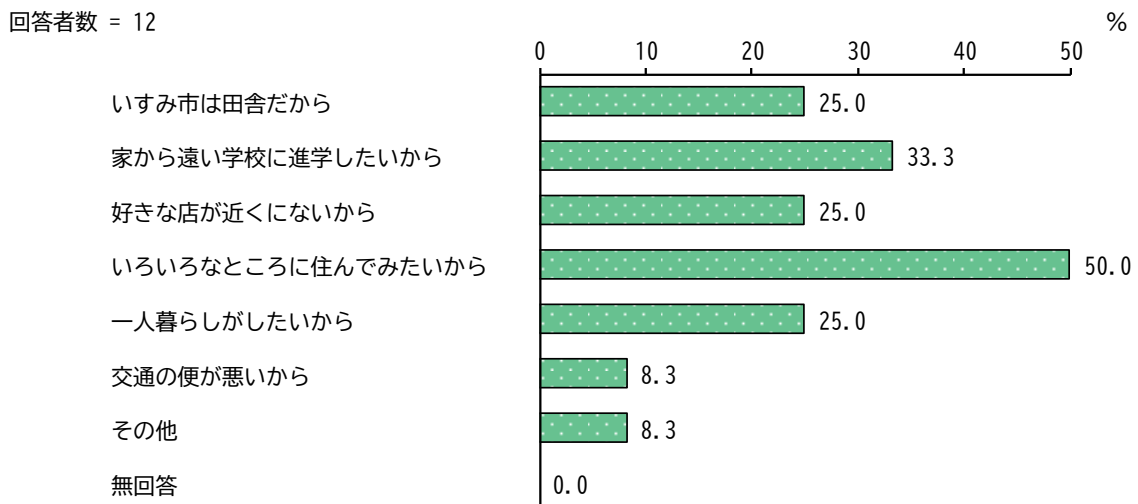
「住み続けたい」の割合が46.7%、「住み続けたくない」の割合が6.1%となっています。



問 15 で「住み続けたくない」と答えた方にお聞きします。

問 15-1 住み続けたくない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

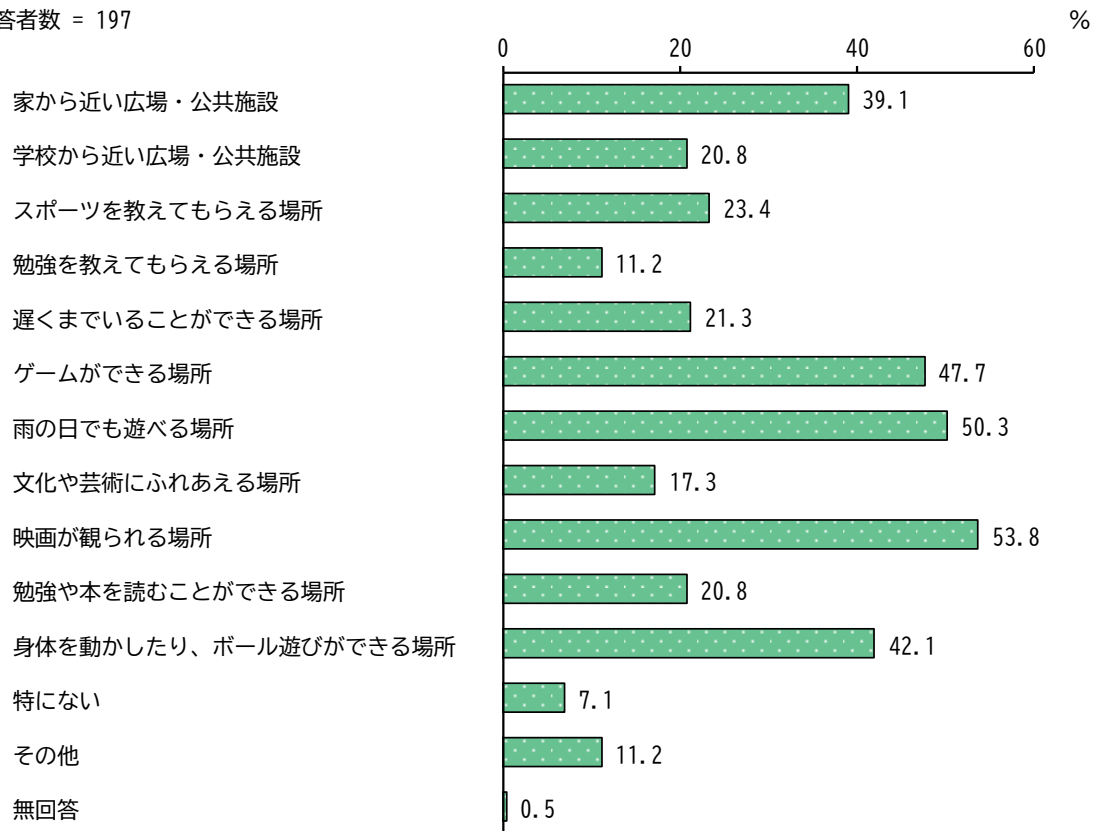
「いろいろなところに住んでみたいから」の割合が50.0%と最も高く、次いで「家から遠い学校に進学したいから」の割合が33.3%、「いすみ市は田舎だから」、「好きな店が近くにないから」、「一人暮らしがしたいから」の割合が25.0%となっています。



問 16 いすみ市にあったらいいなと思う場所がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「映画が観られる場所」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「雨の日でも遊べる場所」の割合が 50.3%、「ゲームができる場所」の割合が 47.7%となっています。

回答者数 = 197



問 17 いすみ市にお願いしたいことはありますか。(普段思っていることなど自由にお書きください)

カテゴリ名	件数
<p>公園・広場・遊び場について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊ぶ場所が少ないので友達と一緒に遊べるように球技ができる公園や広場を作ってください。 ・もう少し遊ぶところを増やしてほしいです。 ・いすみ市の近い場所に楽しくて、野球やサッカー・バスケなどができる公園を作ってください。 	29
<p>飲食店、商業施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングモールを作ってください。 ・コンビニをつくってください。 ・飲食店をもっと作ってほしいです。 	23
<p>スポーツ施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動場をつくってほしいです。 ・家から近い場所で、スポーツや体を動かしたりできる場所があったらいいなと思いました。 ・いすみ市にもっとグラウンドがほしいです。 	22
<p>ゲームセンターについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームセンターを作ってください。 	18
<p>映画館について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい会館に映画を作ってほしいです。 ・いすみ市に映画を見られるところを作ってください。 	11
<p>道路・交通について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木や竹がはみ出ている、車とすれ違う時にいつも危険だと思います。 ・狭い道を広げてほしい。 ・○道の横にある用水路の段差が高すぎて登校班のみんなが1回は落ちるから直してほしい。○マンホールがずれているところや貯水槽の柵みたいなものが壊れているから直してほしい。 	11
<p>給食・学校・教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活がなくならないでほしい。小学校でも高校みたいな感じに部活がいろいろあったらいい。 ・給食→パンにかけるもののバリエーションを増やしてほしい(ジャムとか)。残ったパンはどうなるの？ ・○パソコンのタッチペンがほしい。○いすみ市産のフルーツを出してほしい。○1年生が使っているようなランドセルにしてほしい。○校外学習にもっと行きたい。○ごはんを温かくしてほしい。○あげパンを出してほしい。 	11
<p>図書館・文化施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館や本屋、雑貨屋の数を増やしてほしい。 ・文化や芸術、科学に触れ合える場所をもっとほしい。 	10
<p>行政運営・物価などについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米を安くして下さい。 ・困っている人を助けてあげてください。 	7
<p>治安・安全対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険がないようにしてほしい。 ・子どもが一人でいられる安全な場所がほしい 	6

<p>環境・自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農薬や殺虫剤などをまかないでほしい。 ・自然を増やしてください。 	5
<p>公共施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい公共施設などを建てる時は、近所などと、相談してから決めてほしい。 ・雨の日でも遊べる場所を公民館に作ってほしいです。 	2
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いすみ市にアトラクションがほしい（サバゲーなど）。 ・総合グラウンドの土地の草をぬいてほしいです。 	13

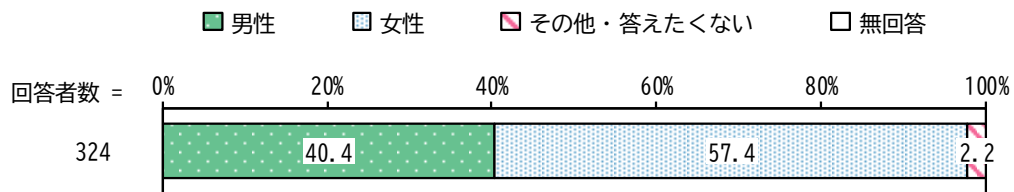
※特になし、わからないを除く

2 若者調査

(1) あなた自身のことについて

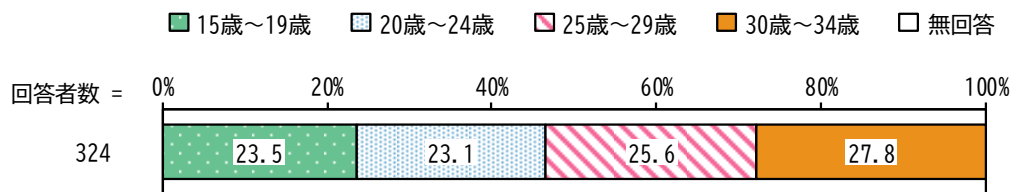
問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

「男性」の割合が40.4%、「女性」の割合が57.4%となっています。



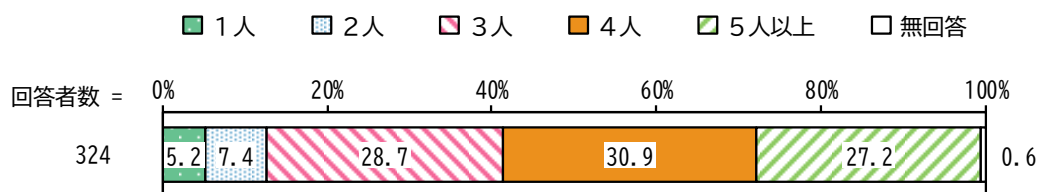
問2 あなたの年齢を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

「30歳～34歳」の割合が27.8%と最も高く、次いで「25歳～29歳」の割合が25.6%、「15歳～19歳」の割合が23.5%となっています。



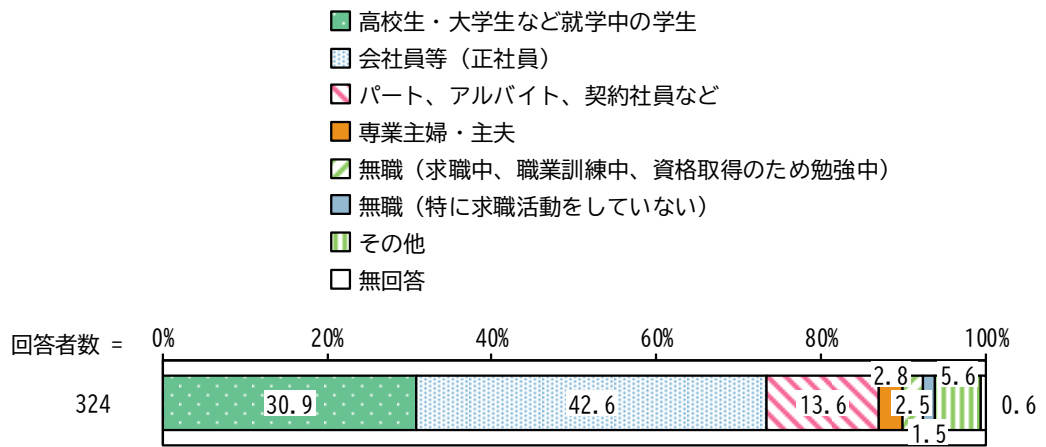
問3 あなたが同居している家族はあなたを入れて全員で何人ですか。(一時的に単身赴任している家族も人数に含みます。)(数字を記入)

「4人」の割合が30.9%と最も高く、次いで「3人」の割合が28.7%、「5人以上」の割合が27.2%となっています。



問4 あなたの職業などは、次のどれですか。(あてはまるもの1つに○)

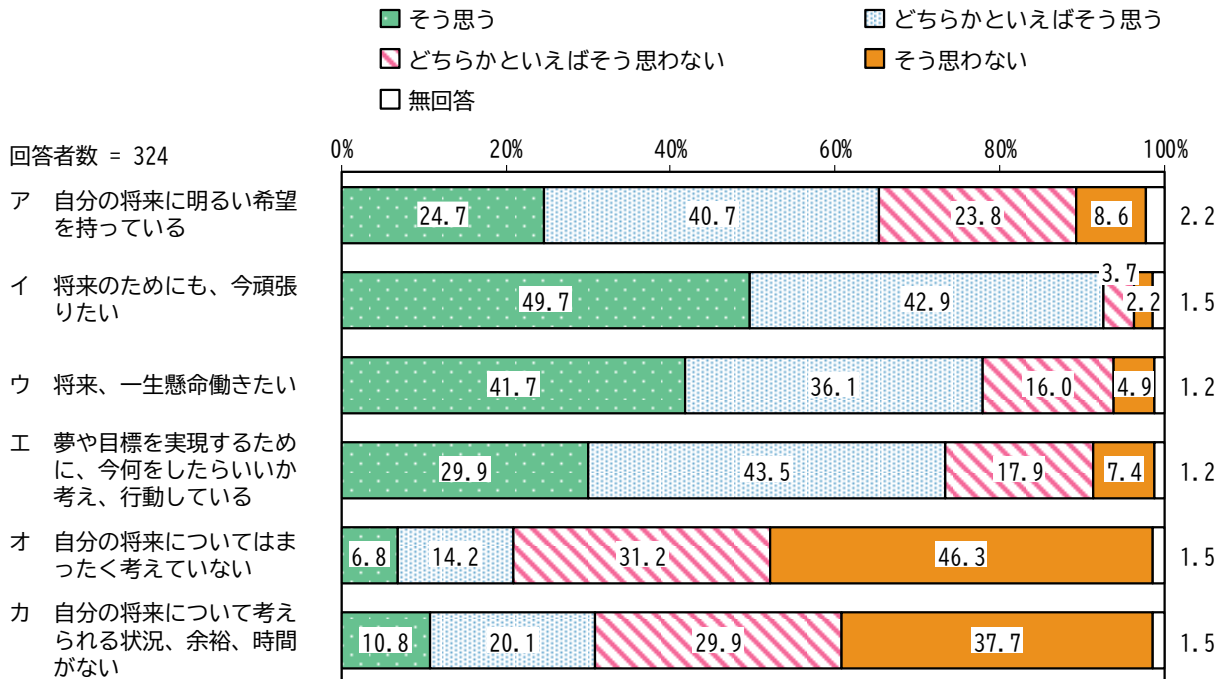
「会社員等（正社員）」の割合が42.6%と最も高く、次いで「高校生・大学生など就学中の学生」の割合が30.9%、「パート、アルバイト、契約社員など」の割合が13.6%となっています。



(2) 将来などについて

問5 あなたは、自分の将来についてどう考えていますか。
(ア～カについてそれぞれあてはまるもの1つに○)

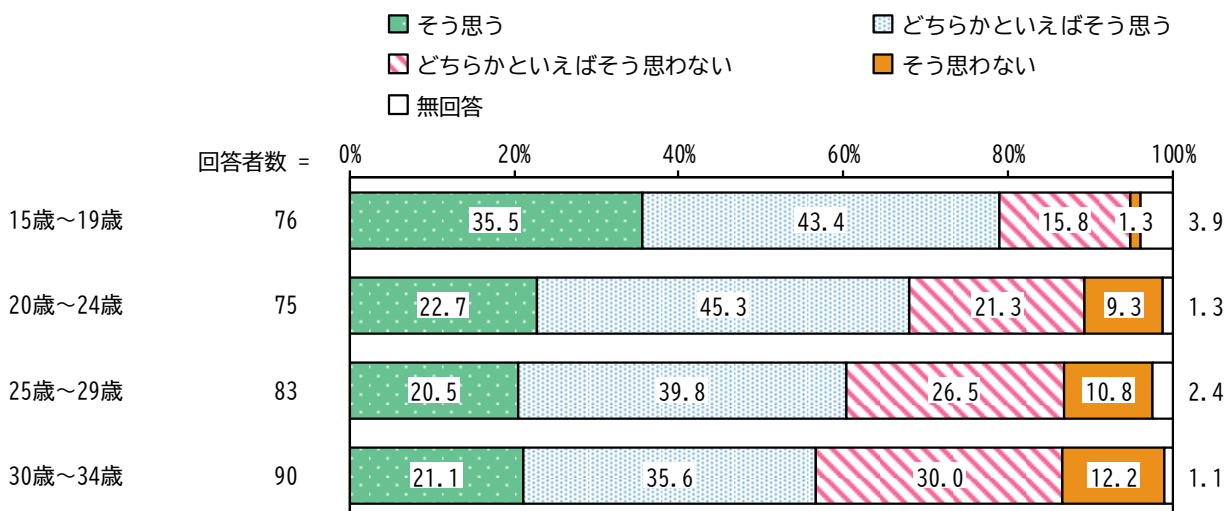
『イ 将来のためにも、今頑張りたい』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”が高くなっています。また、『オ 自分の将来についてはまったく考えていない』で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”が高くなっています。



ア 自分の将来に明るい希望を持っている

【年齢別】

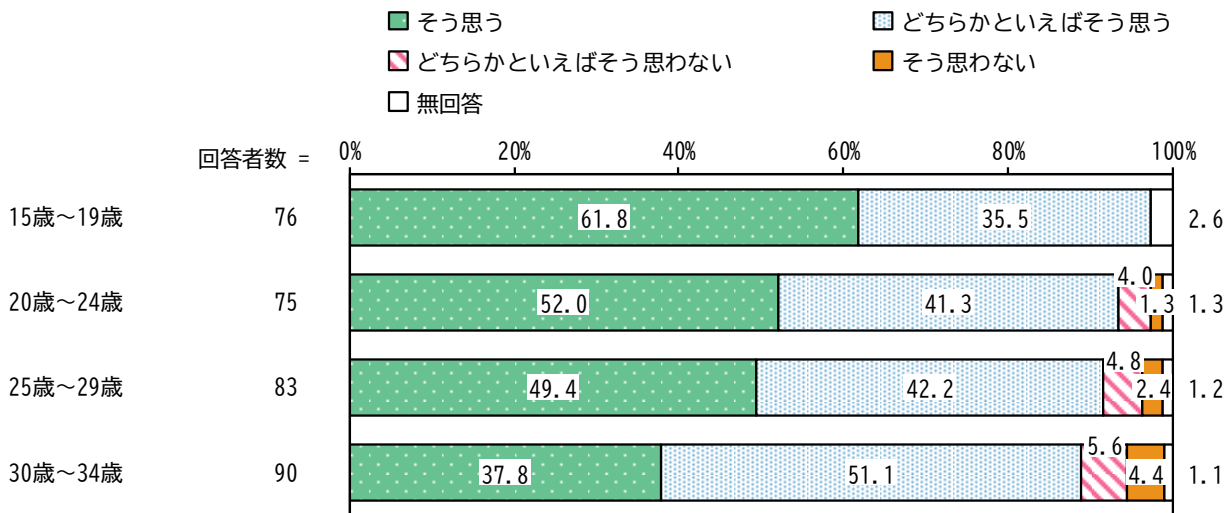
年齢別にみると、年齢が上がるほど“そう思わない”の割合が高くなっています。また、15歳～19歳で「そう思う」の割合が高くなっています。



イ 将来のためにも、今頑張りたい

【年齢別】

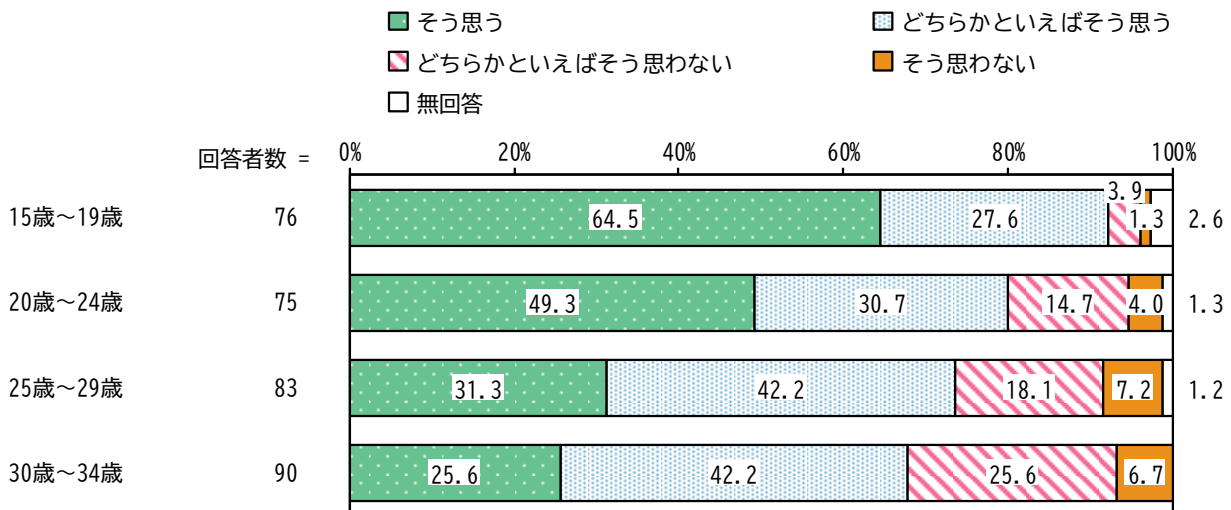
年齢別にみると、年齢が上がるほど“そう思わない”の割合が高くなっています。また、15歳～19歳で「そう思う」の割合が高くなっています。



ウ 将来、一生懸命働きたい

【年齢別】

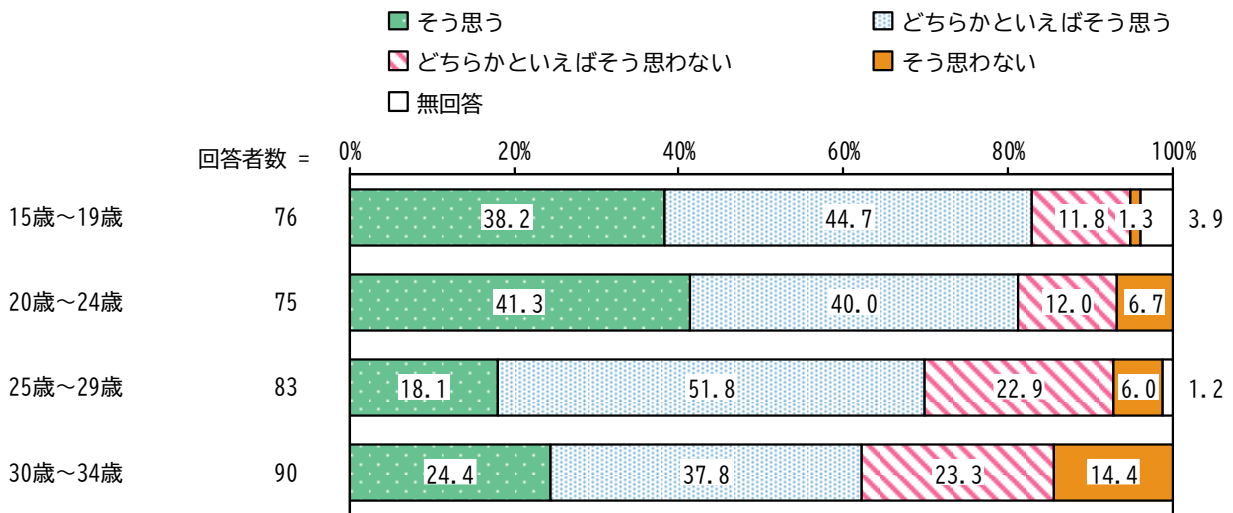
年齢別にみると、年齢が上がるほど“そう思わない”の割合が高くなっています。また、15歳～19歳で「そう思う」の割合が高くなっています。



エ 夢や目標を実現するために、今何をしたらいいか考え、行動している

【年齢別】

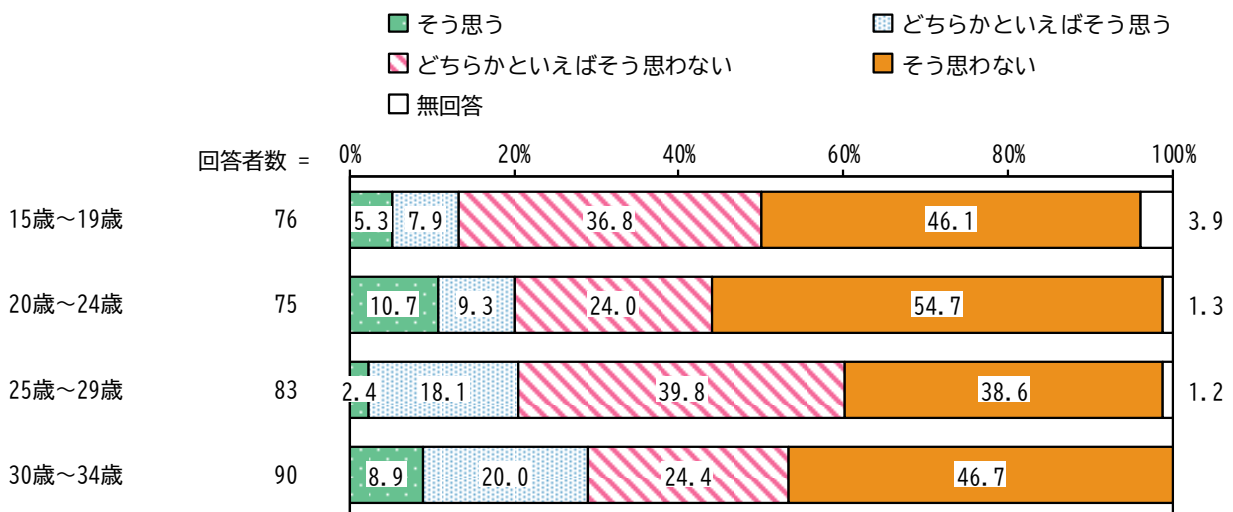
年齢別にみると、年齢が上がるほど“そう思わない”の割合が高くなっています。また、20歳～24歳で「そう思う」の割合が高くなっています。



オ 自分の将来についてはまったく考えていない

【年齢別】

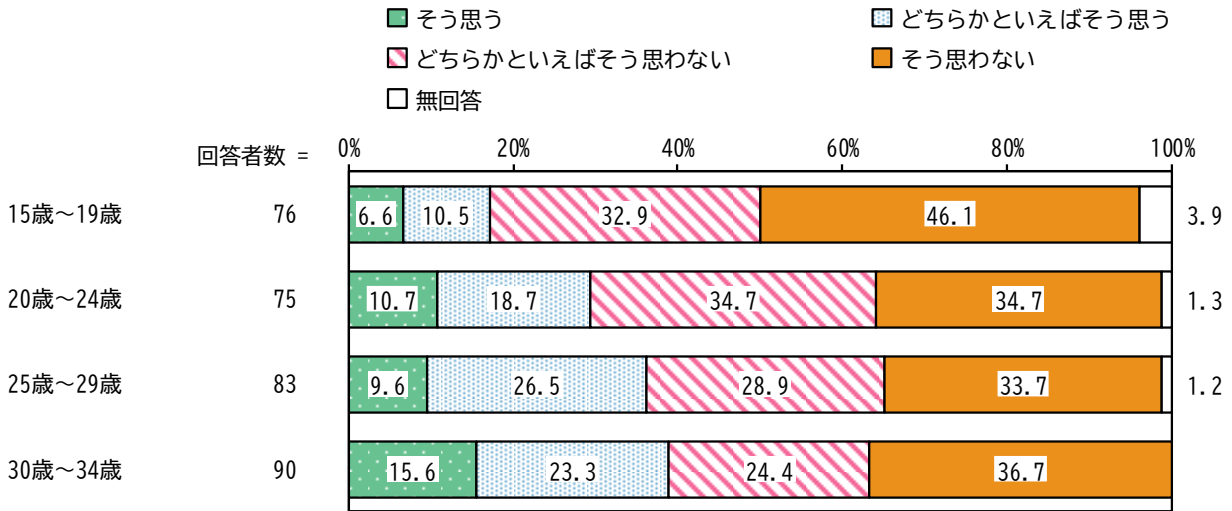
年齢別にみると、年齢が上がるほど“そう思う”の割合が高くなっています。



カ 自分の将来について考えられる状況、余裕、時間がない

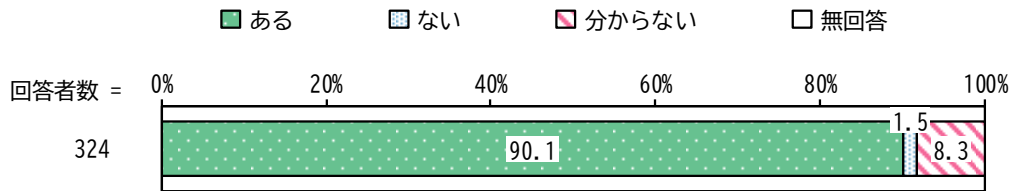
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど“そう思う”の割合が高くなっています。



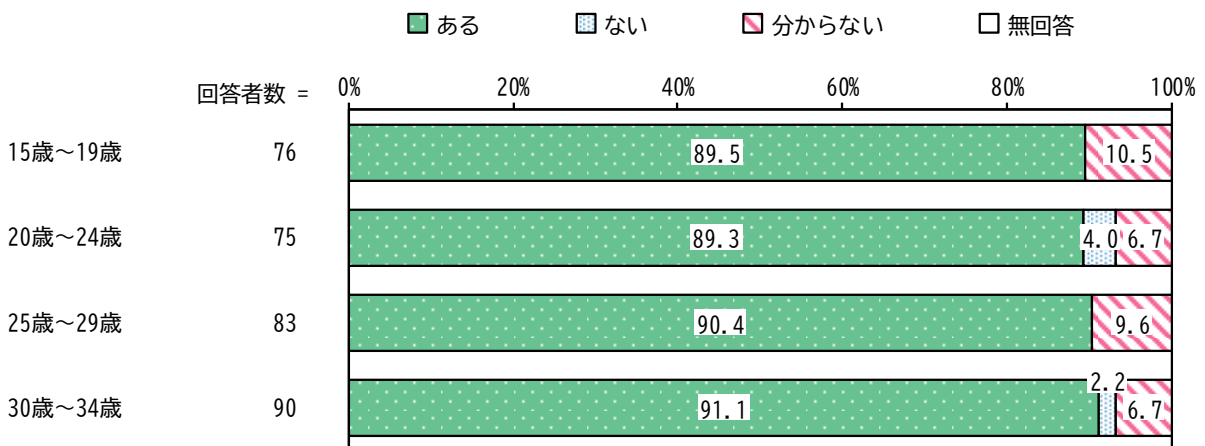
問6 今のあなたにとって居場所がありますか。(あてはまるもの1つに○)

「ある」の割合が90.1%、「ない」の割合が1.5%となっています。



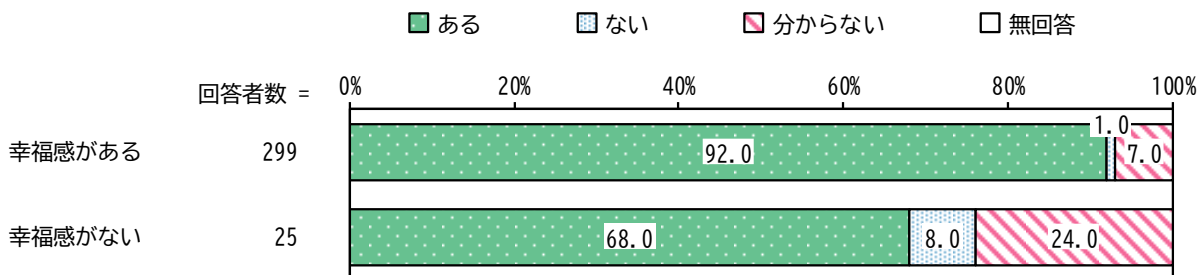
【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。



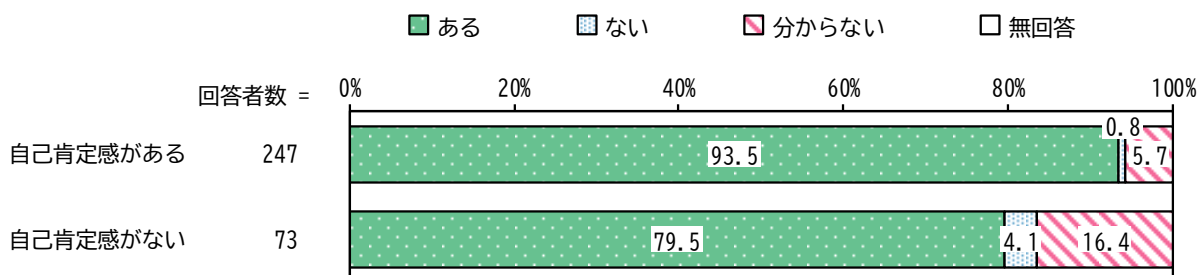
【幸福感別】

幸福感別にみると、『幸福感がある』で「ある」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

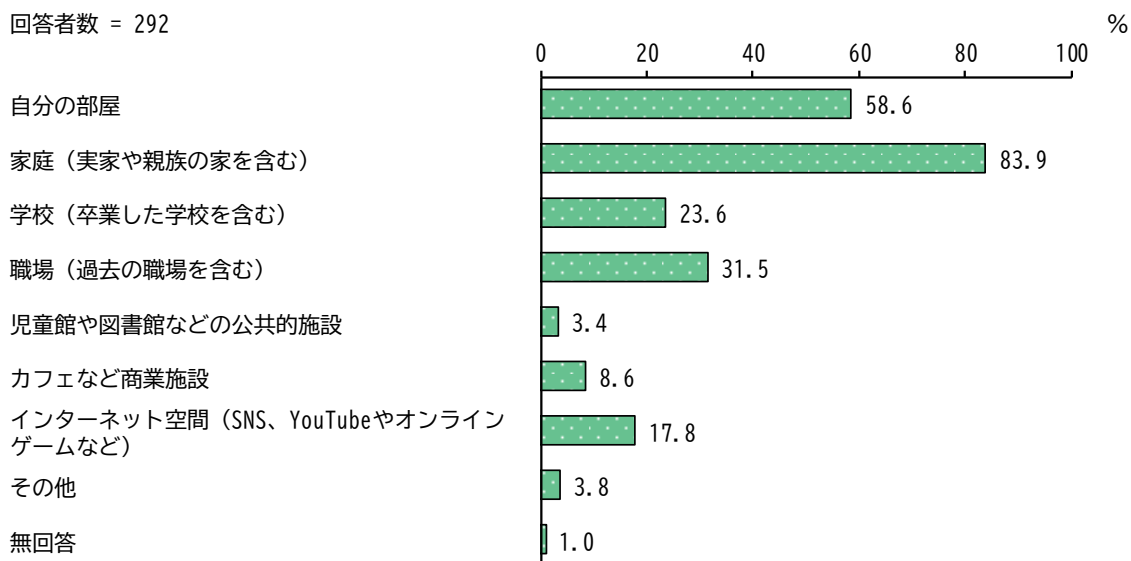
自己肯定感別にみると、『自己肯定感がある』で「ある」の割合が高くなっています。



問6で「ある」と答えた方にお聞きします。

問6-1 それはどこですか。(あてはまるものすべてに○)

「家庭(実家や親族の家を含む)」の割合が83.9%と最も高く、次いで「自分の部屋」の割合が58.6%、「職場(過去の職場を含む)」の割合が31.5%となっています。

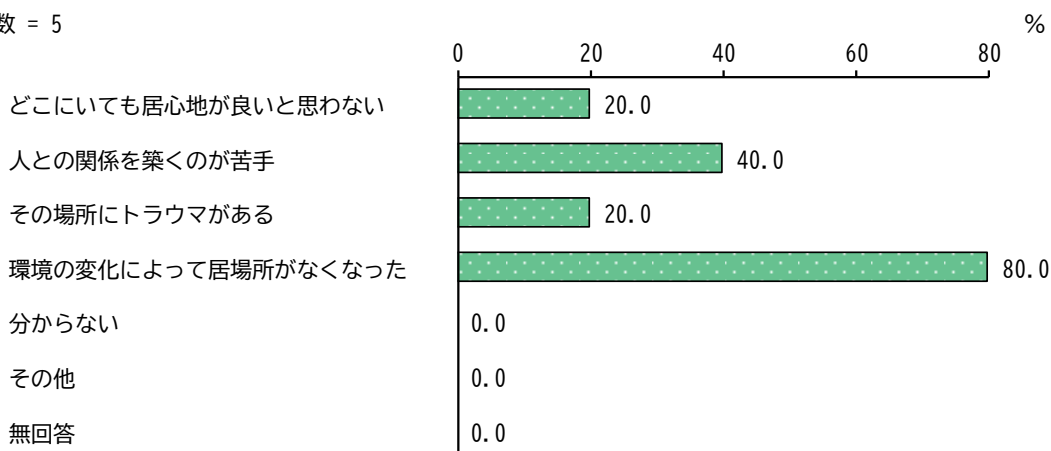


問6で「ない」と答えた方にお聞きします。

問6-2 その理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

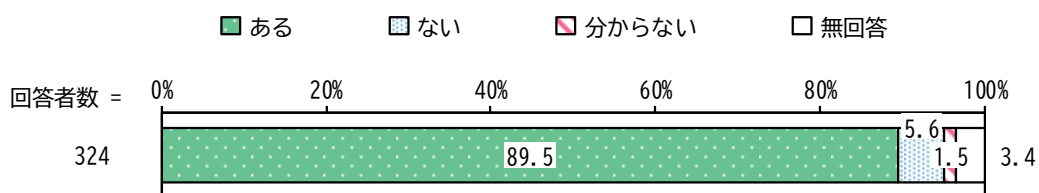
「環境の変化によって居場所がなくなった」が4件、「人との関係を築くのが苦手」が2件、「どこにいても居心地が良いと思わない」、「その場所にトラウマがある」が1件となっています。

回答者数 = 5



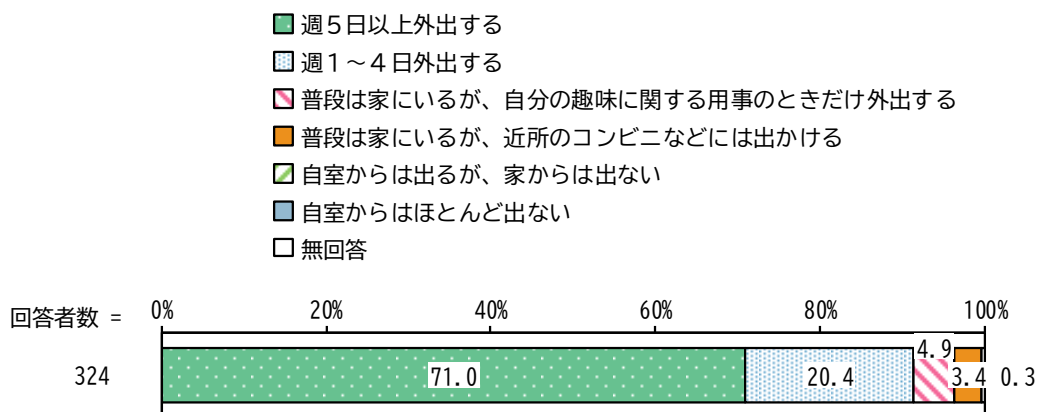
問7 あなたは社会との関わり(学校、職場など)がありますか。(あてはまるもの1つに○)

「ある」の割合が89.5%、「ない」の割合が5.6%となっています。



問8 あなたは普段どのくらい外出しますか。最もあてはまるものに○をつけてください。(あてはまるもの1つに○)

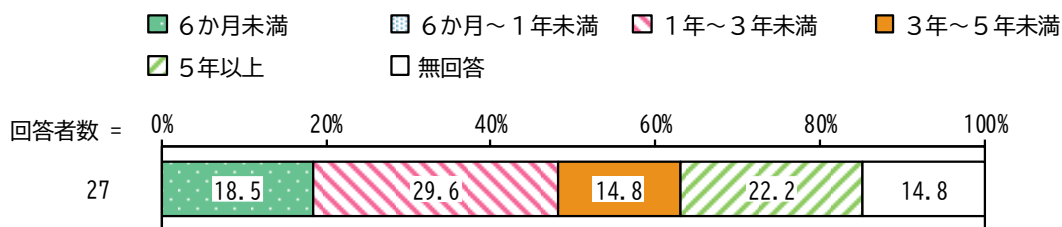
「週5日以上外出する」の割合が71.0%と最も高く、次いで「週1～4日外出する」の割合が20.4%となっています。



問8で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」から「自室からはほとんど出ない」と答えた方にお聞きします。

問8-1 あなたが現在の状態となってどのくらい経ちますか。(あてはまるもの1つに○)

「1年～3年未満」の割合が29.6%と最も高く、次いで「5年以上」の割合が22.2%、「6か月未満」の割合が18.5%となっています。

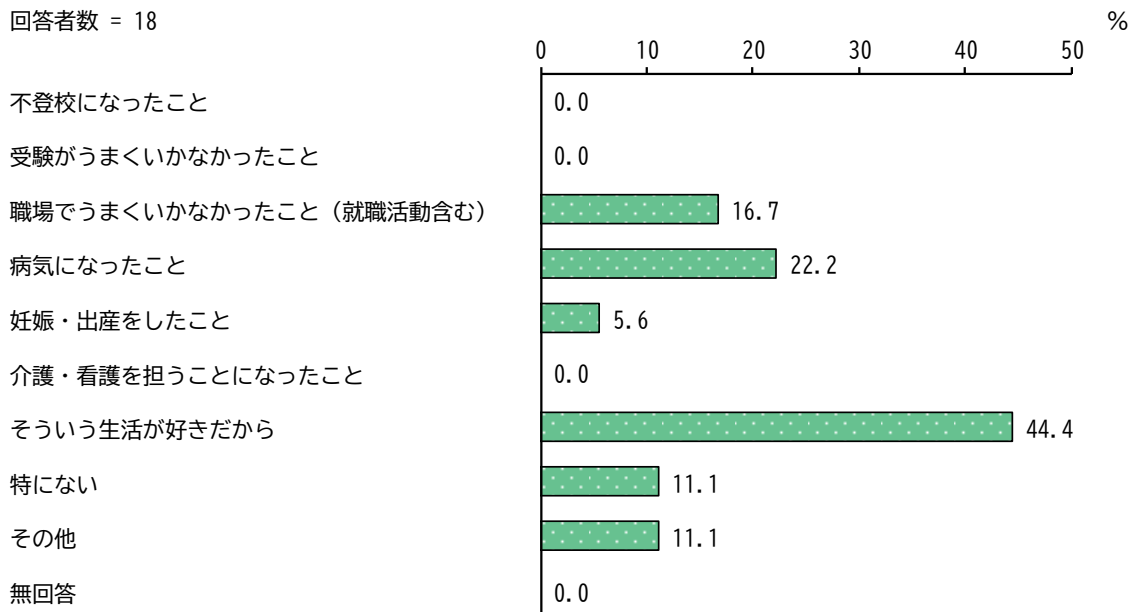


問8-1で「6か月～1年未満」「1年～3年未満」「3年～5年未満」「5年以上」と答えた方にお聞きします。

問8-2 あなたがそのような状況になったきっかけは何でしたか。(あてはまるものすべてに○)

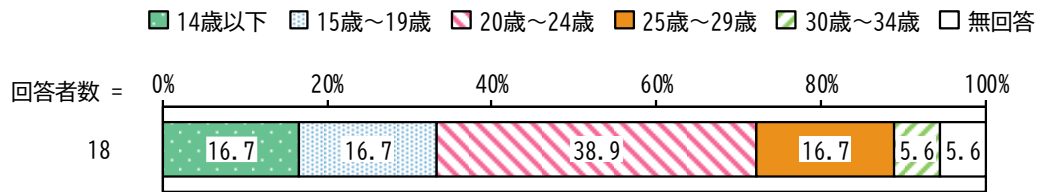
「そういう生活が好きだから」の割合が44.4%と最も高く、次いで「病気になったこと」の割合が22.2%、「職場でうまくいかなかったこと(就職活動含む)」の割合が16.7%となっています。

回答者数 = 18



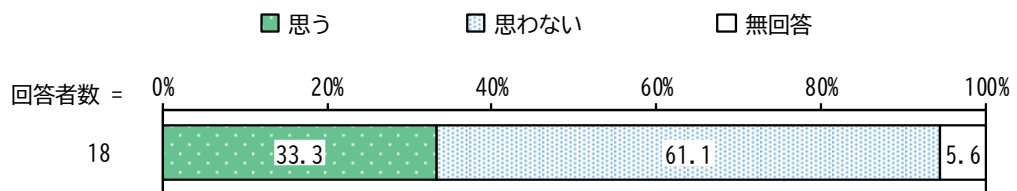
問8-3 あなたの外出の状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。
 (あてはまるもの1つに○)

「20歳～24歳」の割合が38.9%と最も高く、次いで「14歳以下」、「15歳～19歳」、「25歳～29歳」の割合が16.7%となっています。



問8-4 あなたは、今の生活を変えたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

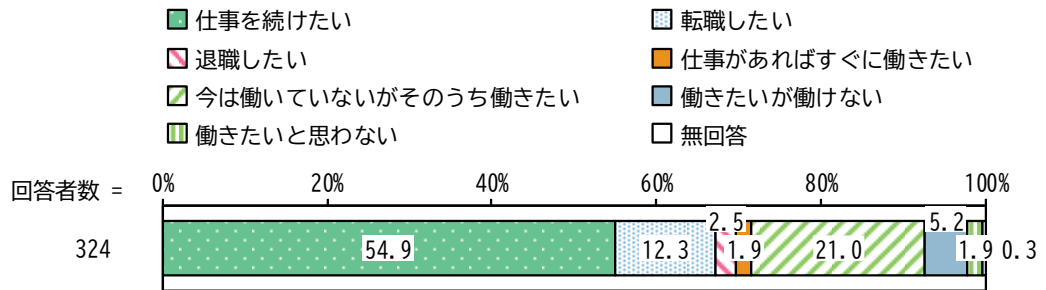
「思う」の割合が33.3%、「思わない」の割合が61.1%となっています。



(3) 働くことについて

問9 あなたは、今後、働くことについてどう考えていますか。(あてはまるもの1つに○)

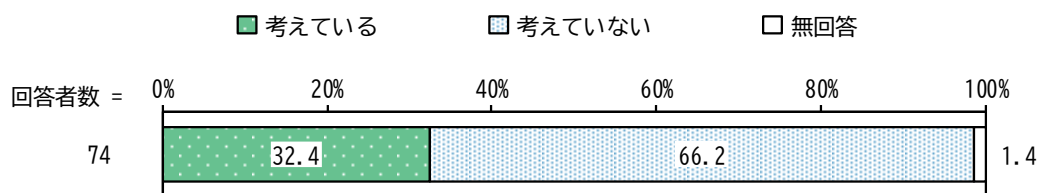
「仕事を続けたい」の割合が54.9%と最も高く、次いで「今は働いていないがそのうち働きたい」の割合が21.0%、「転職したい」の割合が12.3%となっています。



問9で「仕事があればすぐに働きたい」「今は働いていないがそのうち働きたい」と答えた方にお聞きします。

問9-1 いすみ市での就職を考えていますか。(あてはまるもの1つに○)

「考えている」の割合が32.4%、「考えていない」の割合が66.2%となっています。

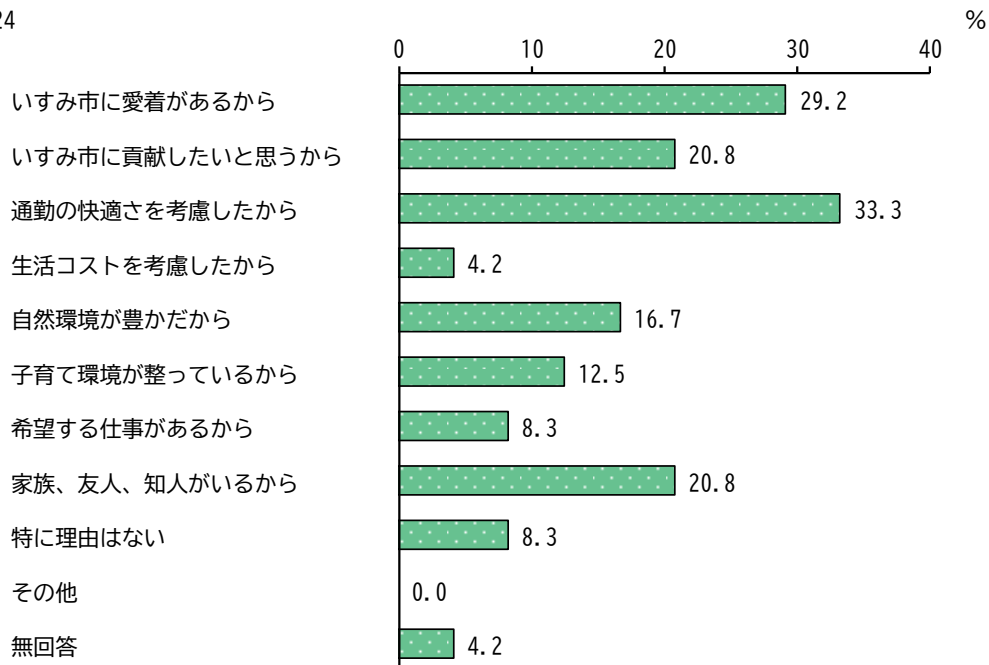


問9-1で「考えている」と答えた方にお聞きします。

問9-2 その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「通勤の快適さを考慮したから」の割合が33.3%と最も高く、次いで「いすみ市に愛着があるから」の割合が29.2%、「いすみ市に貢献したいと思うから」、「家族、友人、知人がいるから」の割合が20.8%となっています。

回答者数 = 24

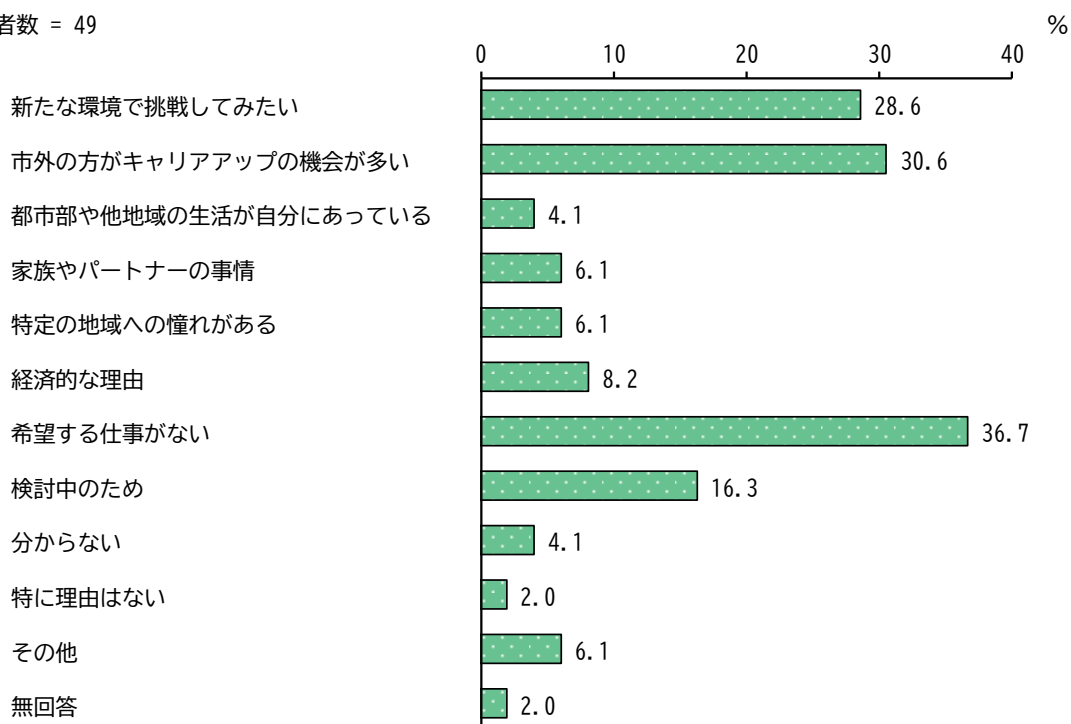


問9-1で「考えていない」と答えた方にお聞きします。

問9-3 その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「希望する仕事がない」の割合が36.7%と最も高く、次いで「市外の方がキャリアアップの機会が多い」の割合が30.6%、「新たな環境で挑戦してみたい」の割合が28.6%となっています。

回答者数 = 49

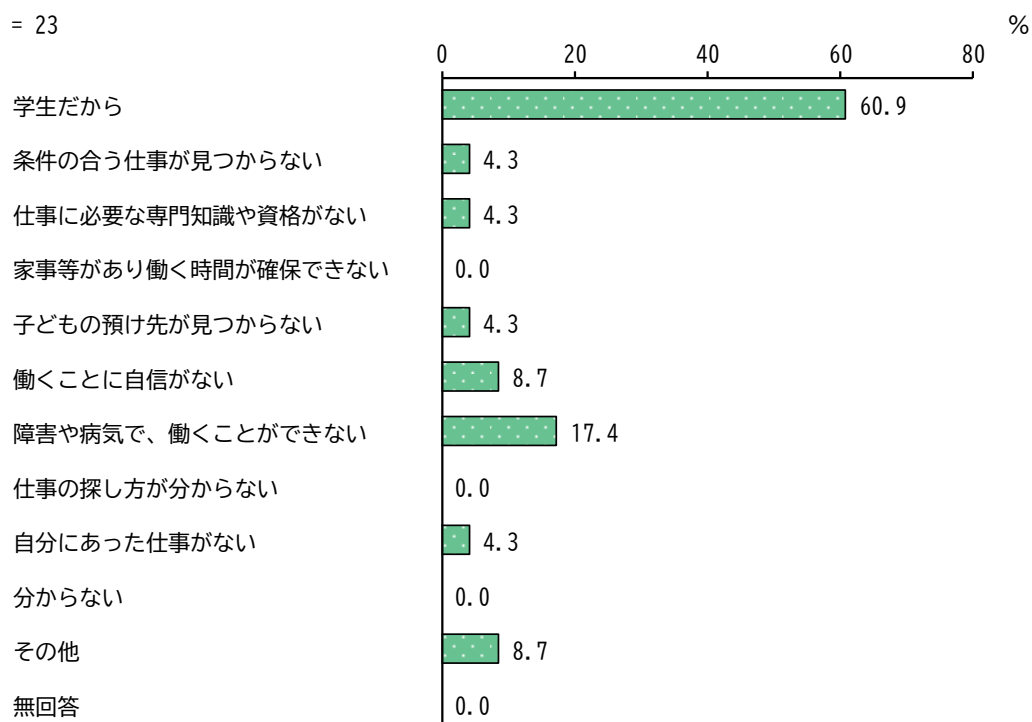


問9で「働きたいが働けない」「働きたいと思わない」と答えた方にお聞きします。

問9-4 その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「学生だから」の割合が60.9%と最も高く、次いで「障害や病気で、働くことができない」の割合が17.4%となっています。

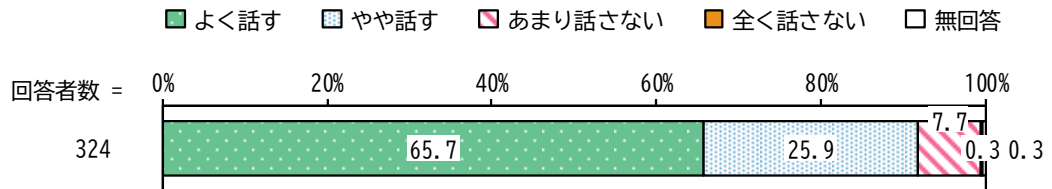
回答者数 = 23



(4) 家族や家庭について

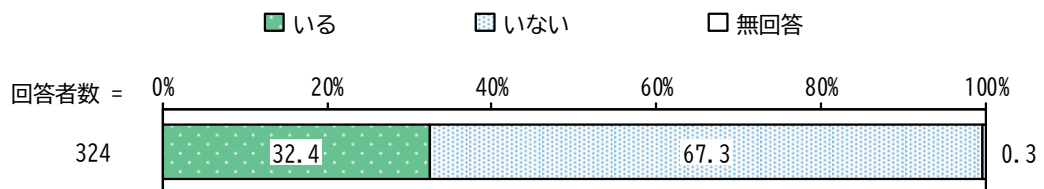
問10 あなたは家族やパートナーとよく話をするほうですか。それとも話さないほうですか。(あてはまるもの1つに○)

「よく話す」「やや話す」を合わせた“話す”の割合が91.6%、「あまり話さない」「全く話さない」を合わせた“話さない”の割合が8.0%となっています。



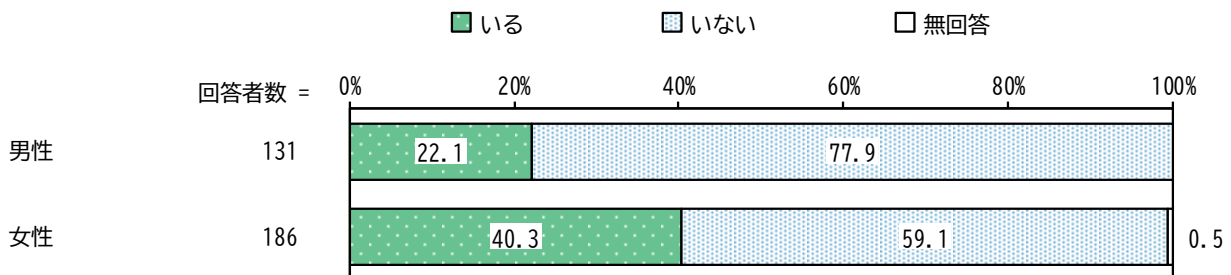
問11 あなたには配偶者（パートナー）がいますか。(あてはまるもの1つに○)

「いる」の割合が32.4%、「いない」の割合が67.3%となっています。



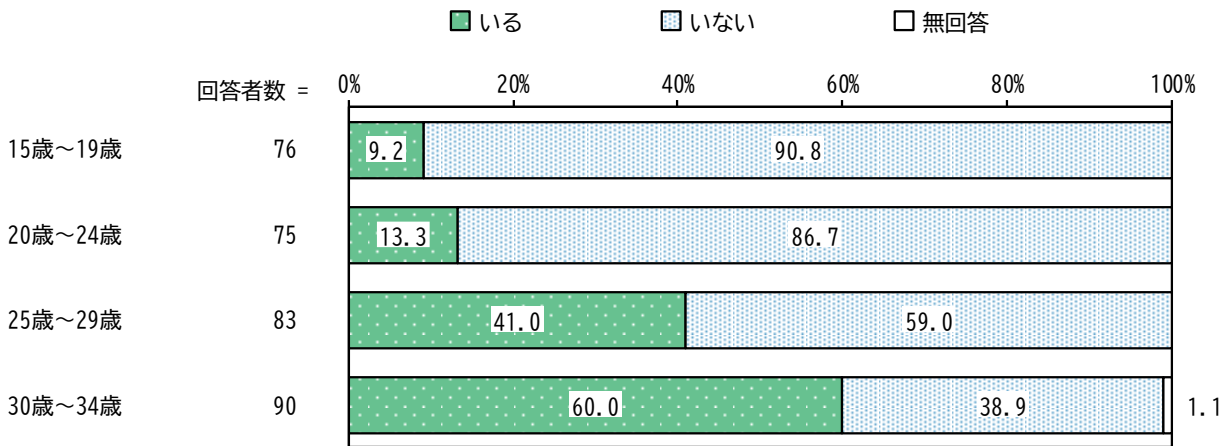
【性別】

性別にみると、男性で「いない」の割合が高くなっています。



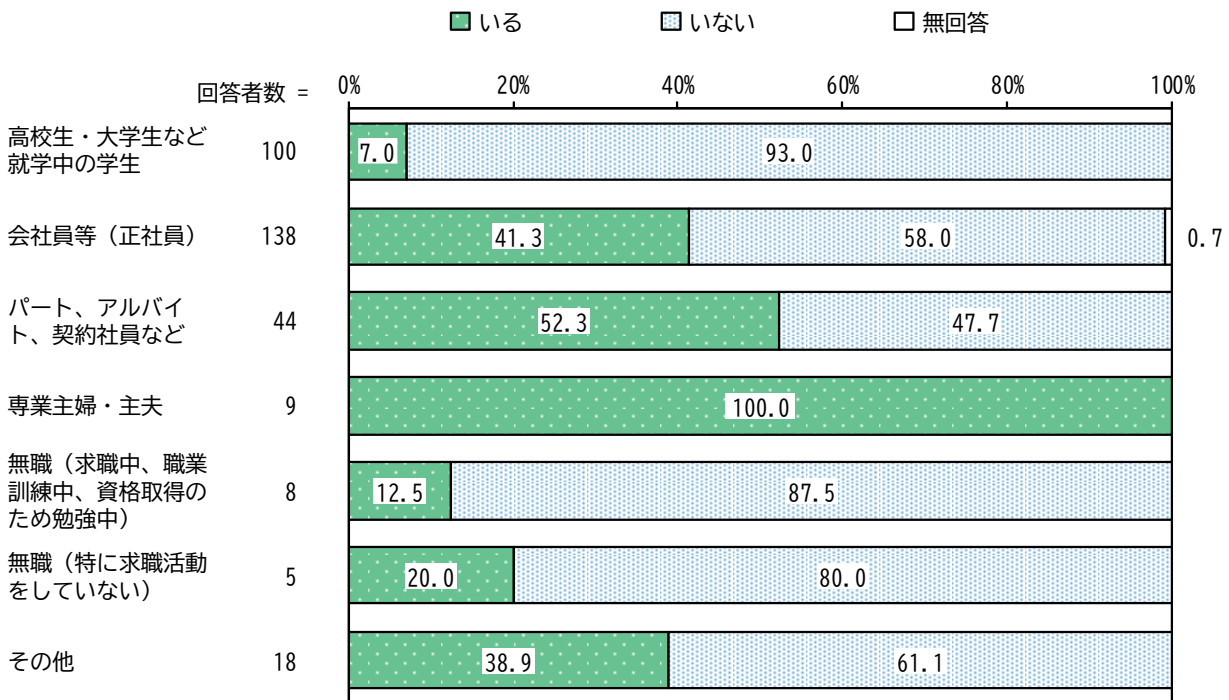
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「いる」の割合が高くなっています。



【職業別】

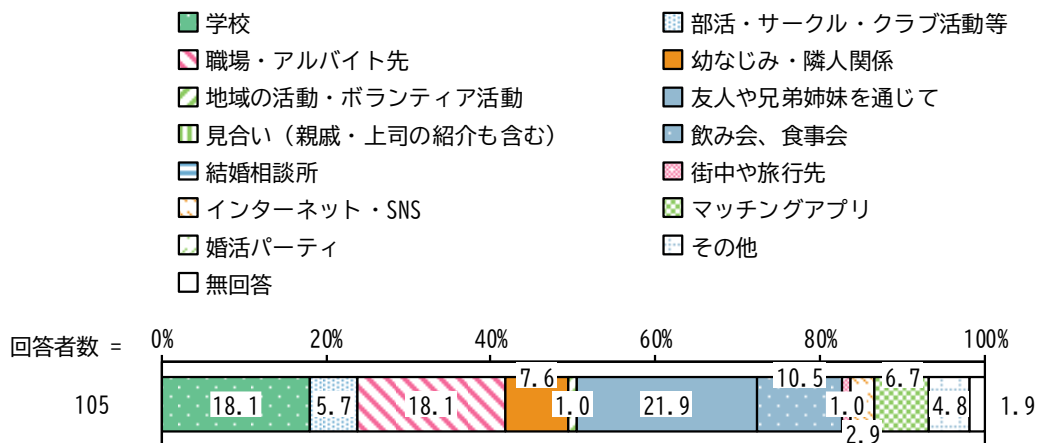
職業別にみると、パート、アルバイト、契約社員などで「いる」、高校生・大学生など就学中の学生で「いない」の割合が高くなっています。



問 11 で「いる」と答えた方にお聞きします。

問 11-1 あなたは、現在の配偶者（パートナー）とどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。最もあてはまると思うものを選んでください。（あてはまるもの1つに○）

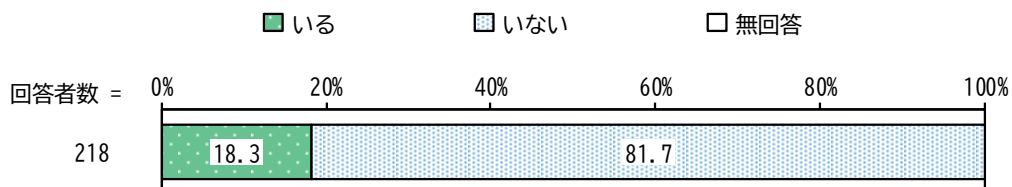
「友人や兄弟姉妹を通じて」の割合が 21.9%と最も高く、次いで「学校」、「職場・アルバイト先」の割合が 18.1%となっています。



問 11 で「いない」と答えた方にお聞きします。

問 11-2 あなたは、現在交際している人はいますか。（あてはまるもの1つに○）

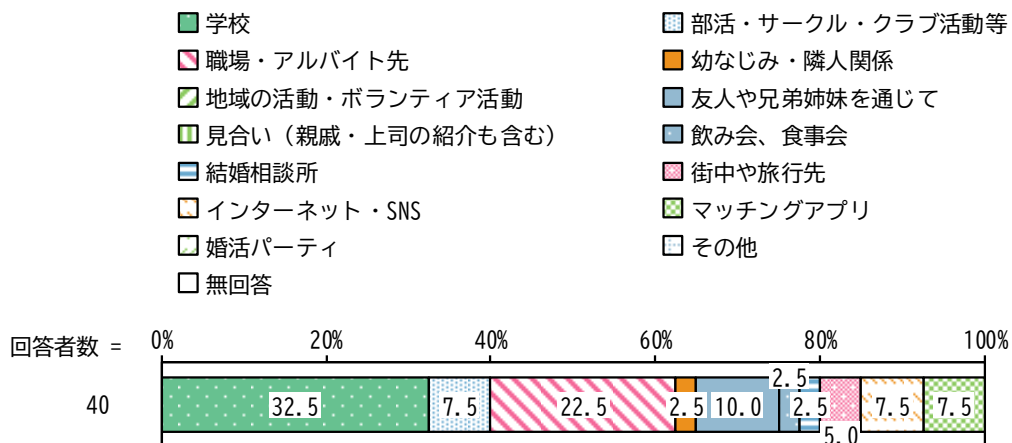
「いる」の割合が 18.3%、「いない」の割合が 81.7%となっています。



問 11-2 で「いる」と答えた方にお聞きします。

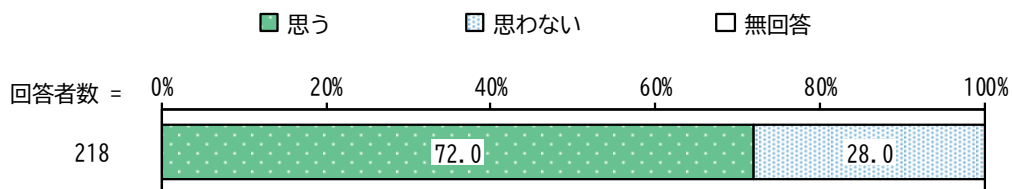
問 11-3 あなたは、現在の交際している人とどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。最もあてはまると思うものを選んでください。(あてはまるもの1つに○)

「学校」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「職場・アルバイト先」の割合が 22.5%、「友人や兄弟姉妹を通じて」の割合が 10.0%となっています。



問 11-4 あなたは、いつかは結婚したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「思う」の割合が 72.0%、「思わない」の割合が 28.0%となっています。

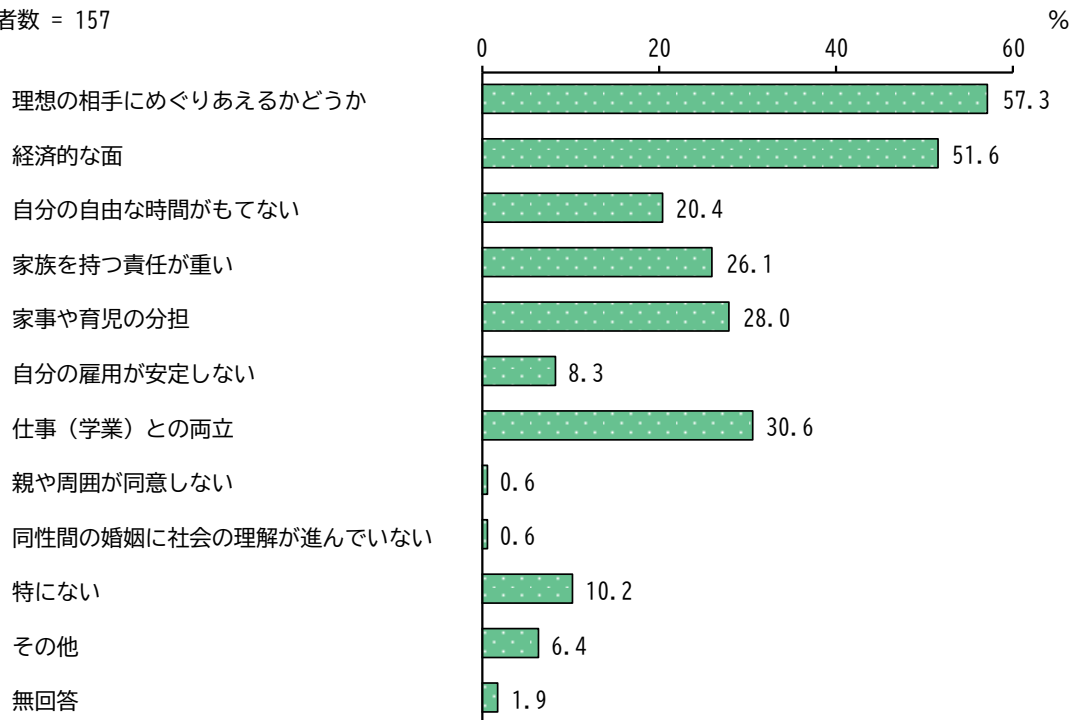


問 11-4 で「思う」と答えた方にお聞きします。

問 11-5 あなたが現在結婚について抱いている不安として、当てはまるものを選んでください。(当てはまるものすべてに○)

「理想の相手にめぐりあえるかどうか」の割合が 57.3%と最も高く、次いで「経済的な面」の割合が 51.6%、「仕事（学業）との両立」の割合が 30.6%となっています。

回答者数 = 157

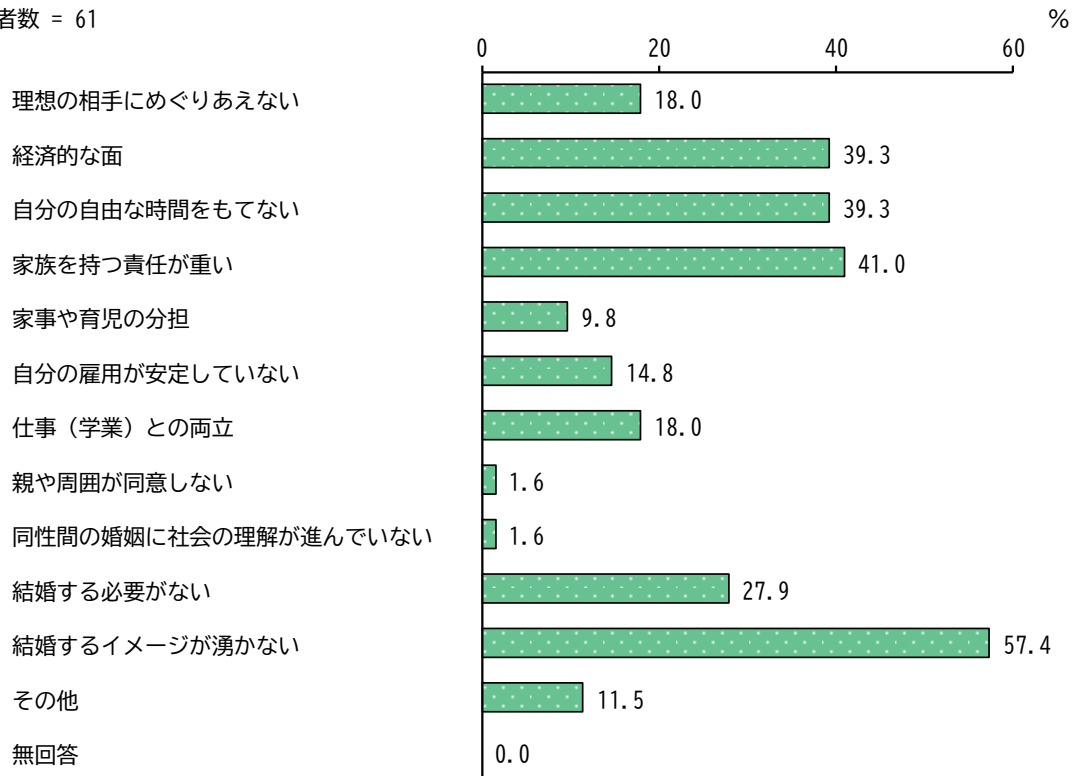


問 11-4 で「思わない」と答えた方にお聞きします。

問 11-6 あなたが結婚したくないと考える理由をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

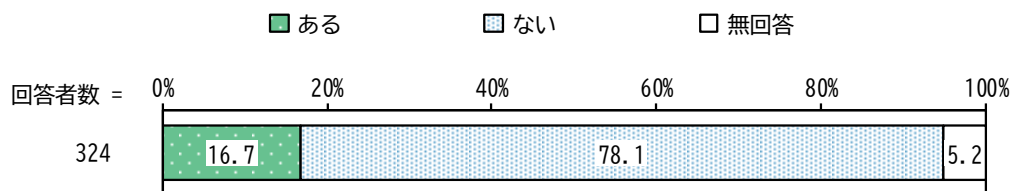
「結婚するイメージが湧かない」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「家族を持つ責任が重い」の割合が 41.0%、「経済的な面」、「自分の自由な時間をもてない」の割合が 39.3%となっています。

回答者数 = 61



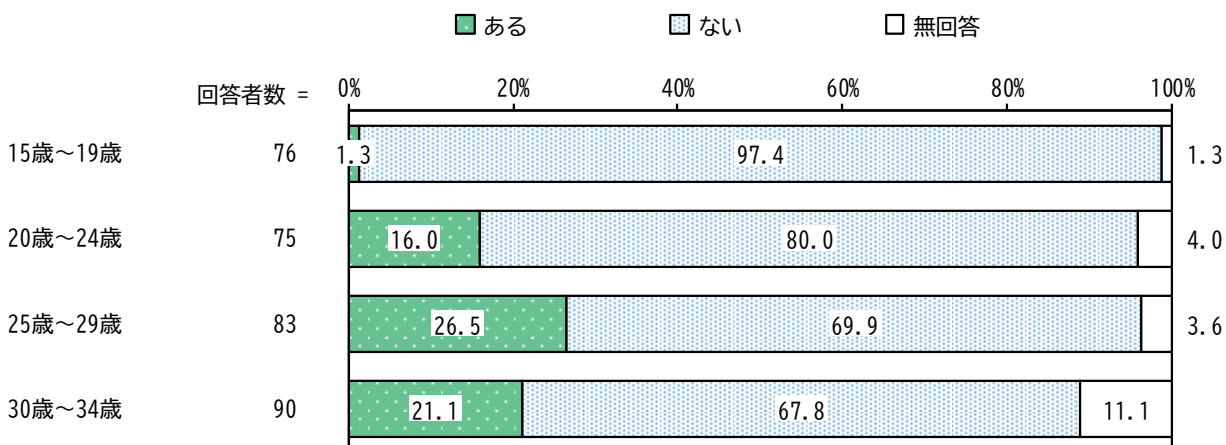
問 12 これまでにマッチングアプリを使用したことがありますか。
(あてはまるもの1つに○)

「ある」の割合が 16.7%、「ない」の割合が 78.1%となっています。



【年齢別】

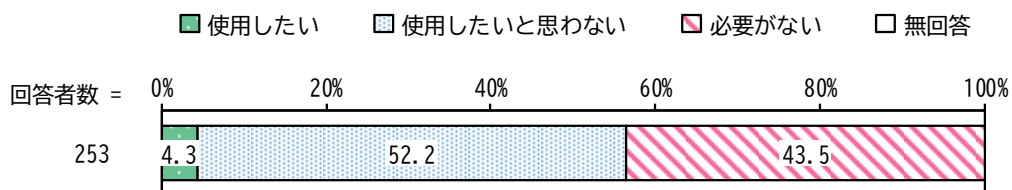
年齢別にみると、年齢が下がるほど「ない」の割合が高くなっています。



問 12 で「ない」と答えた方にお聞きします。

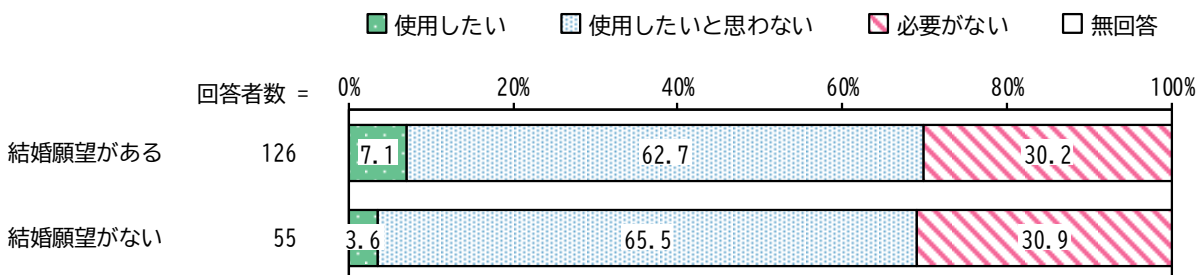
問 12-1 今後、マッチングアプリを使用したいと思いませんか。(あてはまるもの1つに○)

「使用したい」の割合が 4.3%、「使用したいと思わない」の割合が 52.2%、「必要がない」の割合が 43.5%となっています。



【結婚願望別】

結婚願望別にみると、大きな差はみられません。

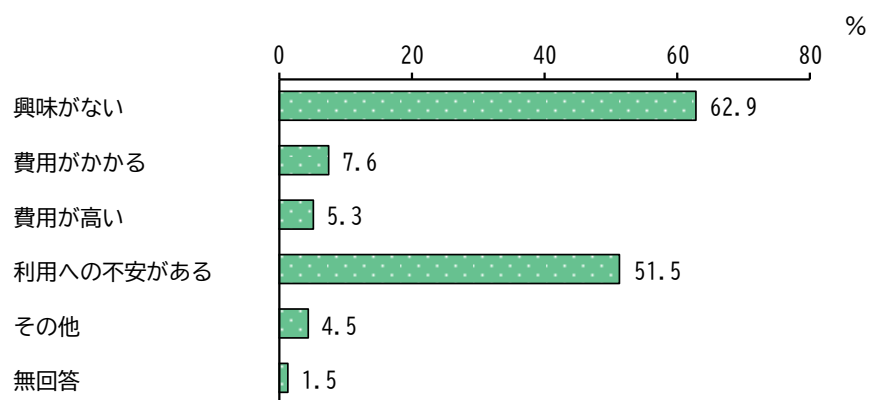


問 12-1 で「使用したいと思わない」と答えた方にお聞きします。

問 12-2 使用したいと思わない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

「興味がない」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「利用への不安がある」の割合が 51.5%となっています。

回答者数 = 132

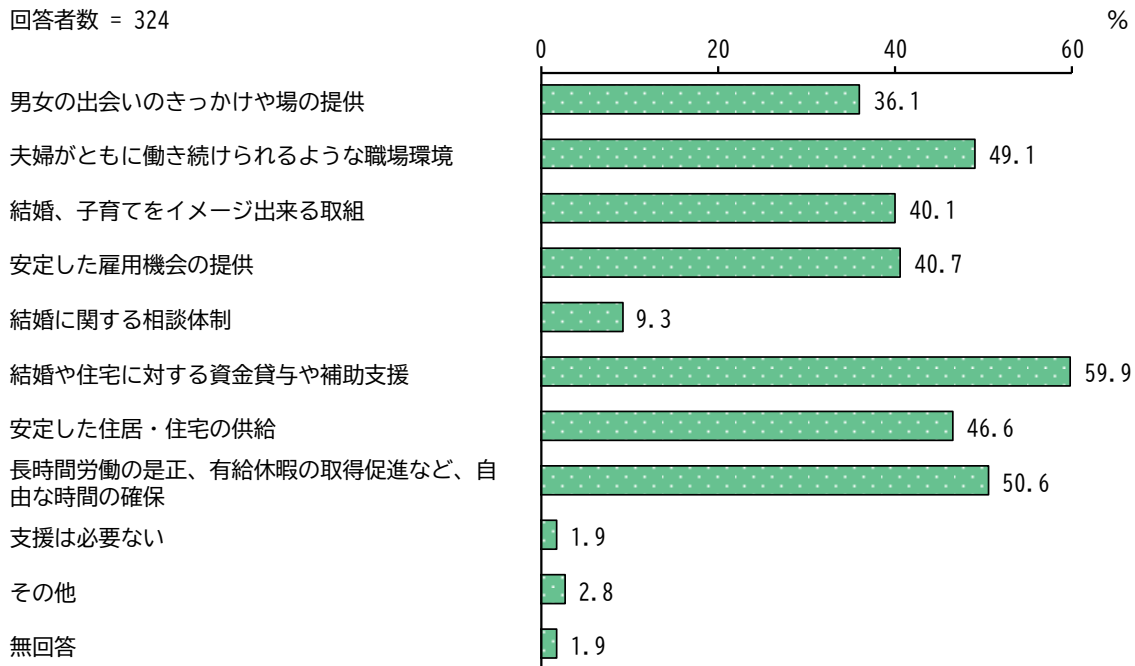


(5) 結婚・出産・子育てのしやすい環境づくりについて

問13 結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるには、どのような取組が効果的だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援」の割合が59.9%と最も高く、次いで「長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間の確保」の割合が50.6%、「夫婦がともに働き続けられるような職場環境」の割合が49.1%となっています。

回答者数 = 324



【職業別】

職業別にみると、会社員等（正社員）で「男女の出会いのきっかけや場の提供」、パート、アルバイト、契約社員などで「夫婦がともに働き続けられるような職場環境」「安定した雇用機会の提供」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	男女の出会いのきっかけや場の提供	夫婦がともに働き続けられるような職場環境	結婚、子育てをイメージ出来る取組	安定した雇用機会の提供	結婚に関する相談体制	結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援	安定した住居・住宅の供給	長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間の確保	支援は必要ない	その他	無回答
全体	324	36.1	49.1	40.1	40.7	9.3	59.9	46.6	50.6	1.9	2.8	1.9
高校生・大学生など就学中の学生	100	27.0	40.0	35.0	35.0	6.0	56.0	50.0	48.0	3.0	5.0	2.0
会社員等（正社員）	138	44.2	55.8	44.2	42.8	13.0	61.6	44.2	53.6	2.2	1.4	0.0
パート、アルバイト、契約社員など	44	36.4	61.4	43.2	47.7	11.4	63.6	47.7	54.5	0.0	0.0	0.0
専業主婦・主夫	9	33.3	44.4	44.4	66.7	0.0	66.7	55.6	66.7	0.0	0.0	0.0
無職（求職中、職業訓練中、資格取得のため勉強中）	8	12.5	62.5	37.5	50.0	0.0	50.0	37.5	50.0	0.0	0.0	25.0
無職（特に求職活動をしていない）	5	40.0	40.0	40.0	60.0	20.0	40.0	80.0	60.0	0.0	0.0	0.0
その他	18	38.9	22.2	33.3	22.2	0.0	66.7	33.3	27.8	0.0	11.1	11.1

【配偶者（パートナー）の有無別】

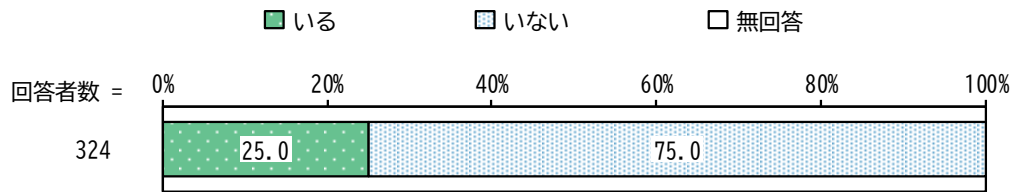
配偶者（パートナー）の有無別にみると、『配偶者（パートナー）がいる』で「夫婦がともに働き続けられるような職場環境」「結婚、子育てをイメージ出来る取組」「結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援」「安定した住居・住宅の供給」「長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間の確保」の割合が高く、『配偶者（パートナー）がいない』で「男女の出会いのきっかけや場の提供」「結婚に関する相談体制」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	男女の出会いのきっかけや場の提供	夫婦がともに働き続けられるような職場環境	結婚、子育てをイメージ出来る取組	安定した雇用機会の提供	結婚に関する相談体制	結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援	安定した住居・住宅の供給	長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間の確保	支援は必要ない	その他	無回答
全体	324	36.1	49.1	40.1	40.7	9.3	59.9	46.6	50.6	1.9	2.8	1.9
配偶者（パートナー）がいる	105	28.6	57.1	47.6	43.8	4.8	63.8	51.4	58.1	1.0	1.9	1.0
配偶者（パートナー）がいない	218	39.4	45.0	36.2	39.0	11.5	57.8	44.0	46.8	2.3	3.2	2.3

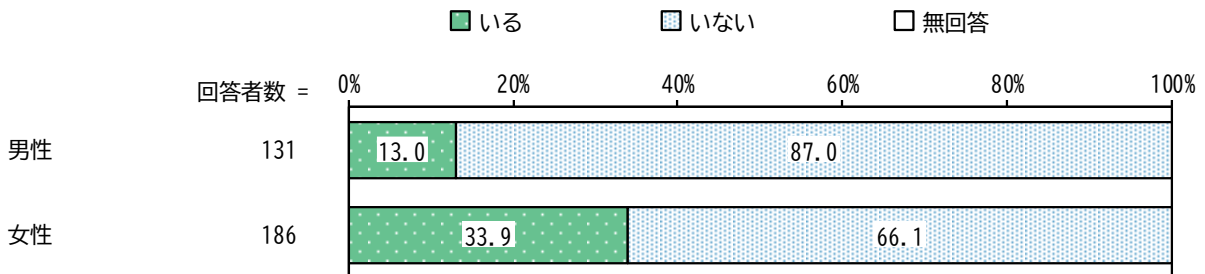
問 14 あなたには、現在、子どもがいますか。(あてはまるもの1つに○)

「いる」の割合が25.0%、「いない」の割合が75.0%となっています。



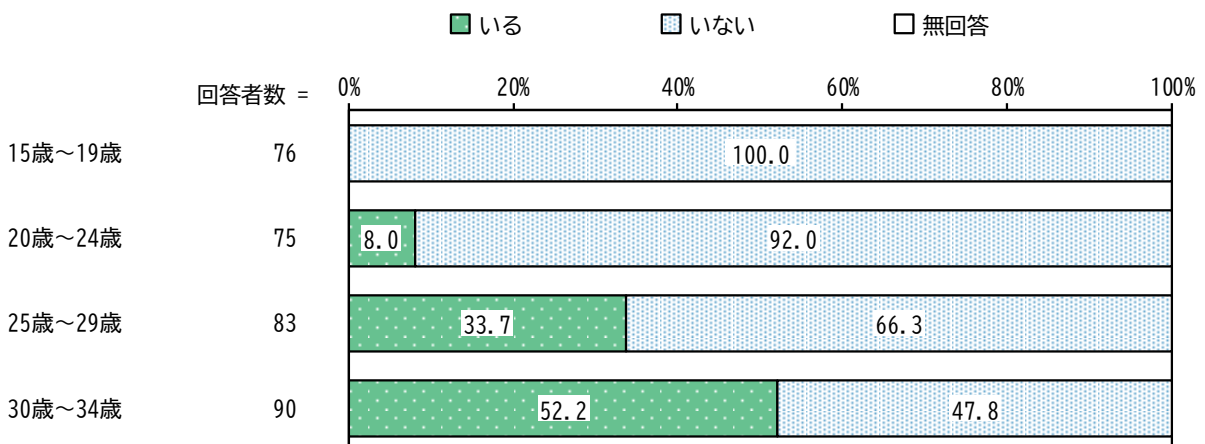
【性別】

性別にみると、女性で「いる」の割合が高くなっています。



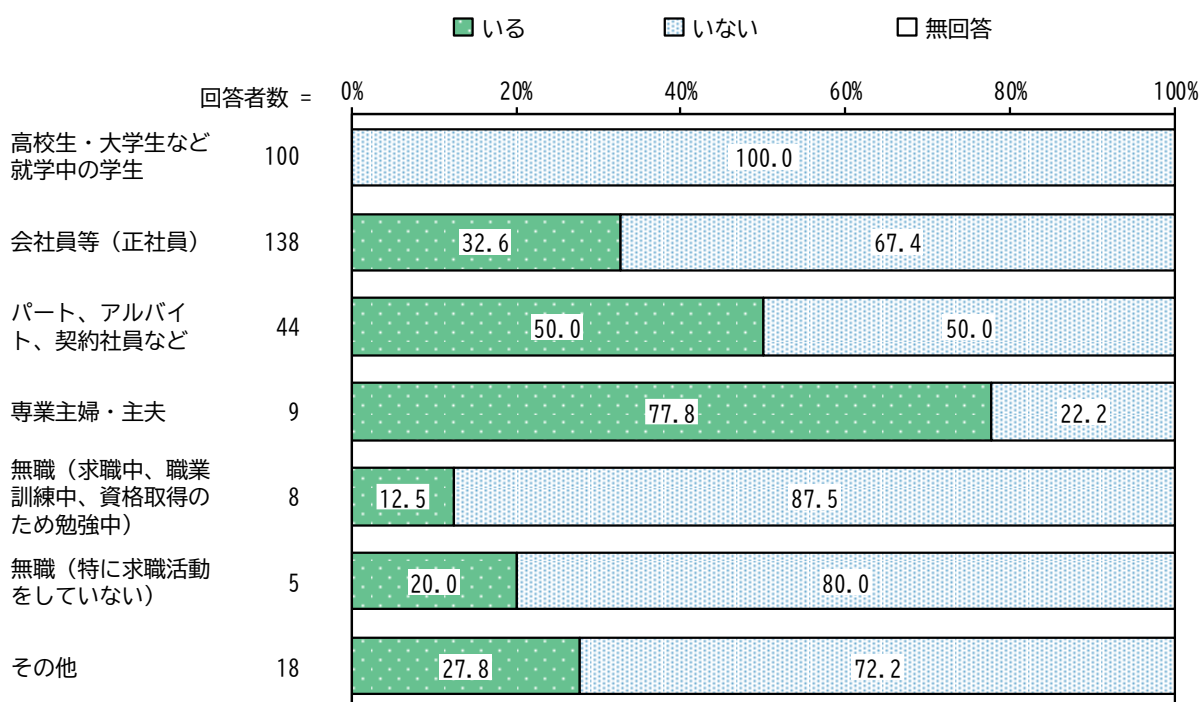
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「いる」の割合が高くなっています。



【職業別】

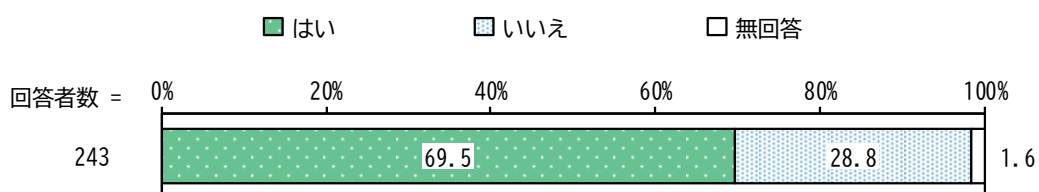
職業別にみると、パート、アルバイト、契約社員などで「いる」の割合が高くなっています。



問 14 で「いない」と答えた方にお聞きします。

問 14-1 あなたは、いつかは子どもを持ちたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

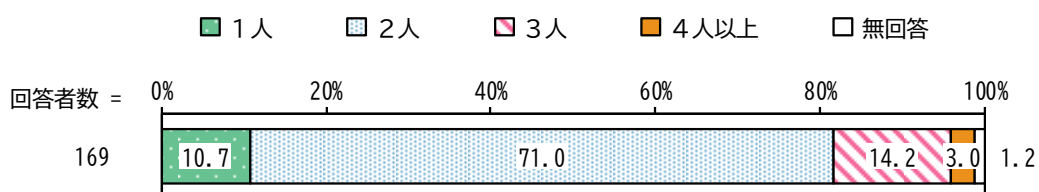
「はい」の割合が 69.5%、「いいえ」の割合が 28.8%となっています。



問 14-1 で「はい」と答えた方にお聞きします。

問 14-2 将来的に、何人子どもを持ちたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

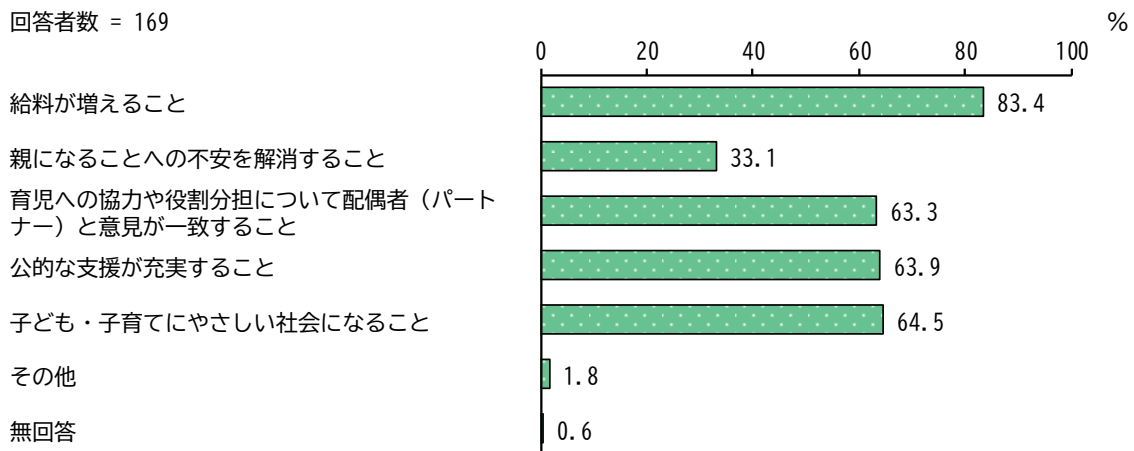
「2人」の割合が 71.0%と最も高く、次いで「3人」の割合が 14.2%、「1人」の割合が 10.7%となっています。



問 14-3 子どもを持つために、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「給料が増えること」の割合が 83.4%と最も高く、次いで「子ども・子育てにやさしい社会になること」の割合が 64.5%、「公的な支援が充実すること」の割合が 63.9%となっています。

回答者数 = 169



【配偶者（パートナー）の有無別】

配偶者（パートナー）の有無別にみると、『配偶者（パートナー）がいる』で「給料が増えること」「子ども・子育てにやさしい社会になること」の割合が高く、『配偶者（パートナー）がいない』で「親になることへの不安を解消すること」の割合が高くなっています。

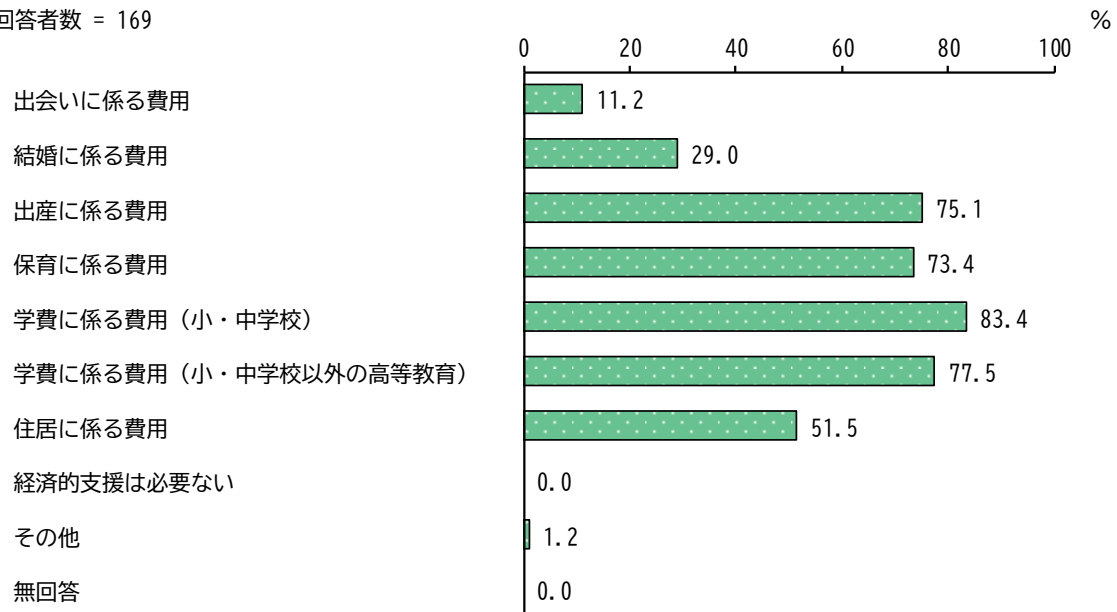
単位：%

区分	回答者数（件）	給料が増えること	親になることへの不安を解消すること	育児への協力や役割分担について配偶者（パートナー）と意見が一致すること	公的な支援が充実すること	子ども・子育てにやさしい社会になること	その他	無回答
全体	169	83.4	33.1	63.3	63.9	64.5	1.8	0.6
配偶者（パートナー）がいる	24	95.8	20.8	62.5	66.7	70.8	0.0	0.0
配偶者（パートナー）がいない	145	81.4	35.2	63.4	63.4	63.4	2.1	0.7

問 14-4 子どもを持つために、必要な経済的支援は何だと思えますか。
 (あてはまるものすべてに○)

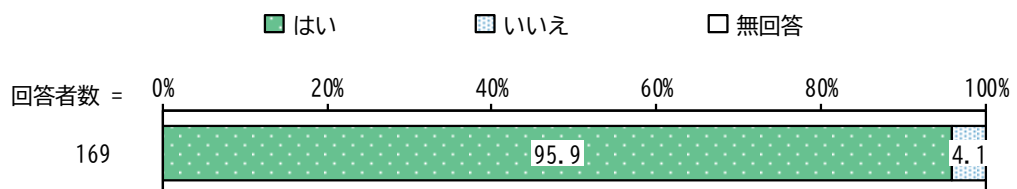
「学費に係る費用 (小・中学校)」の割合が 83.4%と最も高く、次いで「学費に係る費用 (小・中学校以外の高等教育)」の割合が 77.5%、「出産に係る費用」の割合が 75.1%となっています。

回答者数 = 169



問 14-5 あなたは、子どもが生まれた後、働く (働き続ける) 考えがありますか。
 (あてはまるもの1つに○)

「はい」の割合が 95.9%、「いいえ」の割合が 4.1%となっています。

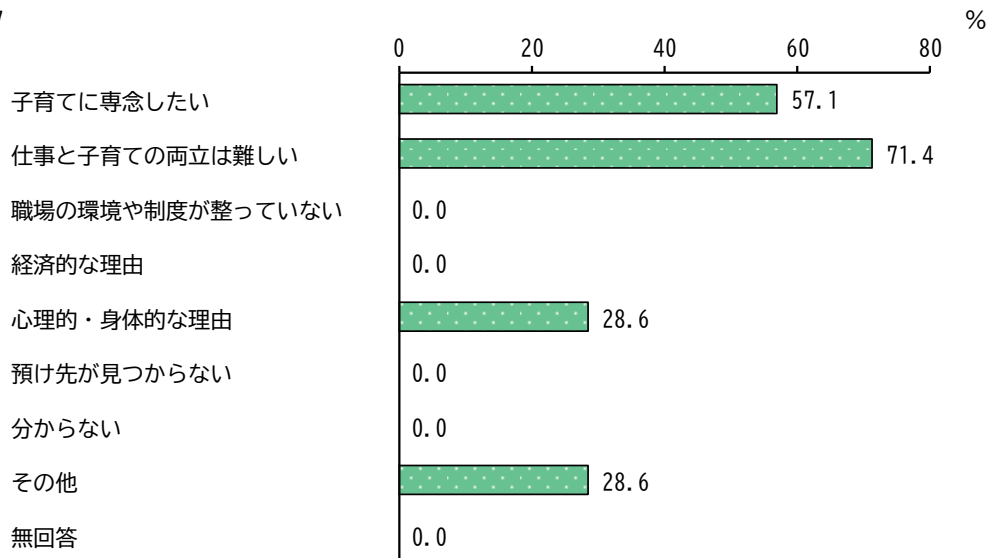


問 14-5 で「いいえ」と答えた方にお聞きします。

問 14-6 その理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

「仕事と子育ての両立は難しい」が5件、「子育てに専念したい」が4件、「心理的・身体的な理由」が2件となっています。

回答者数 = 7

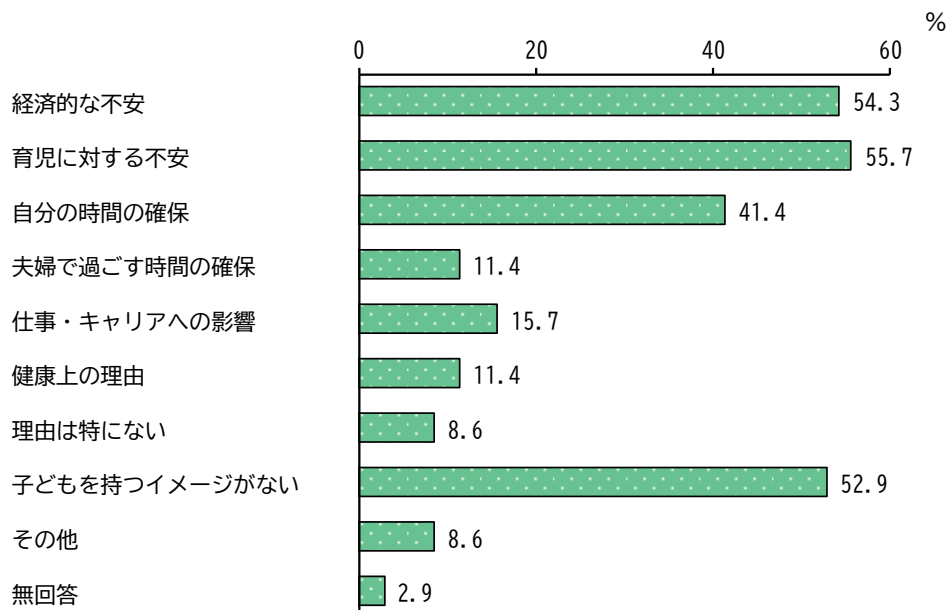


問 14-1 で「いいえ」と答えた方にお聞きします。

問 14-7 あなたが子どもを持ちたいと思わない理由を選んでください。（あてはまるものすべてに○）

「育児に対する不安」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「経済的な不安」の割合が 54.3%、「子どもを持つイメージがない」の割合が 52.9%となっています。

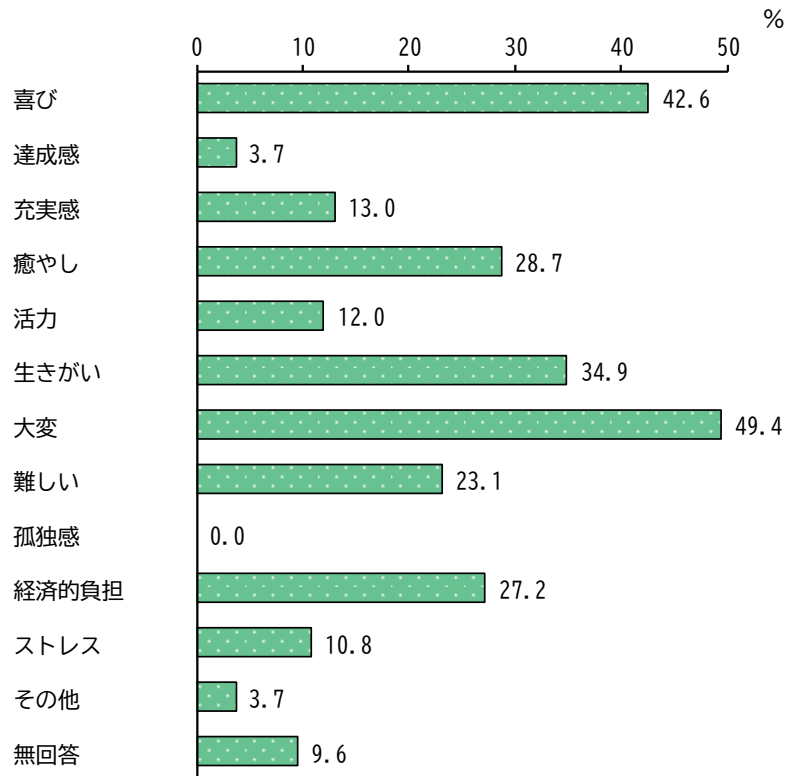
回答者数 = 70



問 15 子育てに対するイメージとしてどのような言葉を思い浮かべますか。(〇は3つまで)

「大変」の割合が 49.4%と最も高く、次いで「喜び」の割合が 42.6%、「生きがい」の割合が 34.9%となっています。

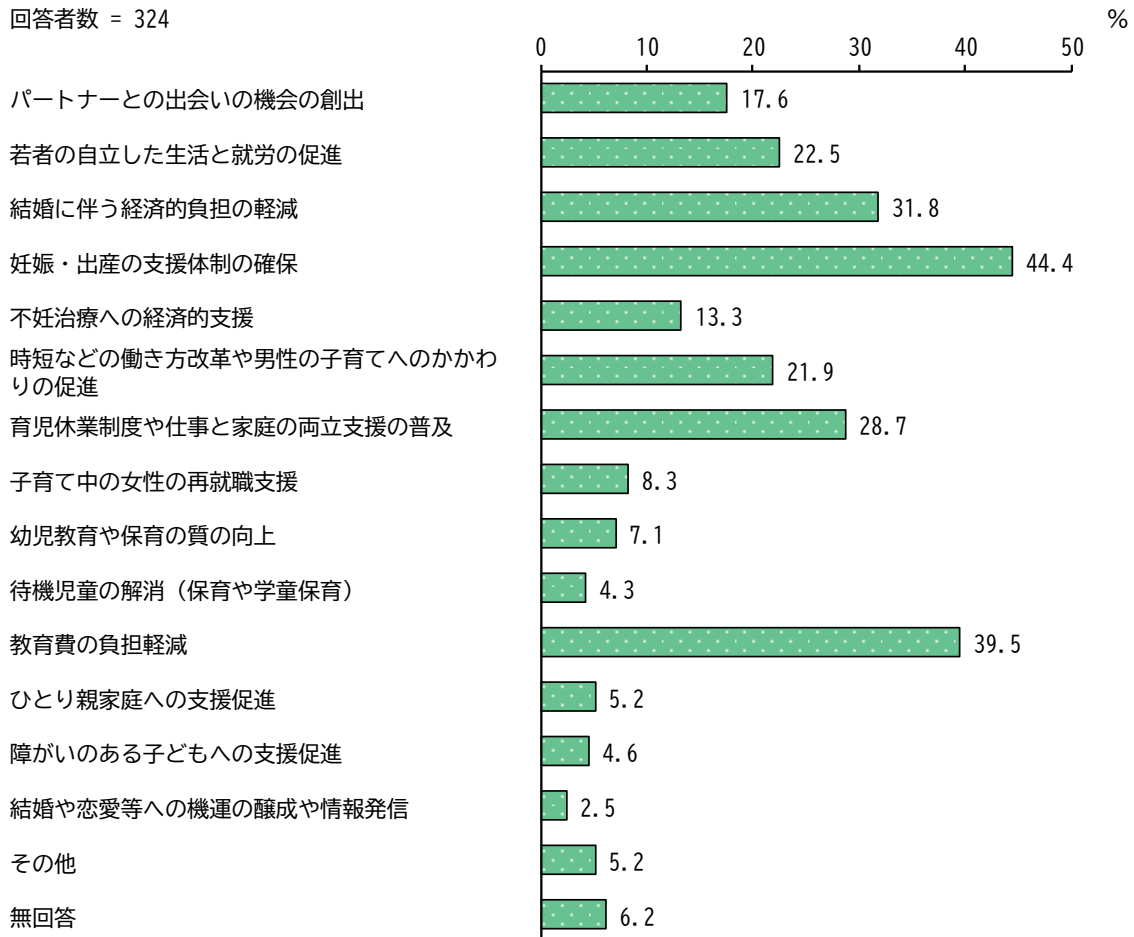
回答者数 = 324



問 16 近年、急速な少子化と人口減少が進行し、社会経済に大きな影響を及ぼしています。あなたは、少子化への対策としてどのような取組が有効だと思いますか。効果的だと思うものを3つ選んでください。(〇は3つ)

「妊娠・出産の支援体制の確保」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「教育費の負担軽減」の割合が 39.5%、「結婚に伴う経済的負担の軽減」の割合が 31.8%となっています。

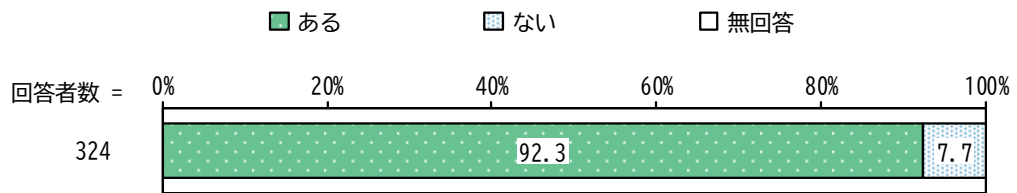
回答者数 = 324



(6) あなた自身の普段の生活や悩みなどについて

問 17 あなたは日常生活で幸せだと感じることがありますか。(あてはまるもの1つに○)

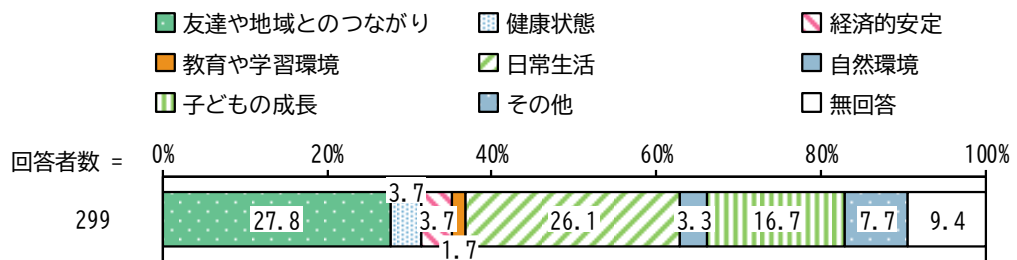
「ある」の割合が92.3%、「ない」の割合が7.7%となっています。



問 17で「ある」と答えた方にお聞きします。

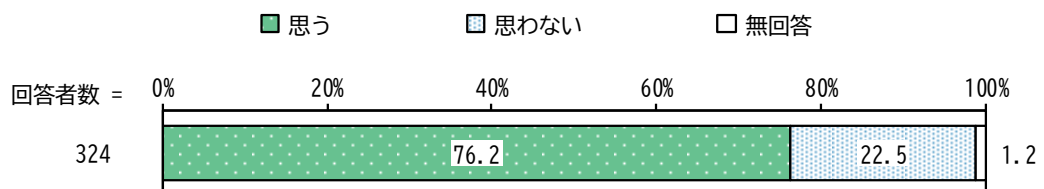
問 17-1 あなたはどのような事に最も幸せを感じますか。(あてはまるもの1つに○)

「友達や地域とのつながり」の割合が27.8%と最も高く、次いで「日常生活」の割合が26.1%、「子どもの成長」の割合が16.7%となっています。



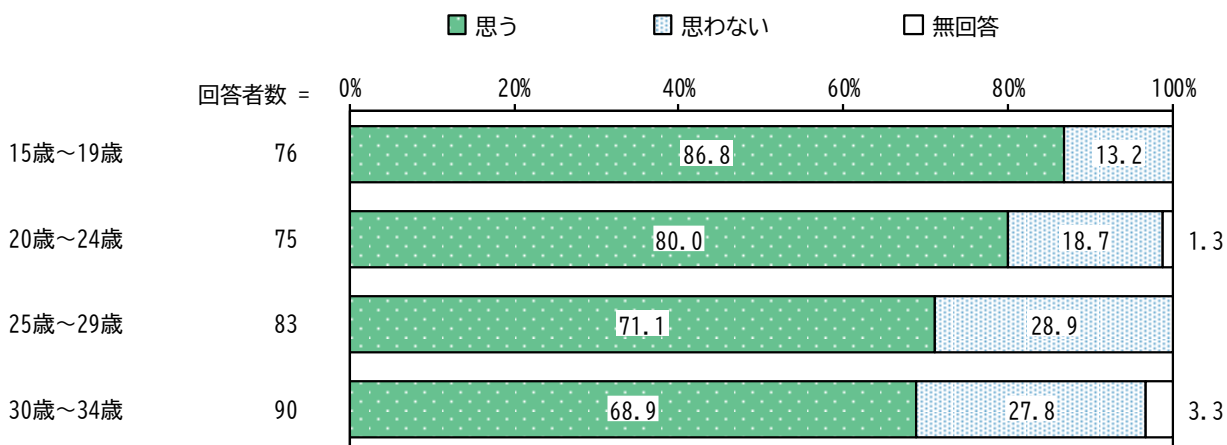
問 18 今の自分が好き又は自分らしくいることができていると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「思う」の割合が76.2%、「思わない」の割合が22.5%となっています。



【年齢別】

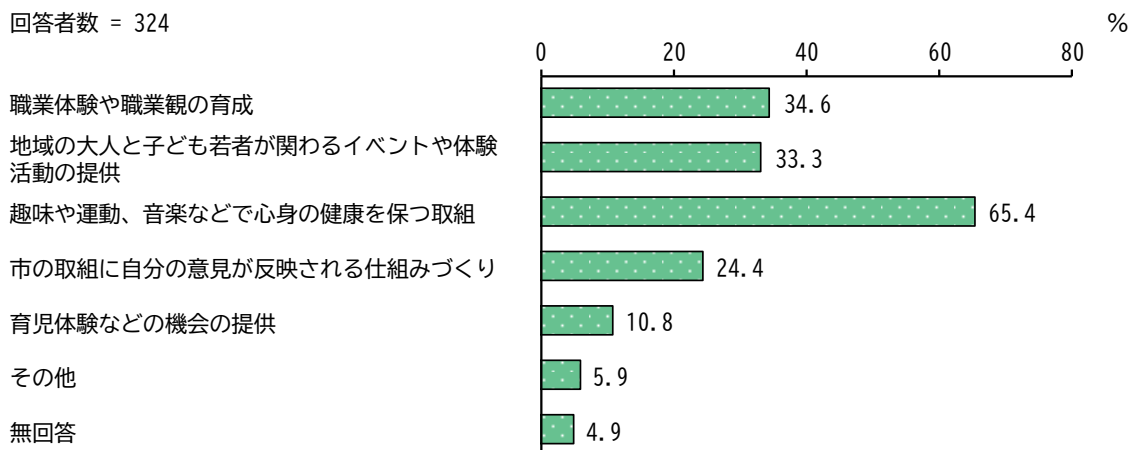
年齢別にみると、年齢が下がるほど「思う」の割合が高くなっています。



問 19 子どもや若者の自己肯定感を高めるために、どのような取組が役立つと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「趣味や運動、音楽などで心身の健康を保つ取組」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「職業体験や職業観の育成」の割合が 34.6%、「地域の大人と子ども若者が関わるイベントや体験活動の提供」の割合が 33.3%となっています。

回答者数 = 324



【年齢別】

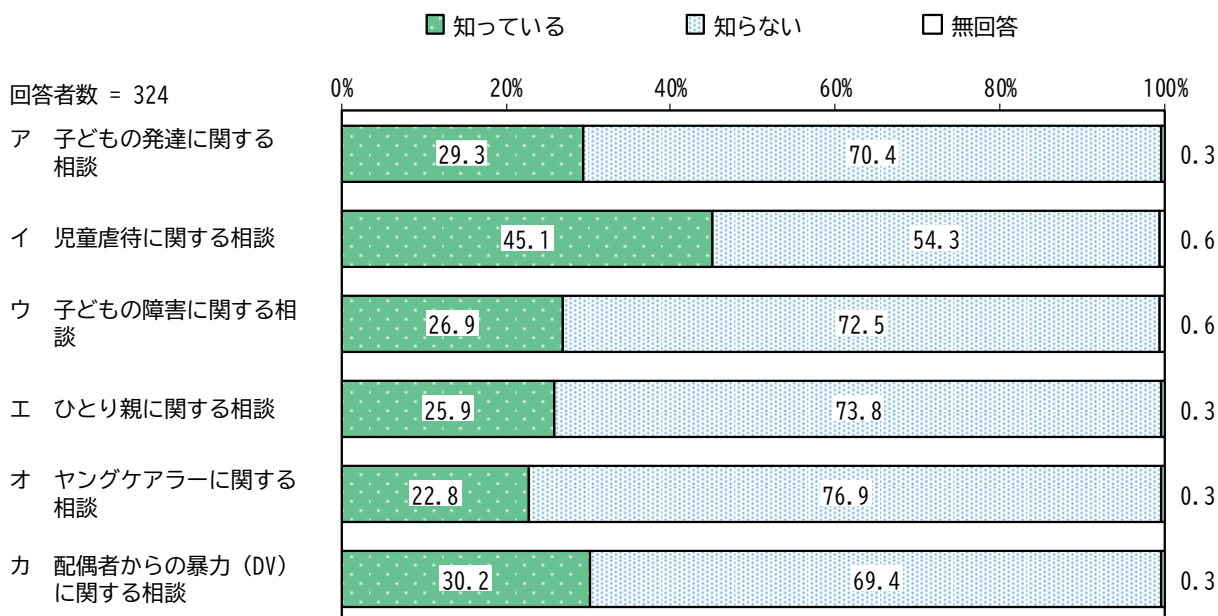
年齢別にみると、年齢が上がるほど「育児体験などの機会の提供」の割合が高く、「趣味や運動、音楽などで心身の健康を保つ取組」の割合が低い傾向にあり、20歳～24歳から30歳～34歳まで年齢が上がるほど「地域の大人と子ども若者が関わるイベントや体験活動の提供」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	職業体験や職業観の育成	地域の大人と子ども若者が関わるイベントや体験活動の提供	趣味や運動、音楽などで心身の健康を保つ取組	市の取組に自分の意見が反映される仕組みづくり	育児体験などの機会の提供	その他	無回答
全体	324	34.6	33.3	65.4	24.4	10.8	5.9	4.9
15歳～19歳	76	30.3	28.9	76.3	19.7	6.6	2.6	1.3
20歳～24歳	75	40.0	28.0	65.3	25.3	6.7	6.7	6.7
25歳～29歳	83	26.5	31.3	67.5	26.5	13.3	6.0	6.0
30歳～34歳	90	41.1	43.3	54.4	25.6	15.6	7.8	5.6

問 20 あなたは、次の相談窓口を知っていますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

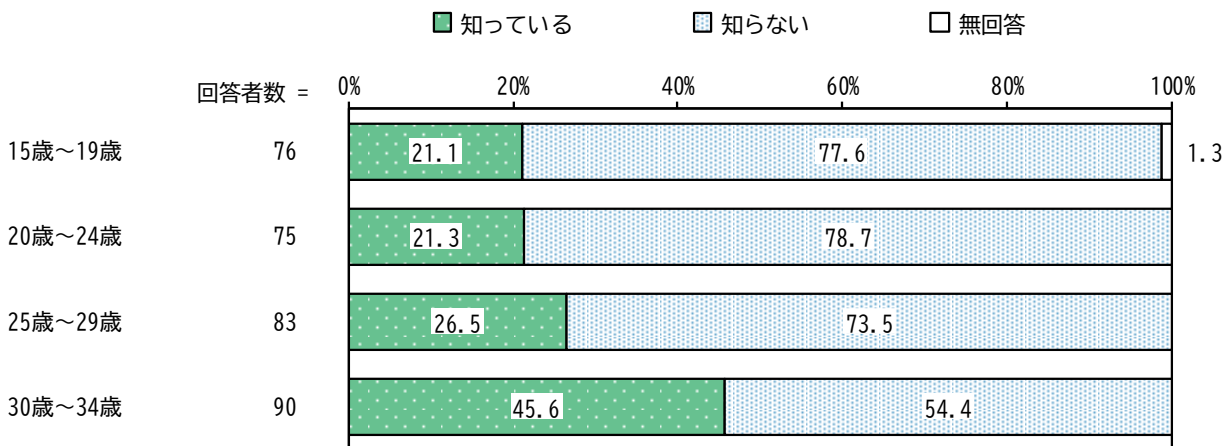
『イ 児童虐待に関する相談』で「知っている」が、『オ ヤングケアラーに関する相談』で「知らない」が高くなっています。



ア 子どもの発達に関する相談

【年齢別】

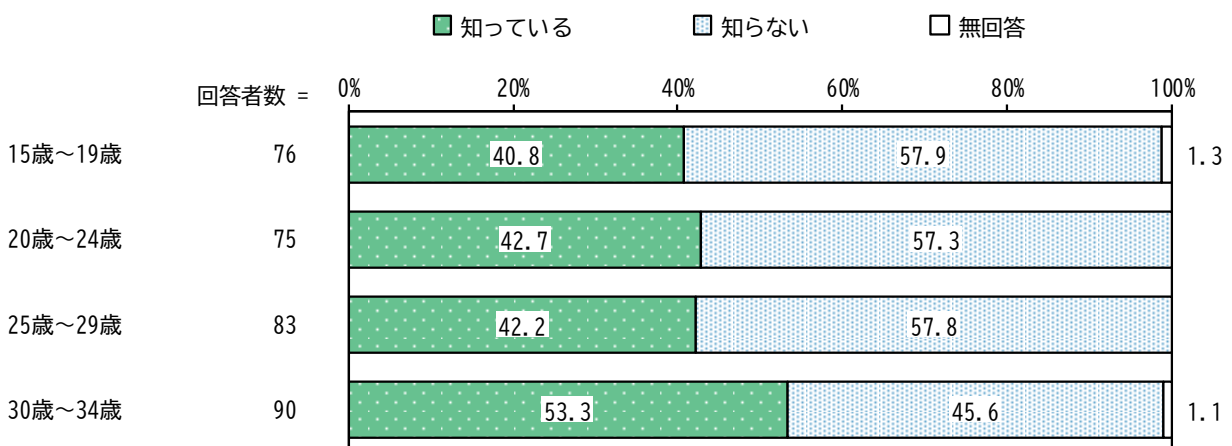
年齢別にみると、年齢が上がるほど「知っている」の割合が高くなっています。



イ 児童虐待に関する相談

【年齢別】

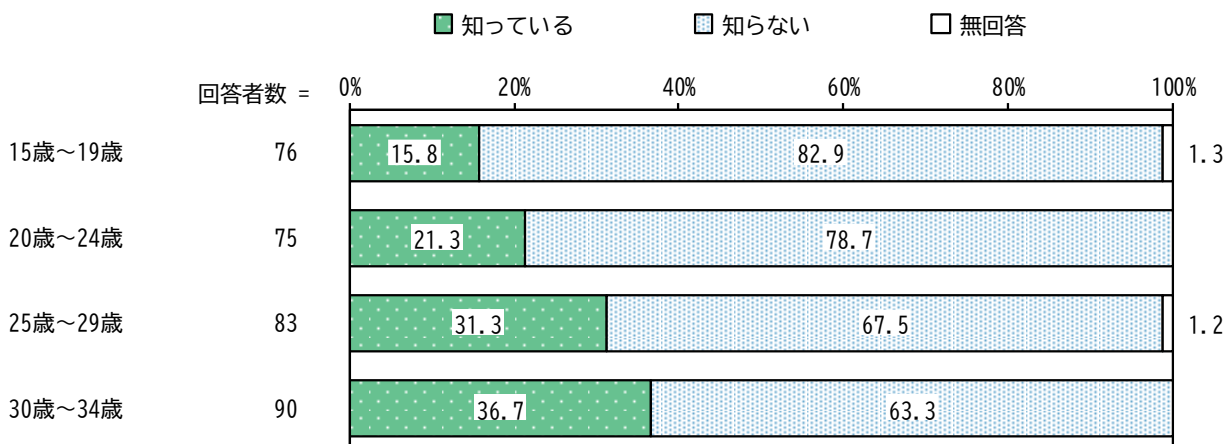
年齢別にみると、30歳～34歳で「知っている」の割合が高くなっています。



ウ 子どもの障害に関する相談

【年齢別】

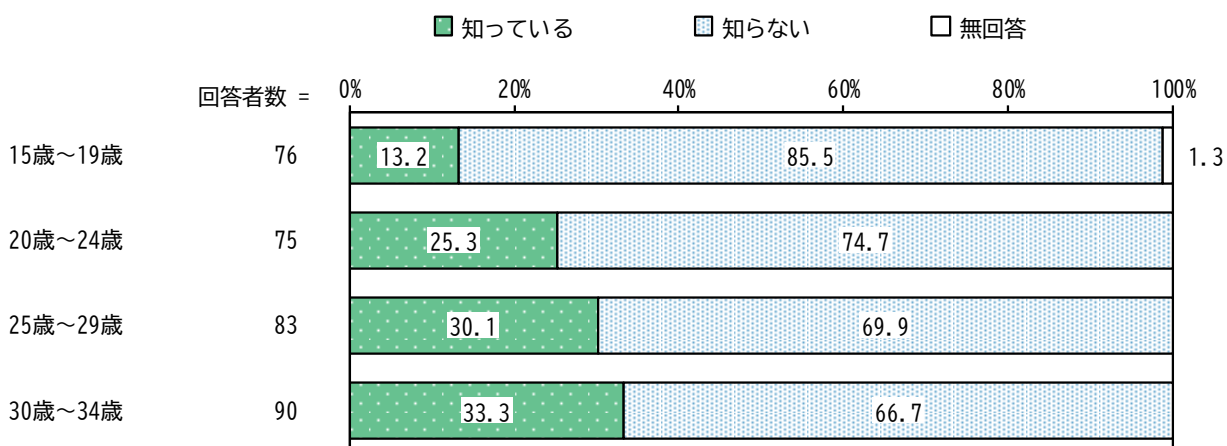
年齢別にみると、年齢が上がるほど「知っている」の割合が高くなっています。



エ ひとり親に関する相談

【年齢別】

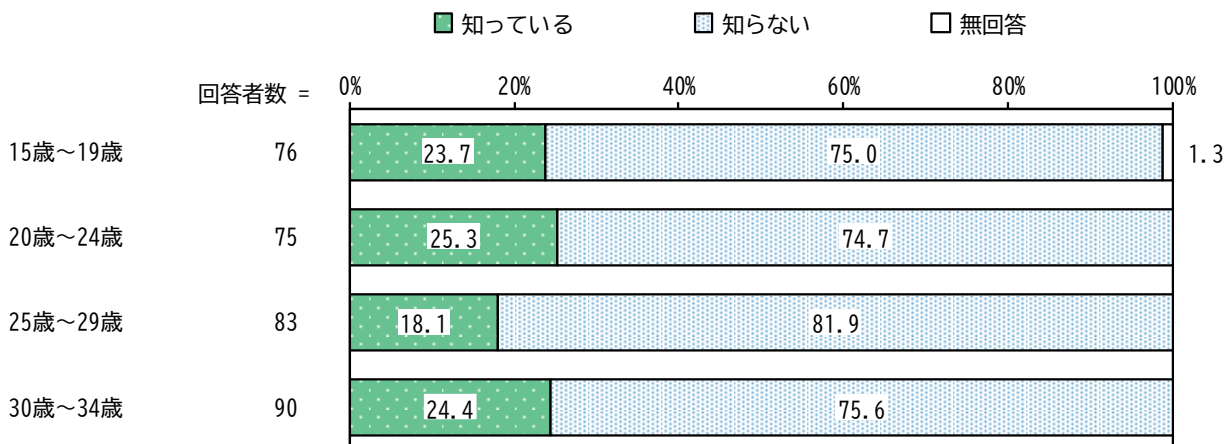
年齢別にみると、年齢が上がるほど「知っている」の割合が高くなっています。



オ ヤングケアラーに関する相談

【年齢別】

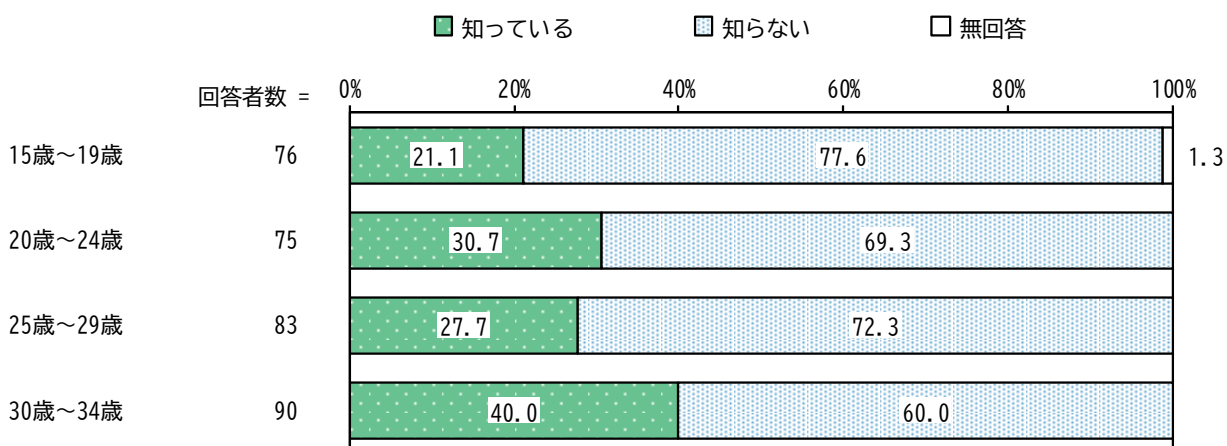
年齢別にみると、25歳～29歳で「知らない」の割合が高くなっています。



カ 配偶者からの暴力 (DV) に関する相談

【年齢別】

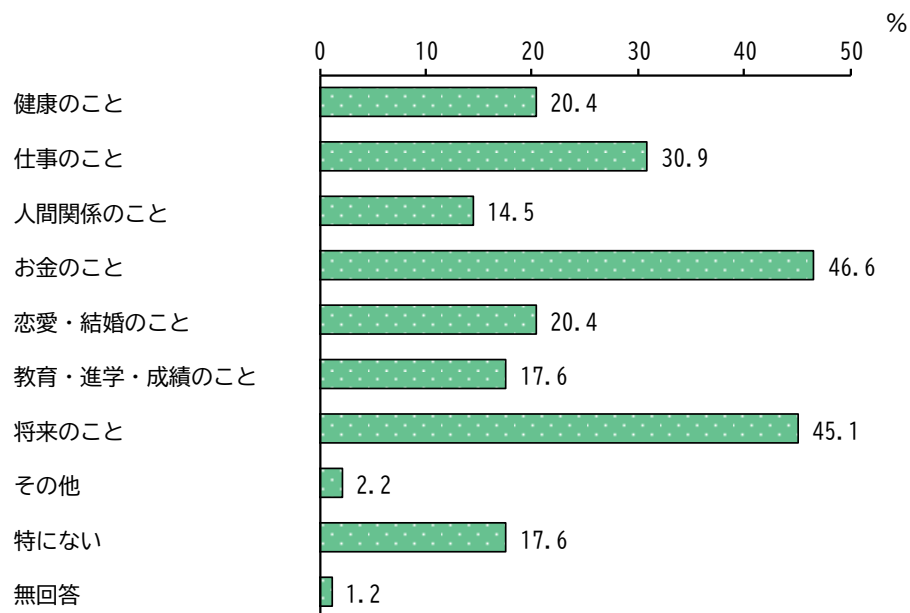
年齢別にみると、年齢が上がるほど「知っている」の割合が高い傾向にあります。



問21 あなたは、現在困っていることや悩んでいることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「お金のこと」の割合が46.6%と最も高く、次いで「将来のこと」の割合が45.1%、「仕事のこと」の割合が30.9%となっています。

回答者数 = 324



【性別】

性別にみると、男性で「健康のこと」「仕事のこと」「恋愛・結婚のこと」の割合が高く、女性で「教育・進学・成績のこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	健康のこと	仕事のこと	人間関係のこと	お金のこと	恋愛・結婚のこと	教育・進学・成績のこと	将来のこと	その他	特にない	無回答
全体	324	20.4	30.9	14.5	46.6	20.4	17.6	45.1	2.2	17.6	1.2
男性	131	25.2	36.6	13.7	45.0	26.0	14.5	42.0	2.3	14.5	1.5
女性	186	16.7	26.3	15.1	46.8	16.7	19.9	45.7	2.2	19.9	1.1

【年齢別】

年齢別にみると、20歳～24歳まで年齢が下がるほど「恋愛・結婚のこと」の割合が高く、15歳～19歳から25歳～29歳まで年齢が上がるほど「健康のこと」「仕事のこと」「お金のこと」の割合が高く、「教育・進学・成績のこと」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	健康のこと	仕事のこと	人間関係のこと	お金のこと	恋愛・結婚のこと	教育・進学・成績のこと	将来のこと	その他	特にない	無回答
全体	324	20.4	30.9	14.5	46.6	20.4	17.6	45.1	2.2	17.6	1.2
15歳～19歳	76	15.8	6.6	19.7	32.9	13.2	39.5	40.8	2.6	18.4	1.3
20歳～24歳	75	16.0	29.3	10.7	40.0	29.3	10.7	48.0	0.0	18.7	0.0
25歳～29歳	83	26.5	43.4	15.7	56.6	22.9	8.4	45.8	1.2	16.9	2.4
30歳～34歳	90	22.2	41.1	12.2	54.4	16.7	13.3	45.6	4.4	16.7	1.1

【職業別】

職業別にみると、パート、アルバイト、契約社員などで「仕事のこと」「お金のこと」、会社員等（正社員）で「恋愛・結婚のこと」、高校生・大学生など就学中の学生で「教育・進学・成績のこと」の割合が高くなっています。

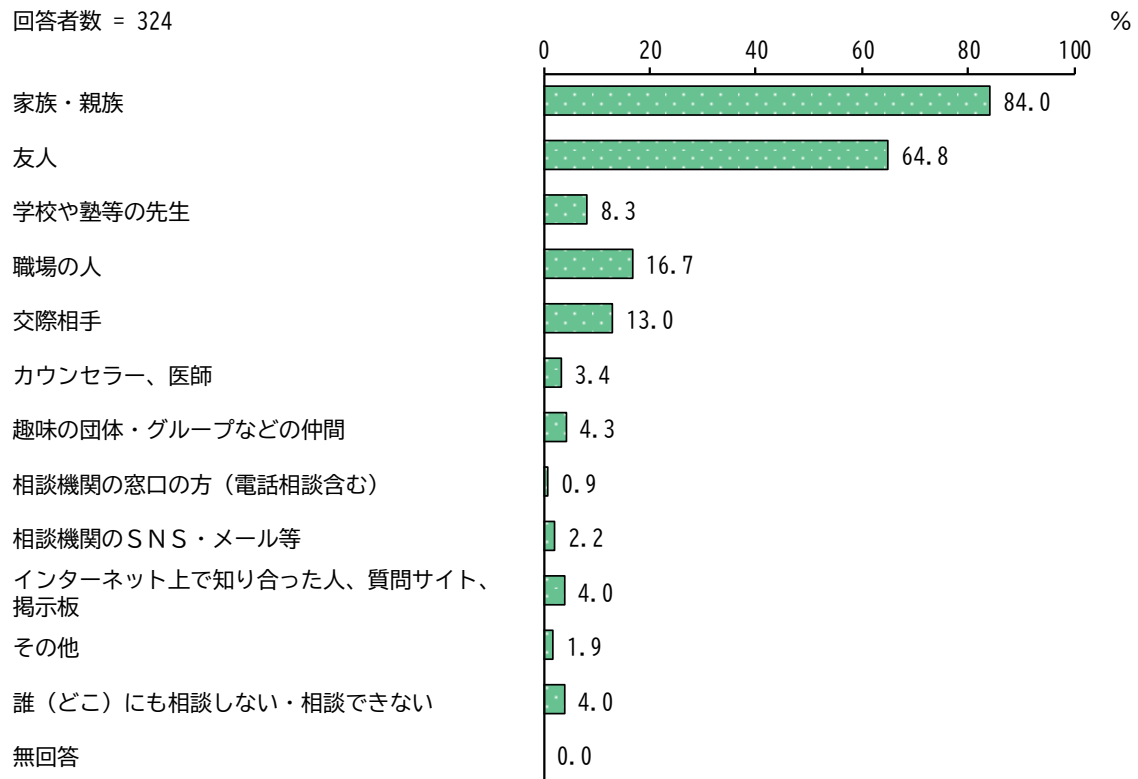
単位：％

区分	回答者数(件)	健康のこと	仕事のこと	人間関係のこと	お金のこと	恋愛・結婚のこと	教育・進学・成績のこと	将来のこと	その他	特にない	無回答
全体	324	20.4	30.9	14.5	46.6	20.4	17.6	45.1	2.2	17.6	1.2
高校生・大学生など就学中の学生	100	11.0	6.0	17.0	32.0	16.0	37.0	39.0	2.0	24.0	0.0
会社員等（正社員）	138	26.1	39.9	15.9	48.6	29.0	6.5	47.1	0.7	15.9	0.7
パート、アルバイト、契約社員など	44	25.0	47.7	11.4	65.9	9.1	18.2	52.3	4.5	15.9	0.0
専業主婦・主夫	9	22.2	22.2	0.0	33.3	0.0	11.1	55.6	0.0	33.3	0.0
無職（求職中、職業訓練中、資格取得のため勉強中）	8	25.0	75.0	25.0	87.5	0.0	12.5	75.0	0.0	0.0	0.0
無職（特に求職活動をしていない）	5	40.0	60.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
その他	18	11.1	38.9	5.6	61.1	33.3	5.6	38.9	11.1	5.6	5.6

問 22 あなたが何でも話せる相手や、悩んでいるときに相談に乗ってくれる場所や人がいますか。(あてはまるものすべてに○)

「家族・親族」の割合が 84.0%と最も高く、次いで「友人」の割合が 64.8%、「職場の人」の割合が 16.7%となっています。

回答者数 = 324

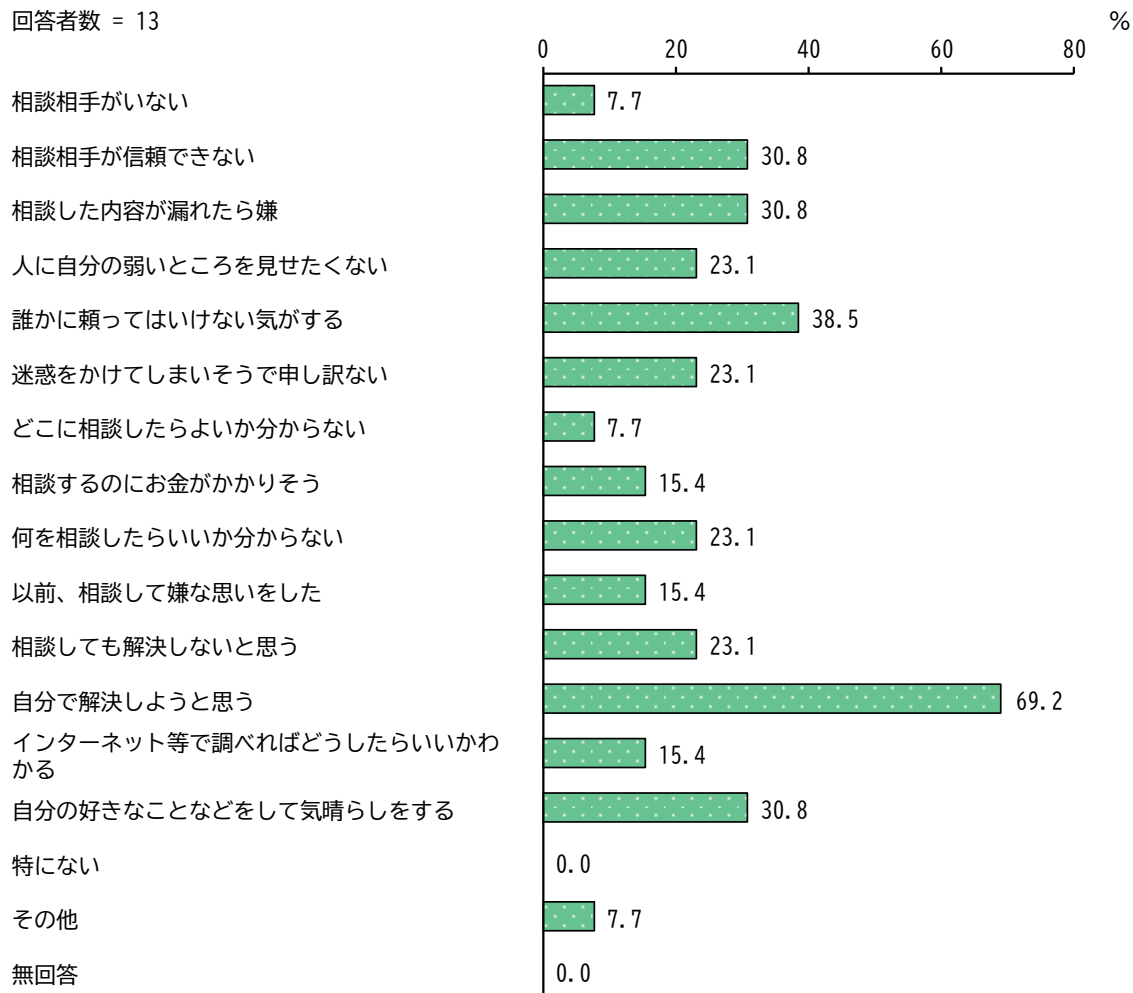


問 22 で「誰（どこ）にも相談しない・相談できない」と答えた方にお聞きします。

問 22-1 相談しない・相談できない理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「自分で解決しようと思う」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「誰かに頼ってはいけない気がする」の割合が 38.5%、「相談相手が信頼できない」、「相談した内容が漏れたら嫌」、「自分の好きなことなどをして気晴らしをする」の割合が 30.8%となっています。

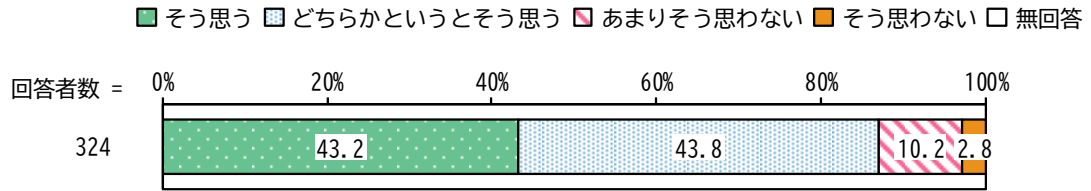
回答者数 = 13



(7) いすみ市について

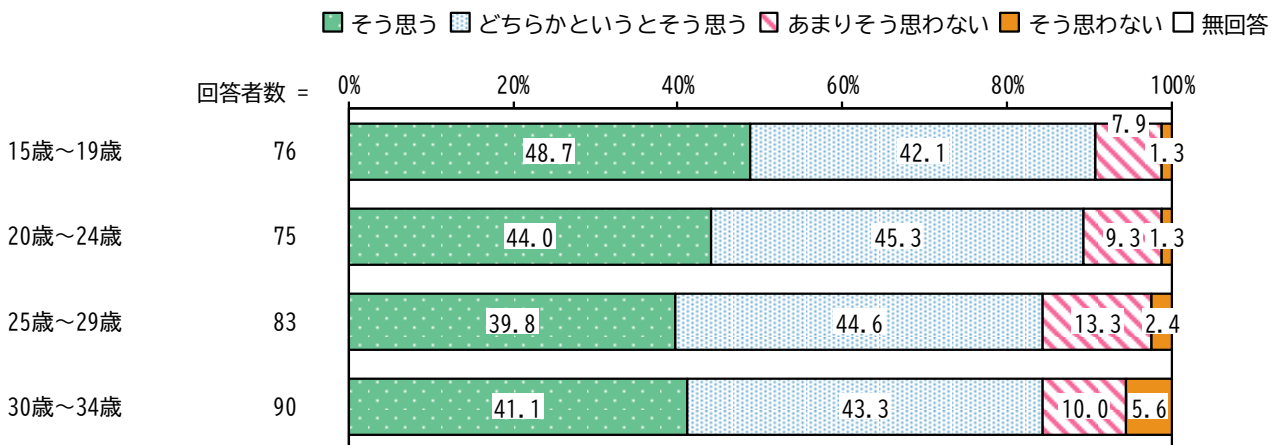
問 23 あなたは、いすみ市が好きですか。(あてはまるもの1つに○)

「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせた“そう思う”の割合が87.0%、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が13.0%となっています。



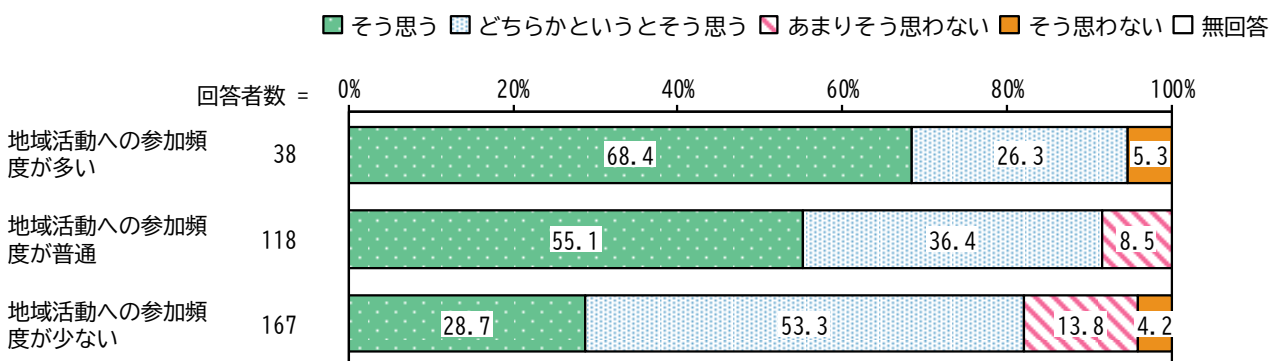
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど“そう思う”の割合が高い傾向にあります。



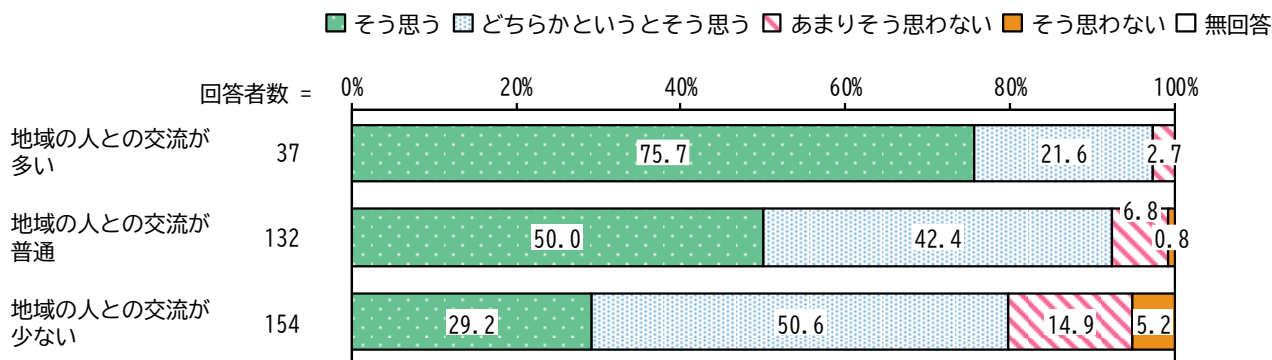
【地域活動への参加頻度別】

地域活動への参加頻度別にみると、『地域活動への参加頻度が多い』で“そう思う”、『地域活動への参加頻度が少ない』で“そう思わない”の割合が高くなっています。



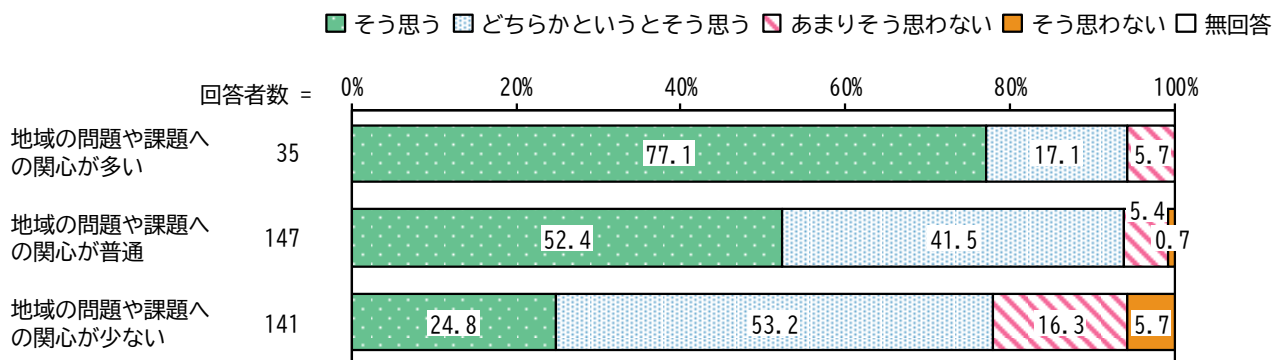
【地域の人との交流頻度別】

地域の人との交流頻度別にみると、『地域の人との交流が多い』で“そう思う”の割合が高くなっています。



【地域の問題や課題への関心度別】

地域の問題や課題への関心度別にみると、『地域の問題や課題への関心が多い』、『地域の問題や課題への関心が普通』で“そう思う”、『地域の問題や課題への関心が少ない』で“そう思わない”の割合が高くなっています。

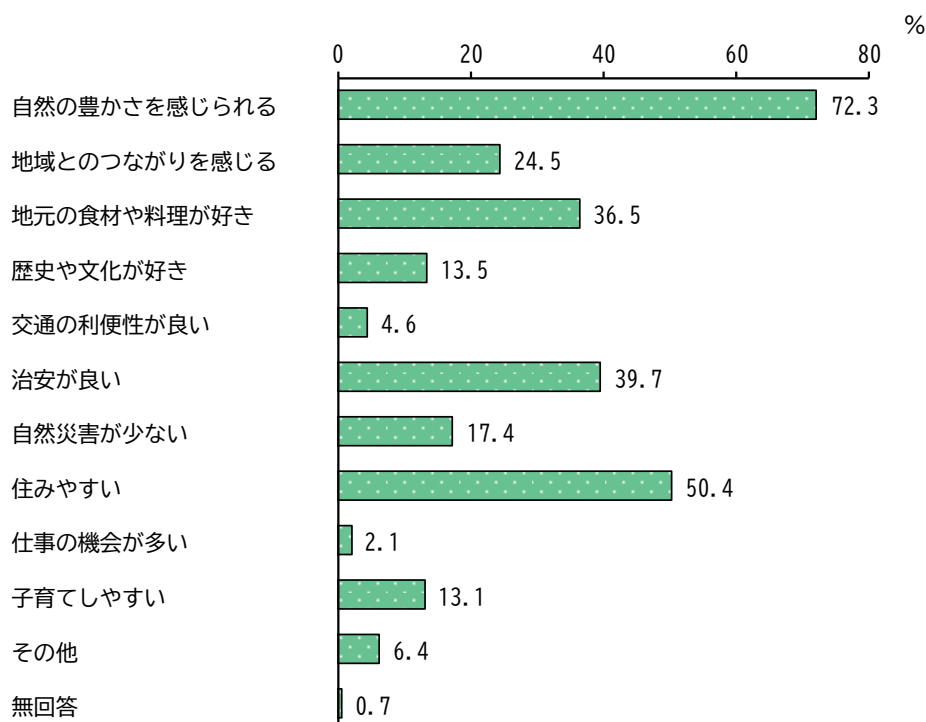


問 23 で「そう思う」「どちらかというと思う」と答えた方にお聞きします。

問 23-1 その理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

「自然の豊かさを感じられる」の割合が 72.3%と最も高く、次いで「住みやすい」の割合が 50.4%、「治安が良い」の割合が 39.7%となっています。

回答者数 = 282

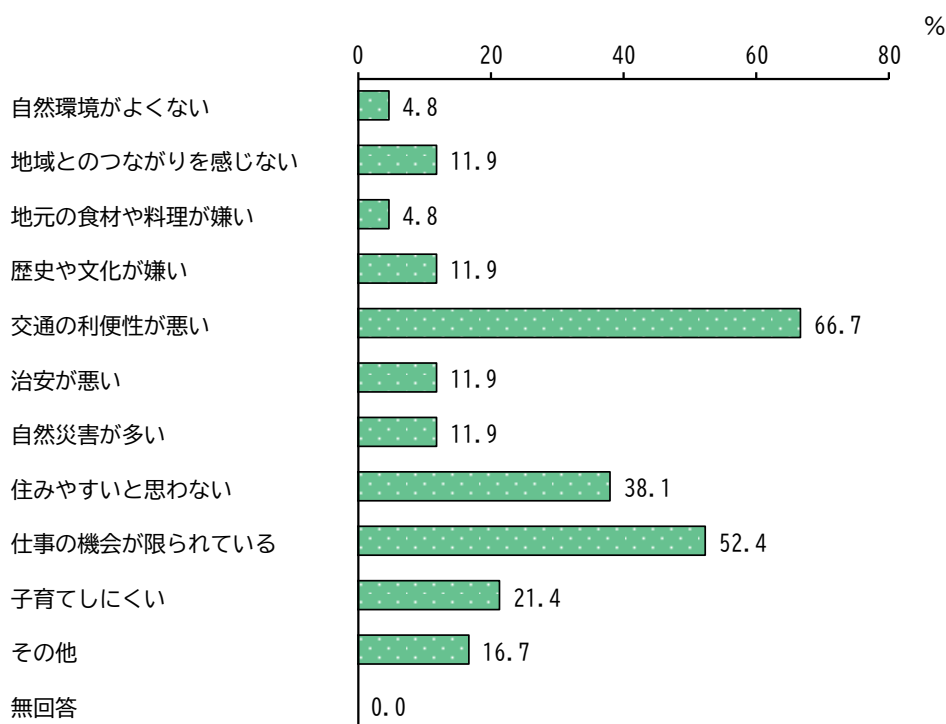


問 23 で「あまりそう思わない」「そう思わない」と答えた方にお聞きします。

問 23-2 その理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

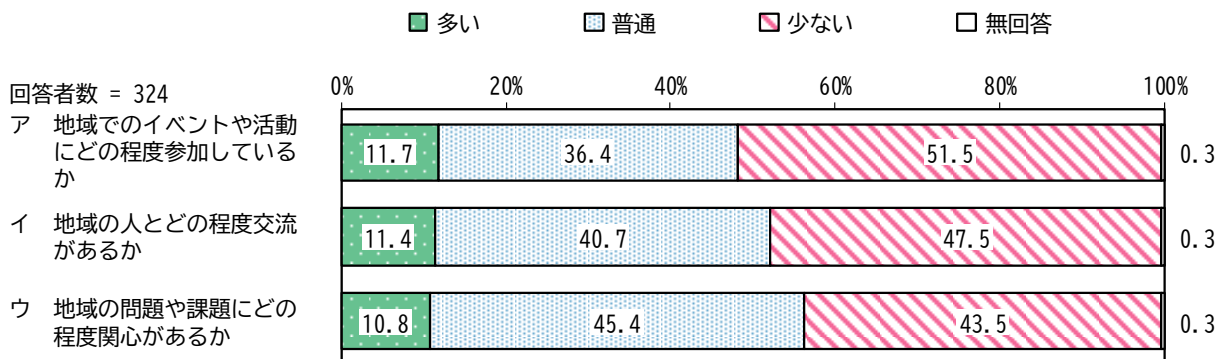
「交通の利便性が悪い」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「仕事の機会が限られている」の割合が 52.4%、「住みやすいと思わない」の割合が 38.1%となっています。

回答者数 = 42



問 24 これまでの地域との関わり方の状況について、お伺いします。
 (それぞれあてはまるもの1つに○)

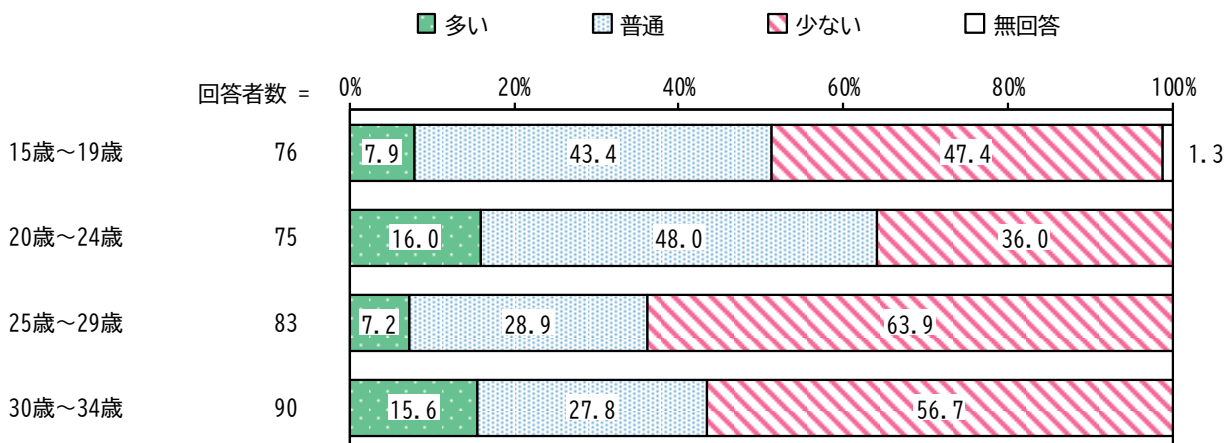
『ア 地域でのイベントや活動にどの程度参加しているか』で「少ない」が、『ウ 地域の問題や課題にどの程度関心があるか』で「普通」が高くなっています。



ア 地域でのイベントや活動にどの程度参加しているか

【年齢別】

年齢別にみると、15～19歳、20歳～24歳で「普通」、25歳～29歳で「少ない」の割合が高くなっています。



イ 地域の人とどの程度交流があるか

【年齢別】

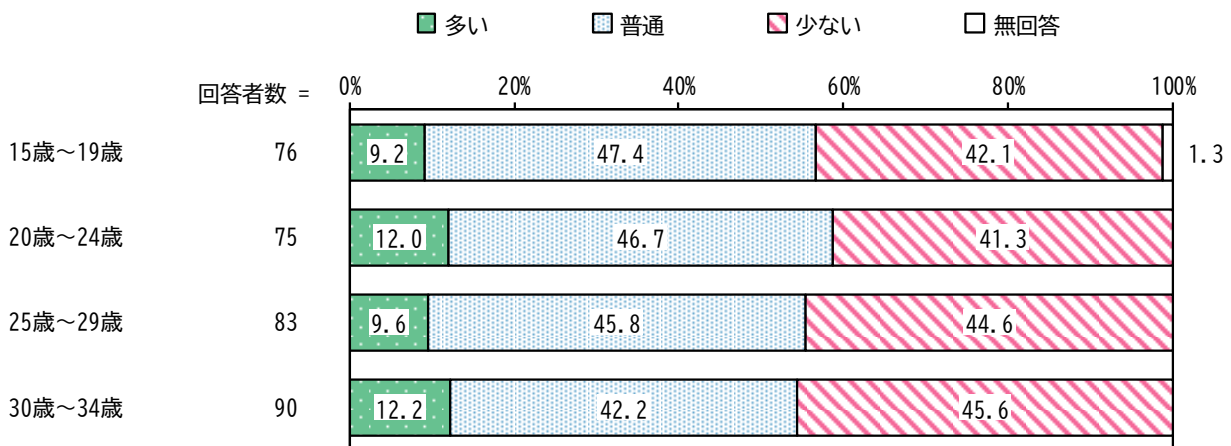
年齢別にみると、15歳～19歳、20歳～24歳で「普通」、25歳～29歳で「少ない」の割合が高くなっています。



ウ 地域の問題や課題にどの程度関心があるか

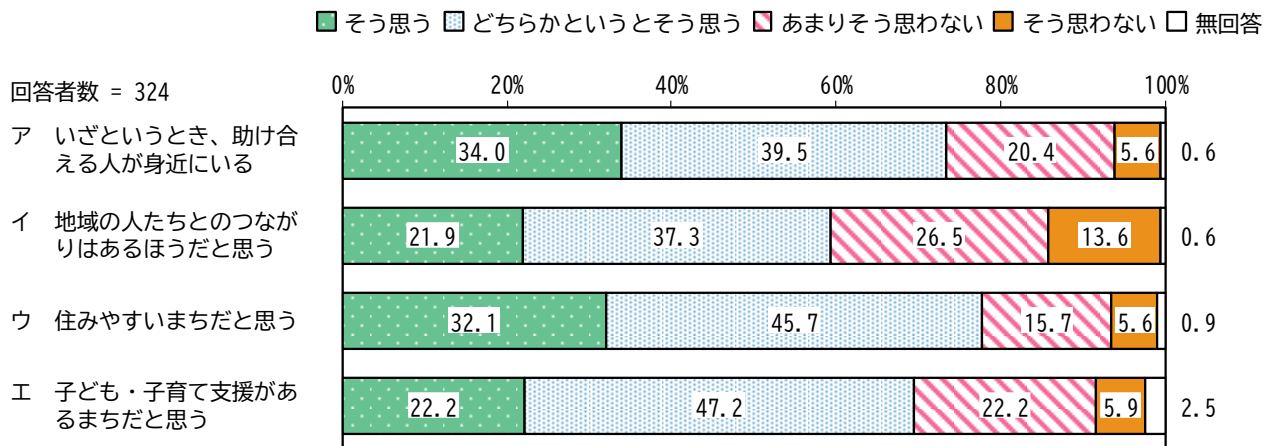
【年齢別】

年齢別にみると、20歳～24歳から30歳～34歳まで年齢が上がるほど「少ない」の割合が高く、「普通」の割合が低くなっています。



問 25 あなたは、お住まいの地域やまちについて、どのように感じていますか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

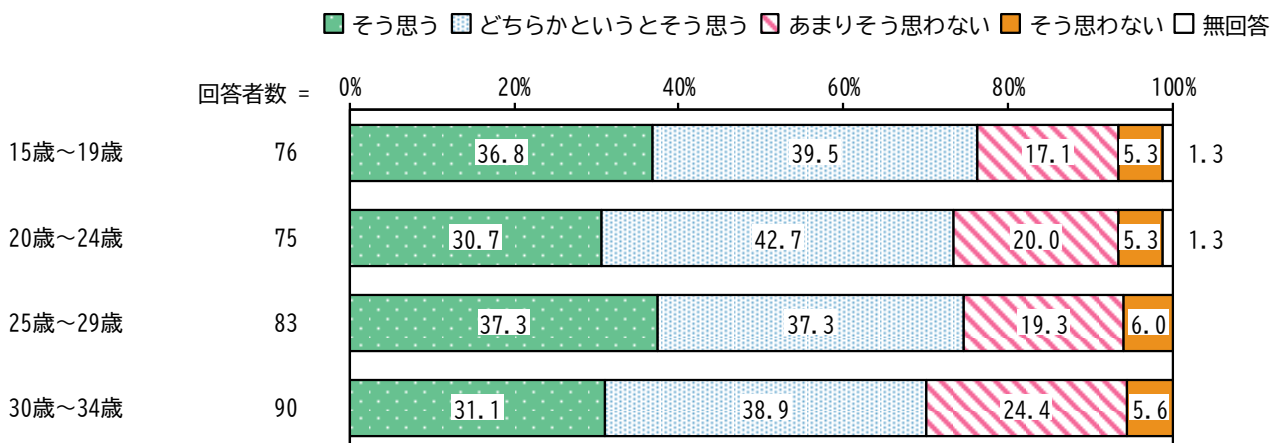
『ウ 住みやすいまちだと思う』で「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた“そう思う”が高くなっています。一方、『イ 地域の人たちとのつながりはあるほうだと思う』で「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”が高くなっています。



ア いざというとき、助け合える人が身近にいる

【年齢別】

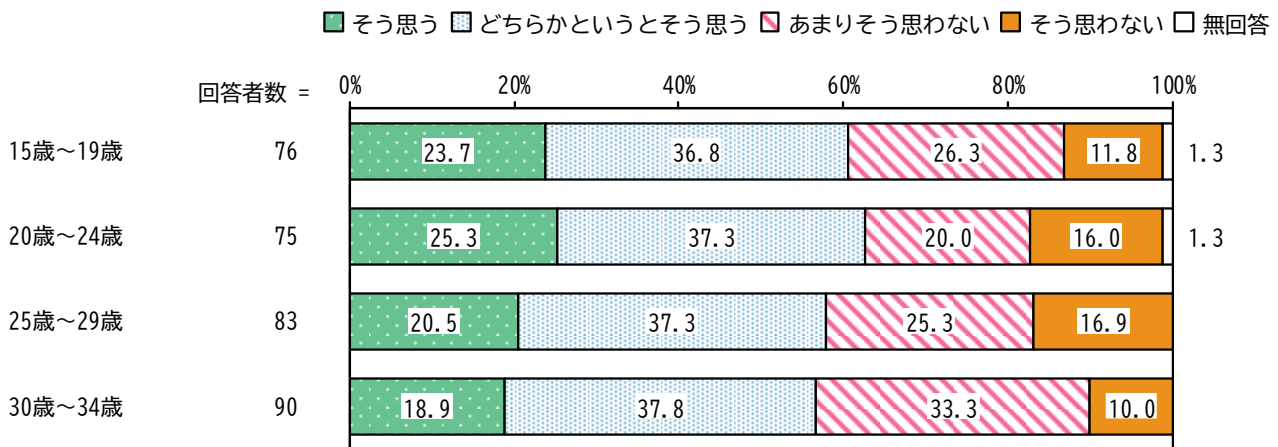
年齢別にみると、年齢が上がるほど“そう思わない”の割合が高い傾向にあります。



イ 地域の人たちとのつながりはあるほうだと思う

【年齢別】

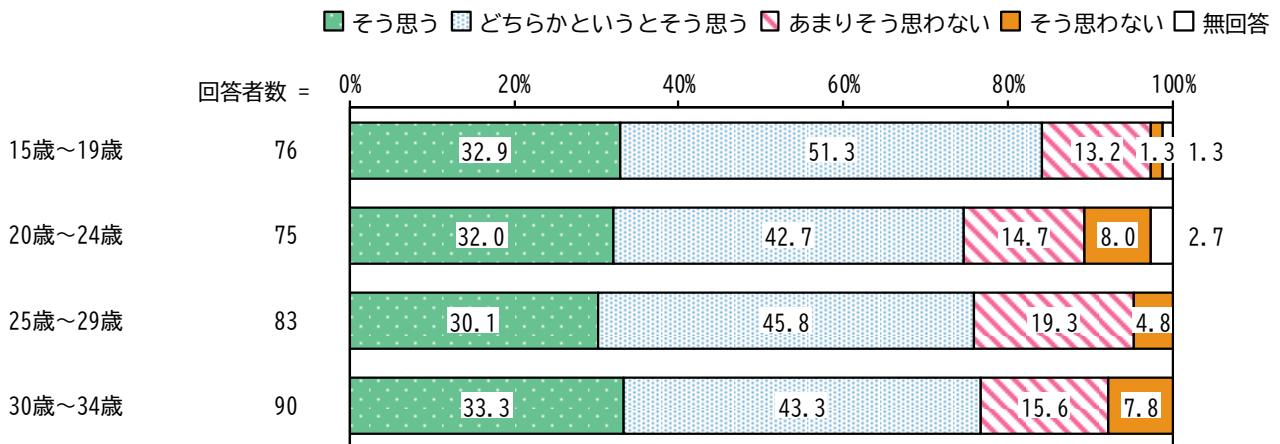
年齢別にみると、20歳～24歳から30歳～34歳まで年齢が上がるほど“そう思わない”の割合が高くなっています。



ウ 住みやすいまちだと思う

【年齢別】

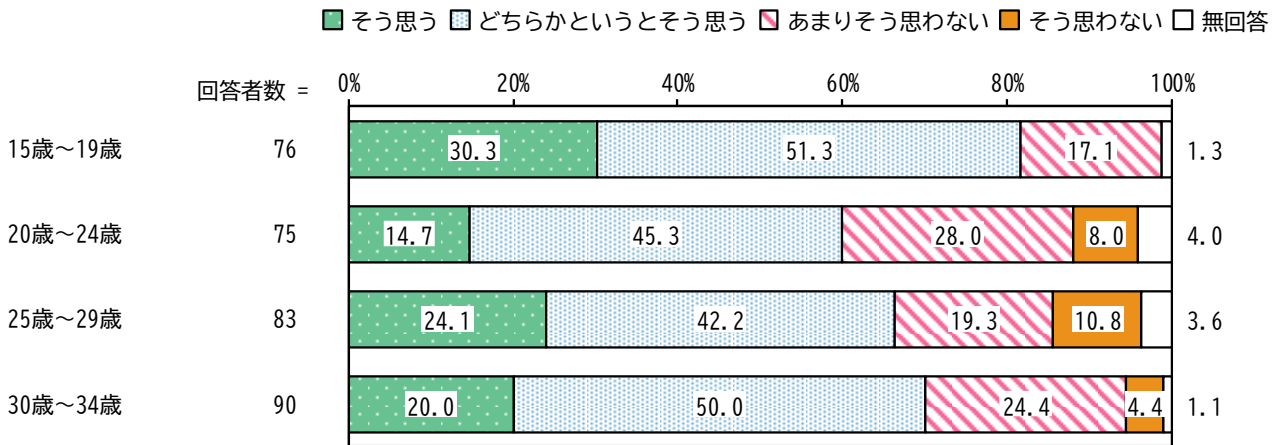
年齢別にみると、15歳～19歳で“そう思う”の割合が高くなっています。



エ 子ども・子育て支援があるまちだと思う

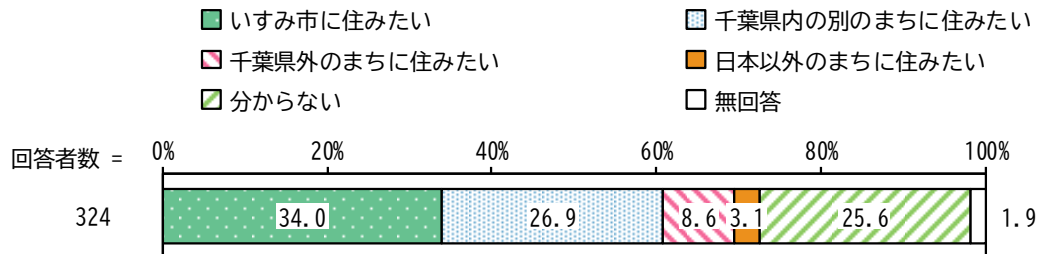
【年齢別】

年齢別にみると、20歳～24歳から30歳～34歳まで年齢が上がるほど“そう思う”の割合が高くなっています。



問 26 今後、住みたいまちはどこですか。(あてはまるもの1つに○)

「いすみ市に住みたい」の割合が34.0%と最も高く、次いで「千葉県内の別のまちに住みたい」の割合が26.9%となっています。

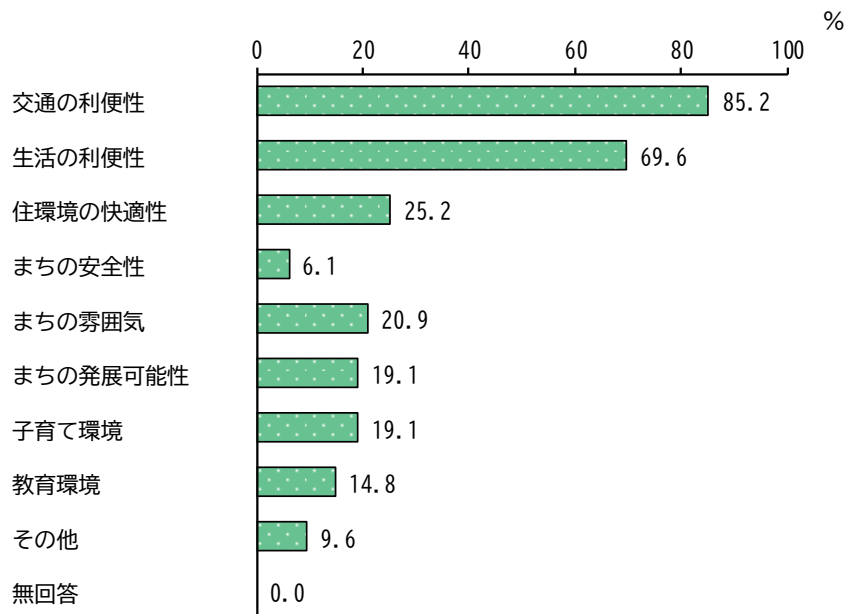


問 26 で「千葉県内の別のまちに住みたい」「千葉県外のまちに住みたい」と答えた方にお聞きします。

問 26-1 その理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

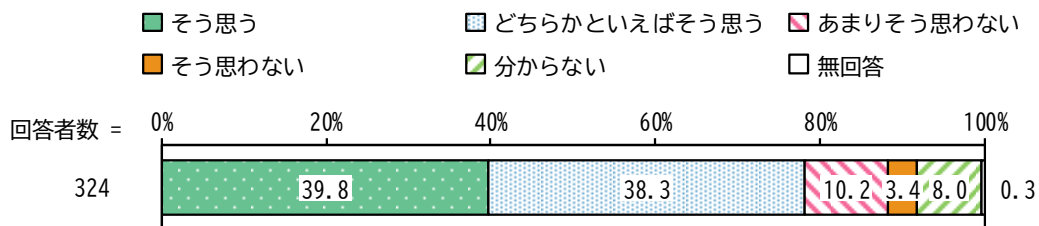
「交通の利便性」の割合が 85.2%と最も高く、次いで「生活の利便性」の割合が 69.6%、「住環境の快適性」の割合が 25.2%となっています。

回答者数 = 115



問 27 あなたは、自分の意見や考えを周りに聞いてもらえていると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

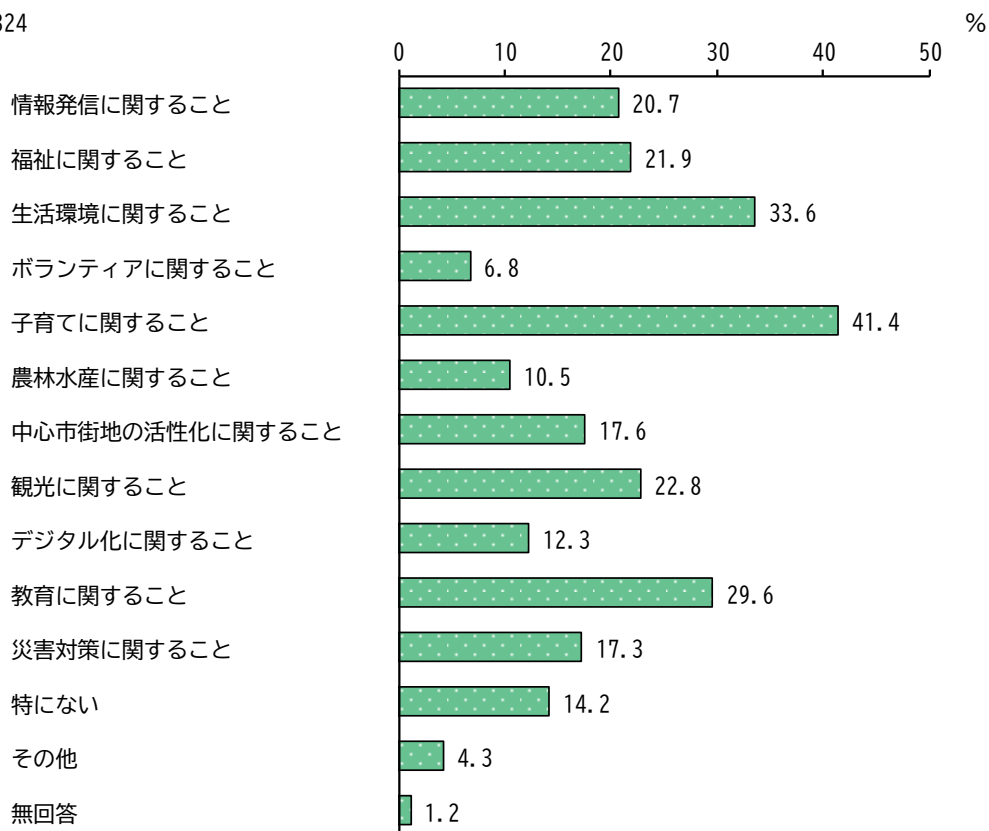
「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 78.1%、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 13.6%となっています。



問 28 いすみ市では、いすみのまちをよくするために、子どもや若者の意見を反映していきたいと考えています。あなたは、いすみ市のどのような施策に対して意見や考えを伝えたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「子育てに関すること」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「生活環境に関すること」の割合が 33.6%、「教育に関すること」の割合が 29.6%となっています。

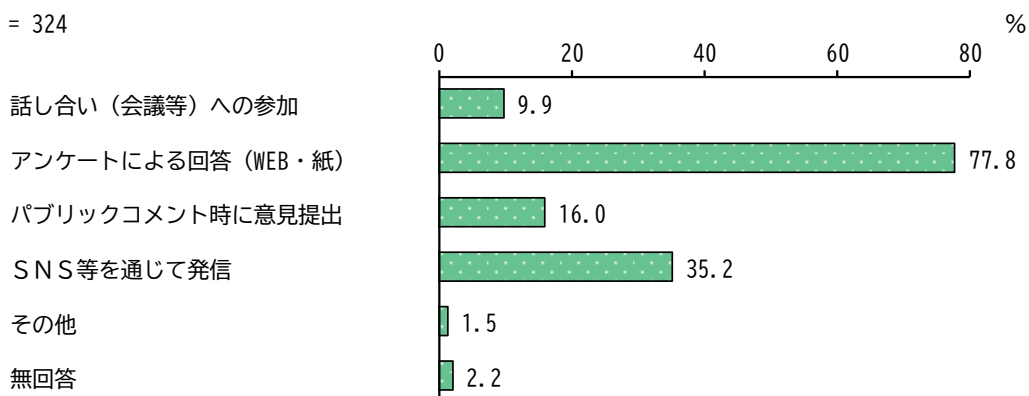
回答者数 = 324



問 29 市の施策に対して自分の意見を言うとしたら、どのような方法で伝えたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「アンケートによる回答 (WEB・紙)」の割合が 77.8%と最も高く、次いで「SNS等を通じて発信」の割合が 35.2%、「パブリックコメント時に意見提出」の割合が 16.0%となっています。

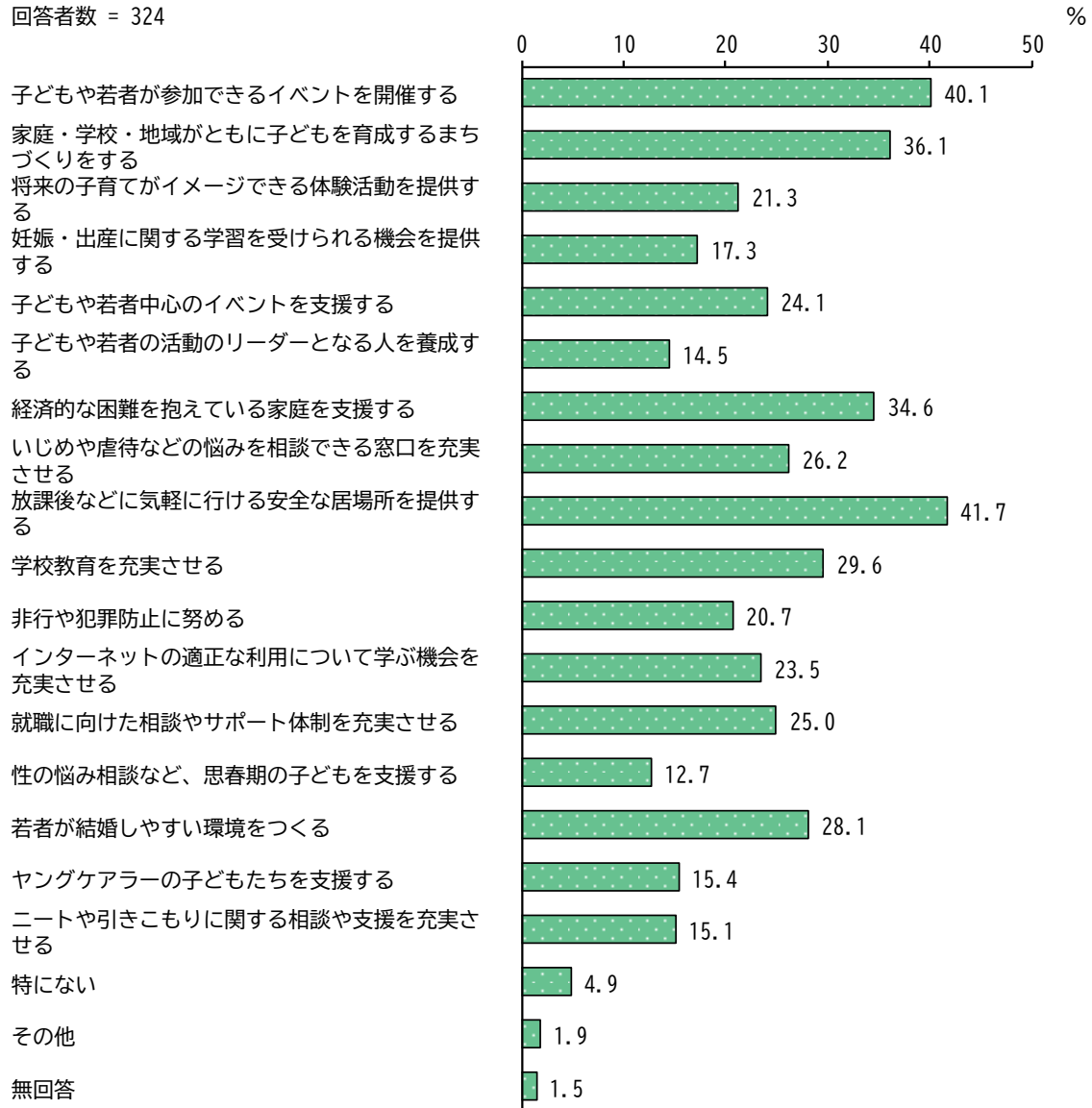
回答者数 = 324



問 30 あなたは、いすみ市が取り組む子どもや若者の政策にどんなことを望みますか。
(あてはまるものすべてに○)

「放課後などに気軽に行ける安全な居場所を提供する」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「子どもや若者が参加できるイベントを開催する」の割合が 40.1%、「家庭・学校・地域がともに子どもを育成するまちづくりをする」の割合が 36.1%となっています。

回答者数 = 324



問 31 最後に、子どもや若者に関することについて、普段感じていることやご意見・ご要望がありましたら、ご自由にご回答ください。

カテゴリ名	件数
<p>子育て・出産について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年では少子高齢化に伴い、小中学校での人口減少が感じられるため不妊治療の負担など、より子供を産みやすい環境づくりを進めていくことがとても重要だと思う。さらに子ども向けのイベントをさらに増やしていくべきだと感じる。 ・子どもが安心して遊べる公園などの充実。小児科など子どもがすぐに見てもらえる医療機関が少ないと思う。 ・不妊治療の支援をもっとしてほしいです。 	37
<p>若者、就労・定住支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者よりも高齢者の方が多いのがいすみ市なので、自分ら若者をもっといすみ市に関心が持てる・持ってもらえるようにPRする事が大事だと思います。 ・自分はいすみ市で居住、就職してもうじき2年になりますが、やっぱり思うことは若者より老人がはるかに多く、少子高齢化が深刻なくらい増え続けていると思います。若者が住みたい街ランキングに入ったことも知っていますが、とてもそうは思えません。もっともっと若者が増えていかないことには町の発展は無いとおもいます。よりよく若者がいすみ市に移住してでも生活をしたいと思える環境を改善していただくよう願います。 ・人口減少の原因（若者離れ）として就職が関係していると思う。働く場所、使う場所がそれぞれない為、都市部へ流出してしまう。明るい未来のためには輝いている町づくりが大切だと思う。 	32
<p>公共施設・インフラ整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に遊べる公園や、雨の日でも遊べる屋内施設があったらいいなと思っています。 ・自然豊かな町ではあるが、通学路等に空き家や草木が多く見通しが悪いところもあるので、防犯面の不安がある(学童を利用しているが、1人で帰ることもあるため)。 ・基礎自治体であるいすみ市が行う子どもや若者に対する政策は限定的な効果にとどまってしまうように感じます。少子化対策は国の役割であり、無理に市で政策を実施するくらいなら、その税金をインフラ整備などの本来に必要な政策に投入してもらいたいと考えます。 	23
<p>交通・公共交通について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電車の本数が少なくなってきていて、いすみ市に住みながらの市外への通勤・通学が不便に思います。 ・いすみ市内・外を巡廻するバスの本数や路線の増加をしてほしい。 ・いすみ鉄道の代行バスの事についてなんですけど、なんで平日が夜遅くまでやっていて休日が早い時間帯に終わるんですか？ここぞというときに使い物にならないし、平日はほとんど誰も乗らないのに大きなバスにしたり、平日の時間帯は点々としてもいいと思うけど、休日は朝の時間帯とか12時から14時までの間を増やせばもっと人が乗ると思います。あと、いすみ市の若者の移動手段が自転車なので、自転車購入支援とかしてあげればいいと思います。 	19
<p>経済支援・生活支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士や看護師などの人の命を預っている人の給料や、補助をもっと手厚くするほうが良いと思った。 ・私自身、高校卒業から昨年まで父の介護をしました。ALSだったため、進学も就職も諦めました。貯金や車両免許はなく、社会経験もほとんどありません。現在アルバイトをしていますが、介護で心身ともに疲れ、長時間労働が難しいです。おまけに、本来介護していた期間中に手にできたは 	14

<p>ずのモノや経験を、微速ながら取り戻さなければいけません。生活保護ほどとは言いませんが、介護後に向けた準備や健康促進のためにヤングケアラーへ毎月数万円、数千円の給付があるだけでも助かると思いました。</p>	
<p>地域活性化・少子高齢化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み、いすみ市の政策も高齢者に対するものが大切だと思いますが、少子化を解消するためには移住を進めたり、子育てしやすい環境を整えることが重要だと思います。また、空き家などを活用し、多世代の人々が集まりやすい場所をつくることでコミュニティができ、地域の活性化につながると思います。 ・地域のイベントやお祭りなどに関心を持たなくなった若者が増えているので、新しい物の良さも取り入れつつ、昔の方達が受け継いできた伝統ある文化をもっとみんなに知ってもらえる環境などをつくって欲しいし、学校教育でもどどんいすみ市の素晴らしさを教えて行ってほしい。 	13

※特になし、わからないを除く

いすみ市こども計画策定に係る
調査結果報告書

発行年月：令和7年9月

発行：子育て支援課

〒298-8501 いすみ市大原 7400-1

電話：0470-60-1120